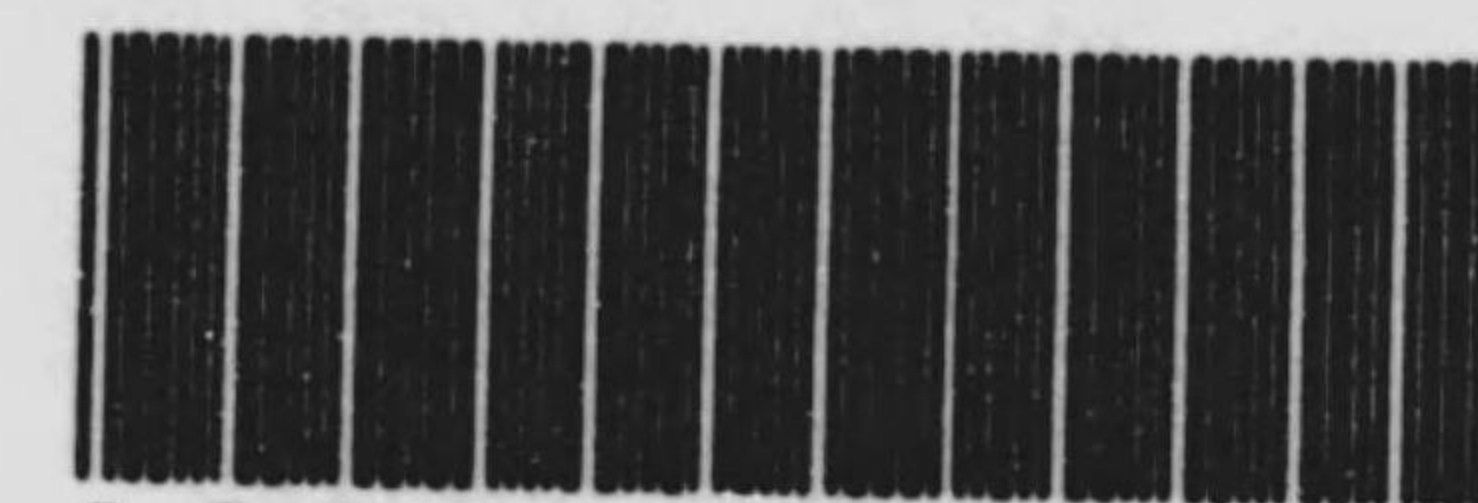


特 227

920

第六回産業福利展覽會記錄

廣島縣工場懇話會



\* 0036871000 \*

0036871-000

特 227-920

第六回産業福利展覽會記錄

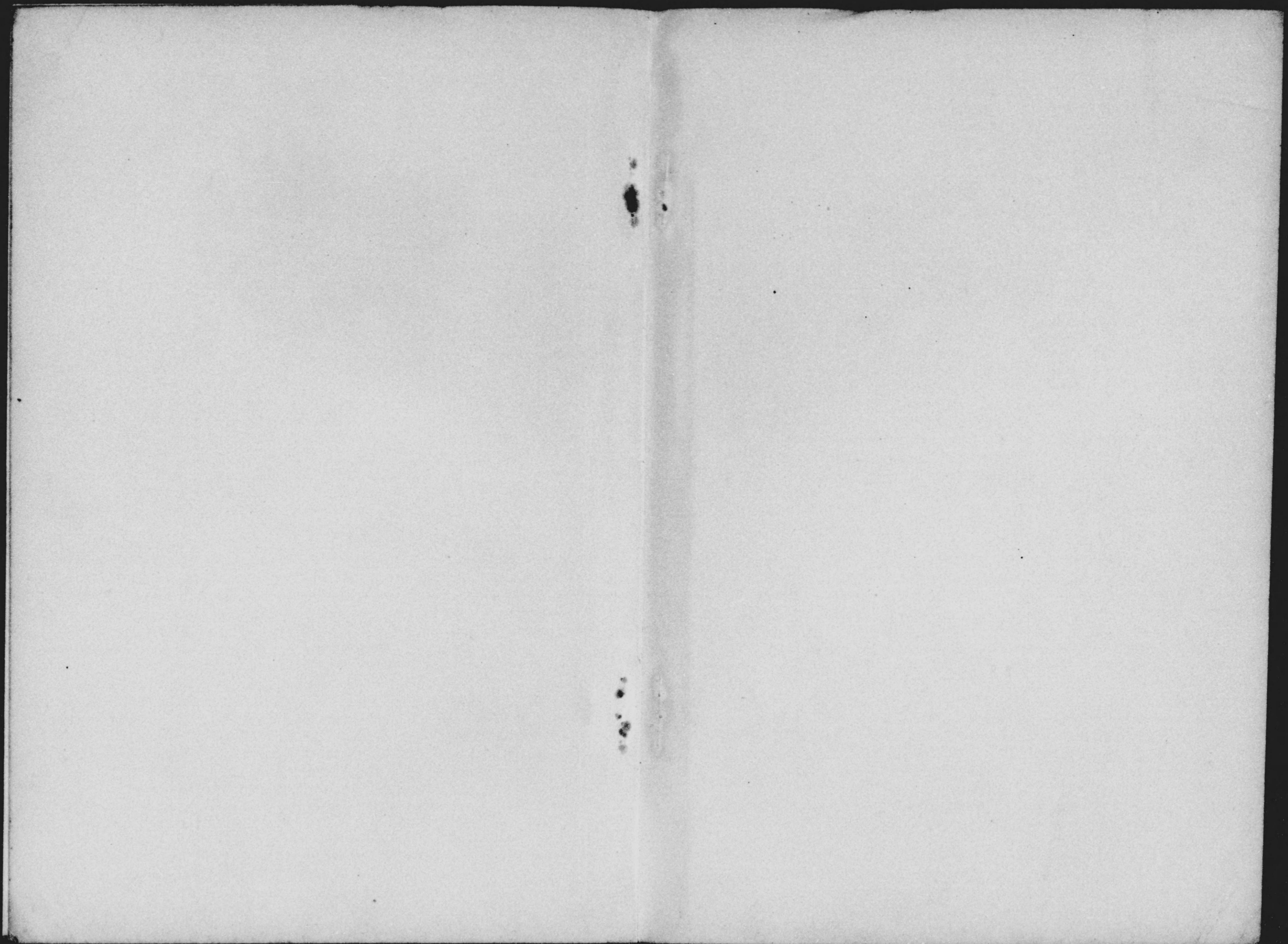
広島県工場懇話会・編

広島県工場懇話会

昭和 11

AGF







時227  
920



料無場入

回六第

勸勵獎業産縣島廣 場會

日九月十年十和昭皇 期普  
間日七 日五十月十年周至

回六第  
産業福利展覽會記念



廣島縣工場懇話會



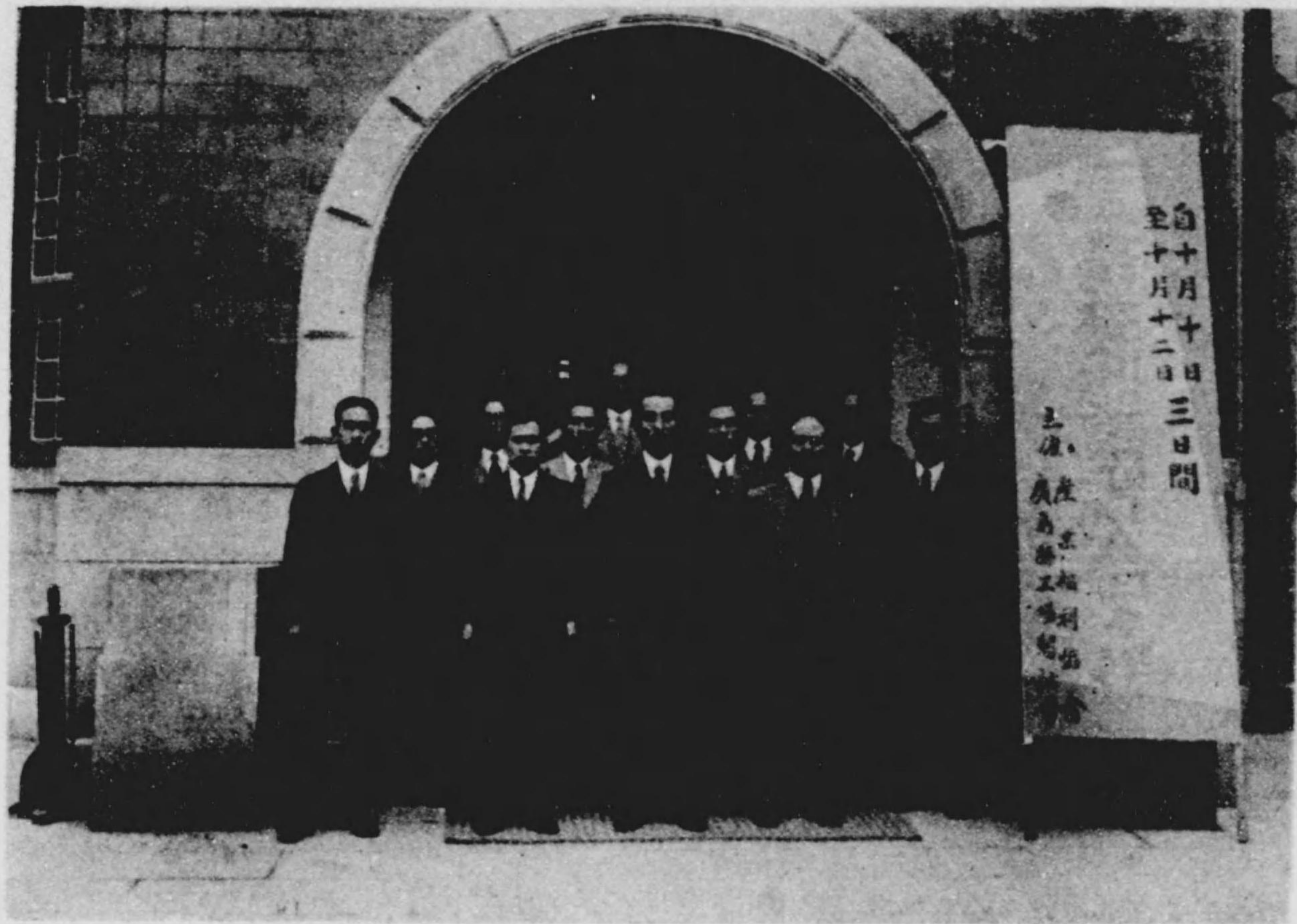
はしがき

本冊子は昭和十年十月財團法人産業福利協會及廣島縣工場懇話會が共同主催の廣島市に於て開催せし第六回産業福利展覽會に出品せられたる多數有益なる資料の目錄並に同展覽會及其の附帶事業の概要を印刷に附したものである。

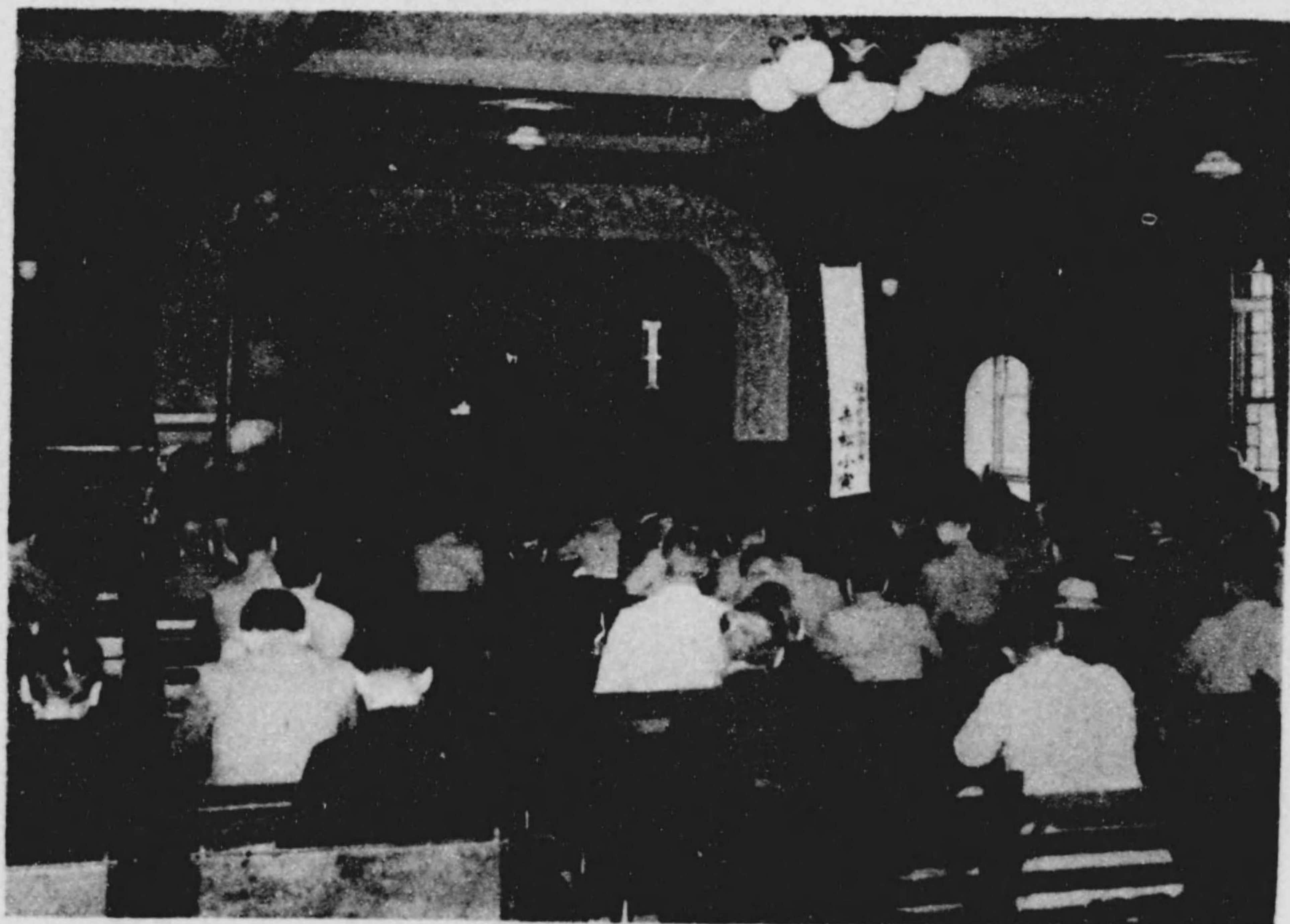
出品物は何れも其の内容に於て金玉の文字、苦心の蒐集物、或は精細なる研究結果の發表であつたが主催者側に於て之等を記録するの手續及時間に乏しく且つ印刷の關係等もあつて本冊子記載から省いたものが多數あつたことは甚だ遺憾とする所であつて此の點に關しては出品者各位に對しても御詫を申上げて置く。



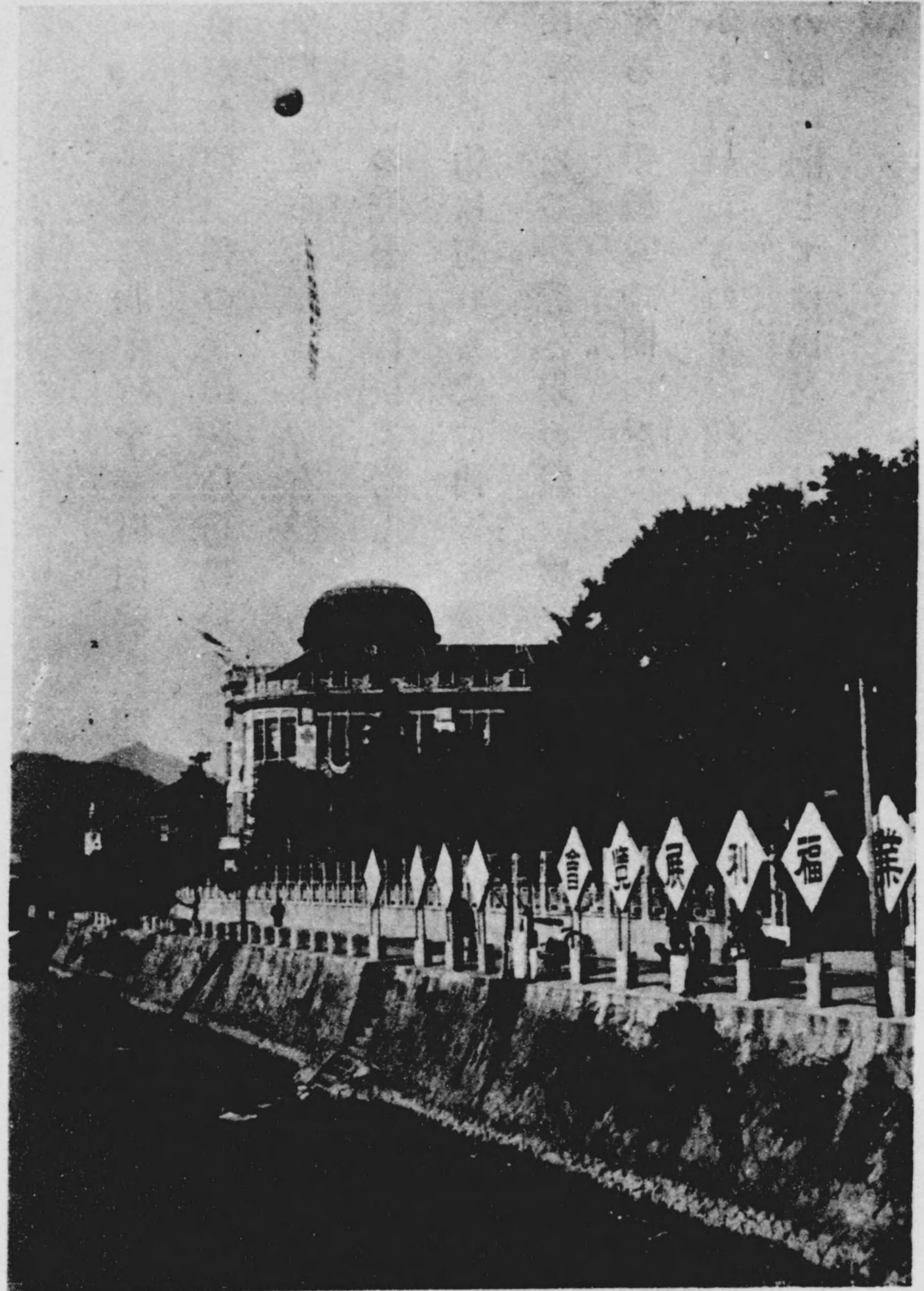




師講會習講利福業産

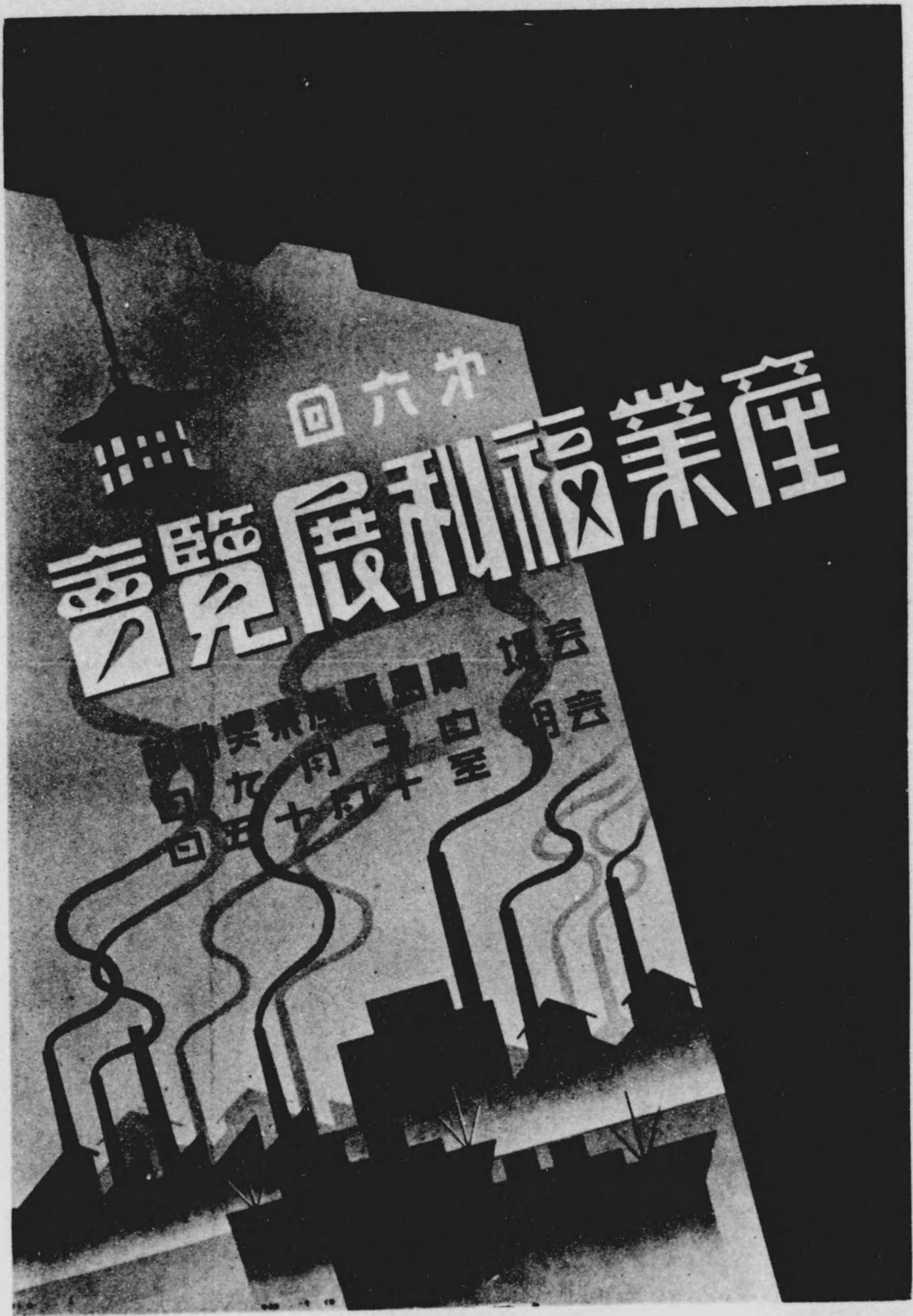


會習講利福業産



む衆を場會覽展りよ橋安元





記事

◇開會まで

昭和十年一月二十五日内務省第三會議室にて開催せられたる第二回地方安全委員會に於て「第六回全國產業福利展覽會を廣島に開催するの件」可決確定せしを以て廣島縣工場課は產業福利協會と協議の上開催時期を十月上旬、會期を七日間、會場を廣島市猿樂町縣立產業獎勵館となすことに計畫の大綱を決定し之に基漸次展覽會開催の準備を進めたり。

六月上旬第六回產業福利展覽會趣意書並に產業福利展覽會規則を定め全國各關係官廳會社團體工場商店等に對し出品の勧誘を爲すと共に同月十五日展覽會委員九十五名及展覽會係員四十名を委嘱せり。八月十七日展覽會ポスター一千枚を各關係筋に發送せり。

第六回產業福利展覽會趣意書

輓近産業の急速なる發展に伴ひ之より發生する災害の防止、労働衛生の改善並に従業員の福利施設の進歩



發達を圖るは常に道義的見地より肝要とするのみならず、健全なる産業の發達を期する上に於て緊要の事たるは贅言を要せざる所なり。

今や躍進日本は時局重大なるの機に際會し國を擧げて緊禪一番せざる可からざるの秋に當り我産業界を顧みて特に其の必要なる所以を痛感するものあり。而して其の實現の方途多々あるべしと雖既に東京、大阪、福岡、名古屋、横濱の各地に開催せられたる産業福利展覽會はその有力なる一施設なりと確信し今秋十月を期し廣島市に於てその第六回を開催して聊か斯界に貢献する所あらんとす。

冀くは叙上の趣旨に賛せられ別紙記載の要項に依り奮つて資料を出陳せられ本會の目的達成に援助あらんことを。

昭和十年六月

主催 財団法人 産業福利協會  
 廣島縣工場懇話會  
 廣島縣工場  
 廣島縣健康保險課  
 後援 內務省社會局  
 岡山縣  
 山口縣  
 愛媛縣

### 第六回産業福利展覽會規則

會名	第六回産業福利展覽會ト稱ス	費用	任スルコトヲ得
事務所	本展覽會事務所ヲ廣島縣廳工場課内廣島縣工場懇話會ニ置ク	出品物ノ搬入出、荷造、陳列、裝飾、電氣、瓦斯ノ施設及使用料其他凡テ出品ニ關スル費用ハ出品者各自ノ負擔トス	
會場	廣島市猿樂町 廣島縣立産業獎勵館	賣品ニ非スシテ出品スルモノハ場合ニ依リテ運賃取付費等本會ニ於テ負擔スルコトアルヘシ本項ニ就テハ本會ト協議ヲ遂ケラレタシ	
會期	昭和十年十月九日ヨリ十月十五日ニ至ル七日間	出品物ノ説明書統計類及參觀者ニ配付スヘキ印刷物等ハ出品者ニ於テ調製スヘシ	
出品申込手續	出品セントスル者ハ八月末日迄ニ別紙申込書ヲ本展覽會事務所宛送附スヘシ	本展覽會ハ出品物ニ對シテ相當ノ注意ヲ爲スト雖大災火災等ノ損害ニ對シテハ其責ニ任セス	
搬入出	右出品物ハ九月二十日以降ニ於テ會場内本會事務出張所宛送附シ「第六回産業福利展覽會出品物」ト表記スヘシ	出品物ハ出品者ニ於テ十月十六日、十七日、十八日ノ三日間ノ間ニ於テ會場ニ搬入陳列ヲ完了シ搬出ハ十月十六日、十七日ノ兩日ヲ以テ完了スヘシ但シ出品者ノ都合ニ依リ本會ニ陳列及搬出ヲ委	賣約即賣 觀覽 附帶事業 附則
		說明書 保管 觀覽 附帶事業 附則	觀覽料ハ無料トス 觀覽時間ハ毎日午前九時ヨリ午後四時迄トス 産業福利講習會、衛生相談所、活動寫真其他臨時開催事項 本規則ニ規定セサル事項ニ付テハ主催者ノ定ムル所ニ依ル



## 出品部類目録

(實物ヲ出品シ難キモノハ其ノ模型、  
寫眞又ハ圖面ニ説明ヲ付スルコト)

### 第一部 安全装置

(イ) 原動機並ニ動力傳導装置ニ關スルモノ

[例示]

- 1、原動機急停止装置
- 2、原動機ノ運轉開始及停止ニ關スル合圖ノ方法
- 3、動力傳導装置ノ運轉停止装置
- 4、調帶掛器、運帶装置、安全調帶綴金具
- 5、安全ナル車軸接手、聯軸器、カラ、キー等(ボルト、ナット其他突出物ノナキモノ又ハ突出部ヲ覆ヒタルモノ)
- 6、安全ナル給油装置、軸承、注油器等
- 7、安全ナル調帶車、齒輪類等
- 8、危険部分ニ對スル被覆、柵圍並ニ其材料

[例示]

(ロ) 機械ノ安全装置

### 置

- 2、チェイン、ロープ、運搬具等ノ安全ニ關スル装置
- 5、梯子、足場等ノ安全装置

(ホ) 内壓力ヲ受クル容器ノ安全ニ關スルモノ

[例示]

- 1、汽罐、蒸罐ノ安全装置
- 2、壓縮空氣槽、壓縮又ハ液化瓦斯容器等ノ安全装置
- 3、安全器、計器類等
- 4、汽罐給水清淨装置、清淨劑等

[例示]

(ハ) 毒劇物ニ關スルモノ

- 1、酸傾斜器、酸類容器ノ安全ナル運搬具
- 2、毒劇物ノ安全ナル取扱装置
- 3、毒劇性瓦斯粉塵ノ排出又ハ密閉装置

[例示]

各種保護眼鏡、保護帽、マスク、帽子、頭巾、手袋、  
脚絆、靴、作業衣

四

- 1、機械ノ齒輪、スプロケットチェイン、勢輪、調帶車、回轉部、突出物等ニ對スル安全装置
- 2、鋸機、鉋機其他木工機械ニ對スル安全装置
- 3、壓拔機、型付機、刻印機、引延機等ニ對スル安全装置
- 4、研磨機、粉碎機、切斷機、工作機械、紡織機械、印刷機械其他製造用諸機械ニ對スル安全装置
- 5、起重機、捲揚機、昇降機、運搬機等ニ對スル安全装置

(ハ) 電氣設備ニ關スルモノ

[例示]

- 1、安全ナルヒューズ、スキッチ、レオスタット、サーキット、ブレーカー等
- 2、電線掩蔽其他電線ノ安全ニ關スルモノ

[例示]

- 1、ハムマー、タガネ、アテヘシ、火箸、スパナ、チャック、ドッグ、ナイフ、庖丁、ニューマチック工具、電氣ドリル、其他各種工具ノ安全ニ關スル装置

### 第二部 防火並ニ爆發豫防

[例示]

- 1、防火扉、防火窓、防火壁、其他防火施設
- 2、スプリンクラー、ドレンチャイ、ハイドランド、起泡又ハ液化炭酸消火装置、消火唧筒、消火器具
- 3、警報装置、避難施設、救助装置
- 4、引火性液體ノ安全貯藏装置及安全容器、油浸屑物ノ安全容器、可燃性瓦斯檢識器
- 5、アセチレン瓦斯發生器爆發豫防装置
- 6、揮發油其他引火性瓦斯ノ爆發豫防方法
- 7、粉塵爆發豫防装置、藥品爆發豫防装置
- 8、靜電氣接地装置

### 第三部 災害惹起物、災害狀況寫眞其他參考資料

### 第四部 勞働衛生

- (イ) 工業中毒其他職業病ノ豫防ニ關スルモノ
- (ロ) 急救法及急救用具ニ關スルモノ
- (ハ) 身體檢査ニ關スルモノ

五



- (ニ) 營養食ニ關スルモノ
- (ホ) 勞働科學ニ關スルモノ
- (ハ) 其他保健衛生ニ關スルモノ

第五部 建築設備

〔例示〕

- 1、自然換氣、人工換氣、室温調節、粉塵又ハ煙氣ノ排出裝置
- 2、工場採光及人工照明裝置
- 3、作業場ノ整頓ニ關スルモノ
- 4、安全歩廊及歩道、階段其他ノ迂リ止
- 5、食堂、洗面所、浴場、更衣室、便所等ノ設備ニ關スルモノ

第六部 安全運動

- (イ) 災害統計、災害圖表
- (ロ) 安全運動實施ノ狀況並ニ其ノ成績
- (ハ) 災害豫防並ニ衛生ニ關スルボスター
- (ニ) 安全ニ關スルパムフレット、安全規則等

第七部 福利施設

(イ) 一般的ノモノ

〔例示〕

教育、體育、運動、遠足、競技會、音樂會、慰安會、

修養會、職工俱樂部、賣店、炊事場、食堂、醫務室、病室等

(ロ) 寄宿舍及職工住宅ニ關スルモノ

〔例示〕

庭園、生花、作法、裁縫手藝、讀書、娛樂、寢室、居室、浴場、洗濯場、物干場、運動場、職工住宅

(ハ) 工場機關雜誌

第八部 工場公害豫防

(イ) 廢液ノ處理施設

〔例示〕

濾過池、濾過槽、沈澱池、沈澱槽、中和池、中和槽、廢液ノ排出路、回收設備等

(ロ) 粉塵、有害ナル瓦斯蒸氣等ノ處理施設

〔例示〕

集收裝置(コットレル裝置、コレクター、フッド等)分離裝置(サイクロン裝置、セパレーター、フィルター等)沈塵裝置(セツトリングチャムバー)洗淨裝置(ワツシャースクラッパ等)稀釋裝置、排送裝置

(ハ) 煤煙防止

完全燃燒裝置其他煤煙防止ニ關スル研究

(ニ) 音響、振動

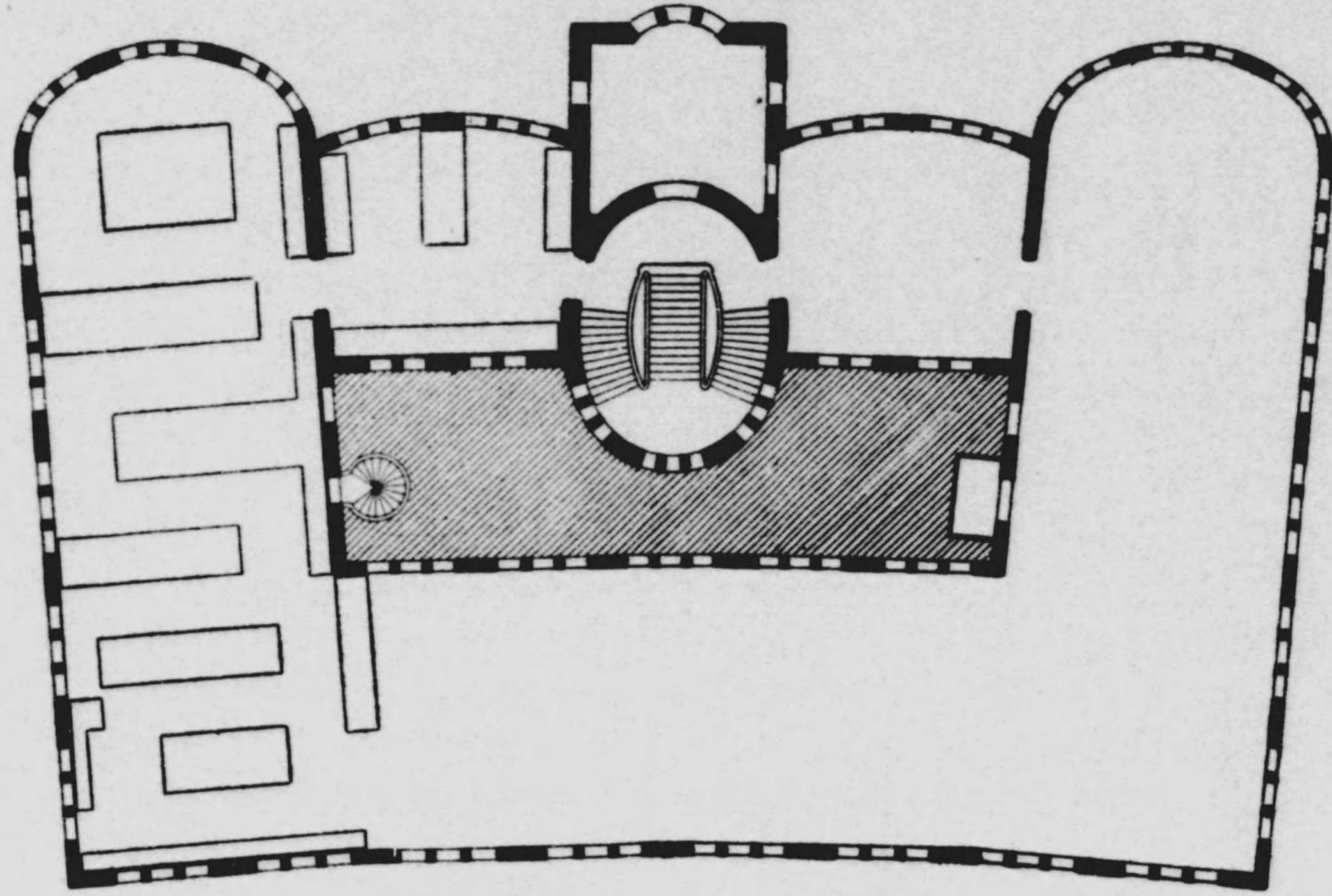
防音裝置、振動防止裝置等

第六回産業福利展覽會出品申込書

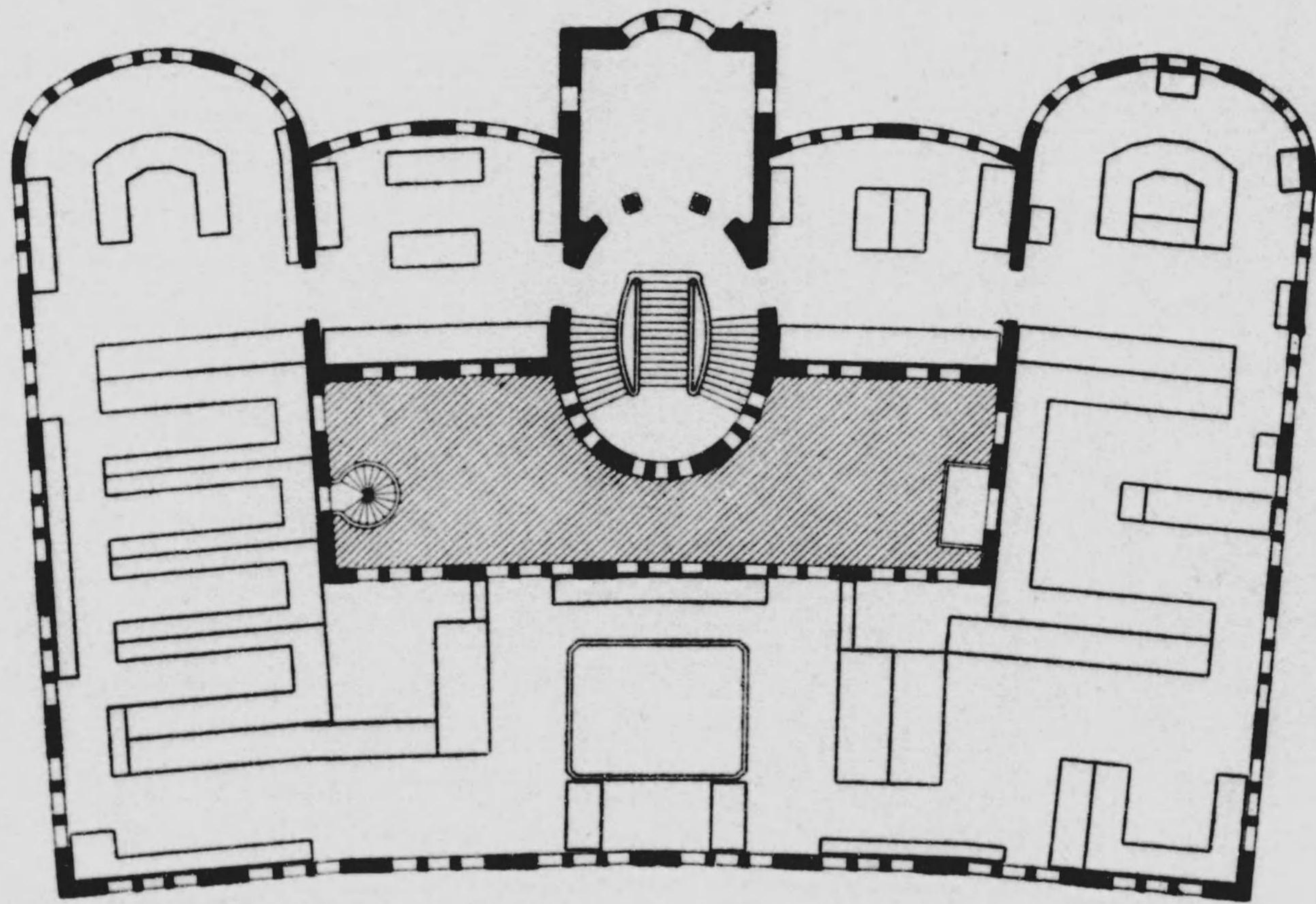
出品概要					品受第 號	品受第 月 日	品受 者 氏 名	出 部 職 業	現品送 附豫定 月日	送附ノ 方法	賣品 ノ非賣 別品
品番號	品名	數量	大サ概要	價格							



會場平面圖



二階平面圖



三階平面圖

- (1) 本申込書ハ各部毎ニ記入セラレタシ
- (2) 陳列ヲ本會ニ委任スルモノニアリテハ其旨摘要欄ニ朱書セラレタシ
- (3) 即賣部ヲ場内ニ設置シタキモノハ其旨記入セラレタシ

廣島縣工場課

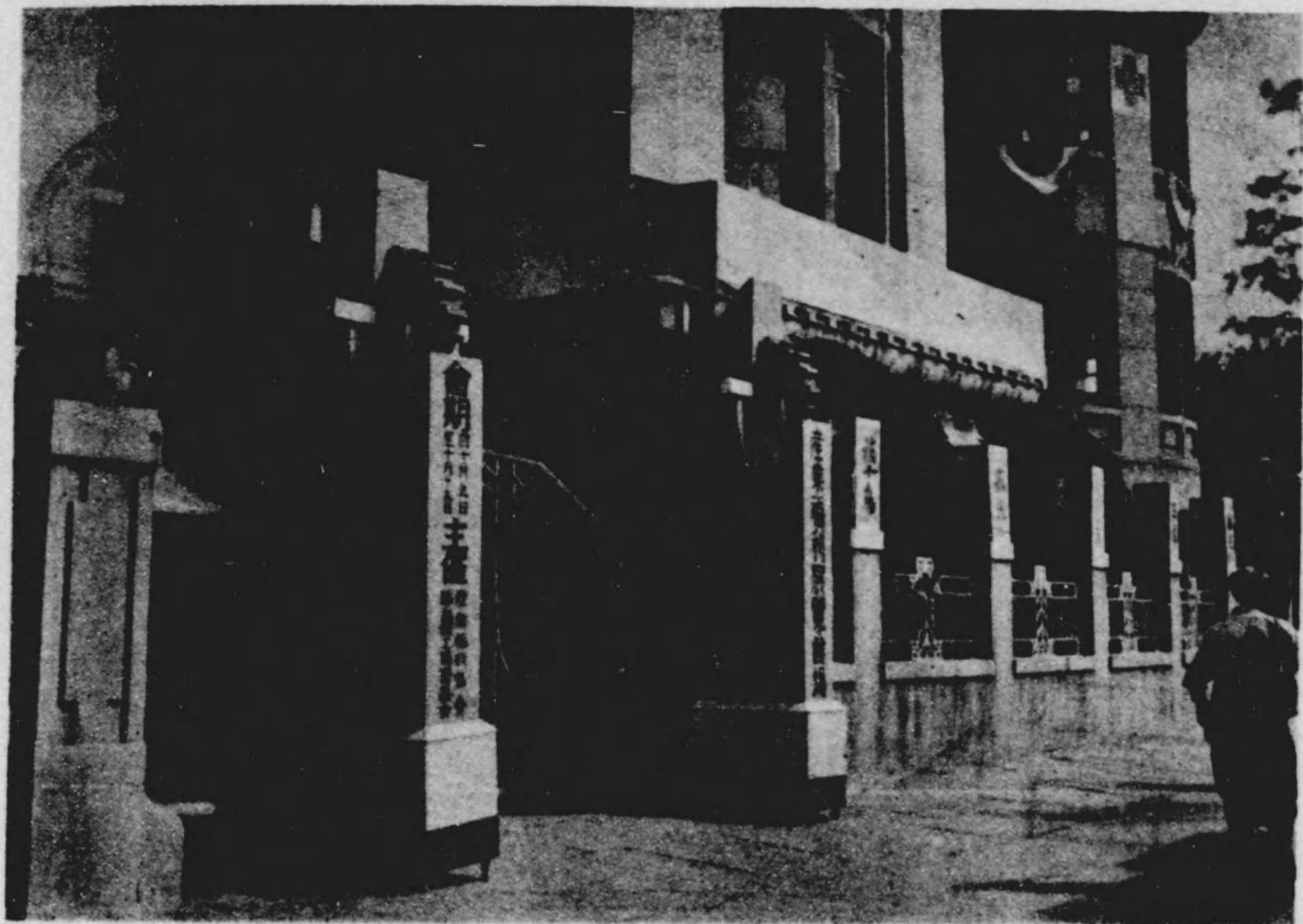
第六回産業福利展覽會事務所御中

出品者

昭和十年 月 日

所 要 陳 列 面 積		
床 面	壁 面	陳 列 臺
坪	坪	小 間
陳列臺ハ間口六尺、奥行二尺五寸硝子戸棚ナリ	電 氣	
	瓦 斯	
	使 用 量	





會場正門



紙屋町電車停留場附近に於ける夜間廣告

### ◆展覽會概況

展覽會は十月九日より同月十五日に至る七日間廣島市元安川畔産業獎勵館に於て開催せり。

先づ館前道路の向側に大型裝飾塔一基、館入口兩側に小型裝飾塔各一基、館内階段下に綠十字を冠したる裝飾安全門一基を設け館の外壁及軒には綠十字章並に國旗を適當に掲揚し館正面中央のバルコニーには大綠十字旗を掲げ尙はバルコニーより擊留氣球を飛揚せしめて展覽會の宣傳に使用せり。出品は同館二階の一部及三階全部に陳列し之に多少の裝飾を施せり。觀覽時間は午前八時より午後四時迄と定めたるも工場等よりの團體觀覽者にして工場作業終了後觀覽を希望するものに對し

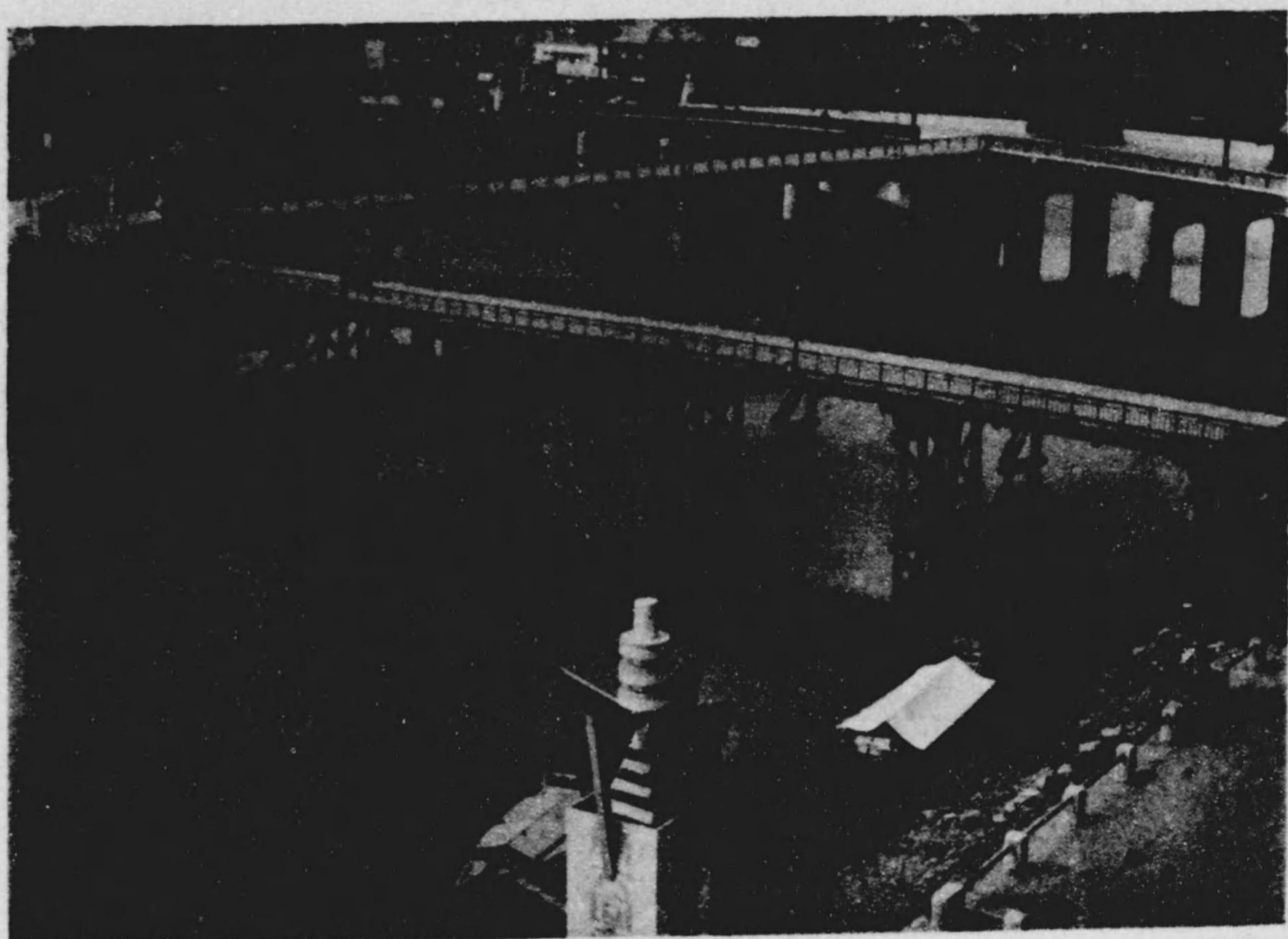
ては特に午後六時迄觀覽を許せり。

幸に會期中好晴に恵まれたため觀覽者の出足良く縣内近縣は勿論遠くは關東地方より團體觀覽せる者もありたり。殊に觀覽者中異彩ありしものは中華民國實業部中央工廠検査處検査科長安全衛生委員會常務委員兼秘書王瑩氏が二日間に亘り熱心に見學せしことなり。

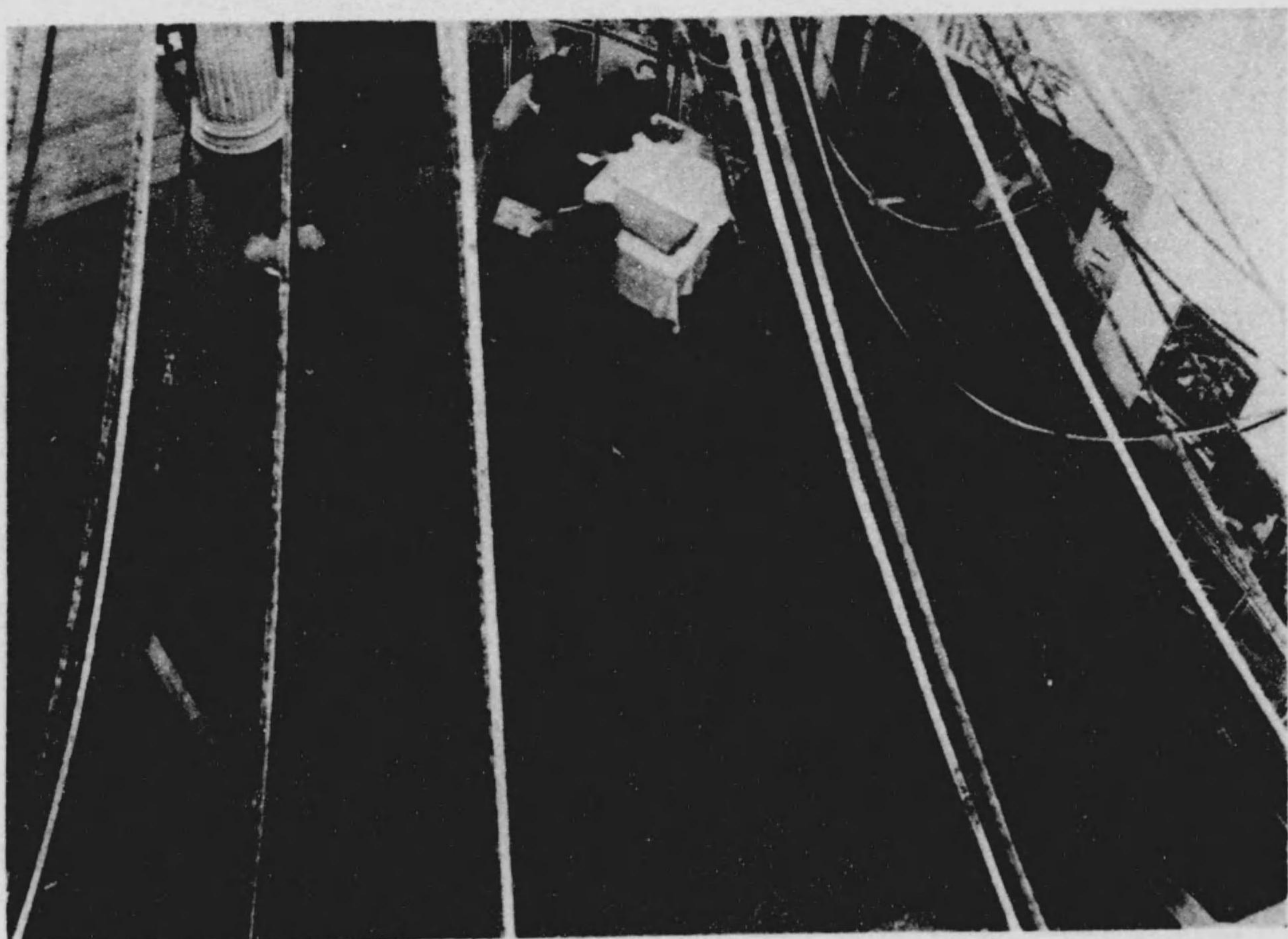
展覽會觀覽者人員數左の如し。

月 日	天候	人員
十月 九日 (水)	晴	一、九二二
十月 十日 (木)	晴	四、五五四
十月 十一日 (金)	雨後晴	三、〇七一
十月 十二日 (土)	晴	五、一四八
十月 十三日 (日)	晴	七、〇二二
十月 十四日 (月)	晴	七、四二五
十月 十五日 (火)	晴	六、一五五
合 計		三五、二九七





川篠三るとし瞰俯りよ臺露場會



付受口入會覽展

## ◇附 帶 事 業

一、産業福利講習會開催 展覽會開催の機會を利用し廣島市國泰寺町廣島縣教育會館に於て左記趣意書及時割の下に産業福利講習會を開催せしに工場幹部、關係官吏、其他一般有志者より多數の聴講申込あり毎日五十名乃至二百名の受講者出席し終始熱心に聴講せり。

### 産業福利講習會開催趣意書

第六回産業福利展覽會を廣島市に於て開催するの機會に於て産業福利講習會を開催し産業に於ける安全衛生及福利施設の系統的並に實際的知識の普及を圖り展覽會陳列と相待ちて斯界の開発に資せんとす。關係有志者の普く參加して此機を逸せざらむことを望む。

昭和十年九月

主催 財團 産業 福利 協會  
廣島縣 工場 懇話會

- 一、開催日時 十月十日(木)より十二日(土)まで三日間午前九時より午後四時迄
- 二、會場 廣島市國泰寺町 廣島縣教育會館
- 三、聴講者 工場鑛山主、幹部、勞務係、技師、關係官吏、其他有志者
- 四、聴講料 無
- 五、聴講申込期日 九月末日迄



六、聽講申込場所 住所、職業、氏名を明記して廣島縣廳工場課内廣島縣工場懇話會宛申込の事  
 七、講師及講題

- 一、挨拶
- 二、未定
- 三、人事管理の要諦
- 四、工場安全運動の基調と其展開
- 五、労働力の涵養と其の擁護
- 六、疲労と能率
- 七、工場鑛山の機能的綠化
- 八、工場危害豫防及衛生規則について
- 九、機械的災害と其豫防

聽講申込書 (九月三十日締切)

産業福利講習會ニ出席致度此段及申込候也

昭和十年九月 日

住所 職業

氏名

廣島縣工場懇話會御中

廣島縣工場懇話會長	歌田千勝
廣島縣警察部長	赤松小寅
社會局労働部長	北岡壽逸
社會局労働課長	浦生俊文
産業福利協會常務理事	大隈義等
倉敷労働科學研究所長	大隈西清
社會局技師	坂本清治
東京高等造園學校講師	坂本金吾
廣島縣工場課長	北川合壽
地方技師	北川萬里

産業福利講習會時間割

日	時	時間割	
十日(木)	9	歌田	赤松
	10		
十一日(金)	11	大坂本	西坂本
	0		
十二日(土)	1	憩休	
	2	北川	坂本
	3	北岡	懇談會
	4	北岡	暉
	5	北岡	峻

二、安全に関する活動寫眞映寫 産業獎勵館一階に於て安全に関する活動寫眞を映寫し入場者に無料觀覽せしめたり。寫眞題名左記の如し。



どうして災害は起るか	二
かひなき犠牲	五
工場と防火	二
醫者の来る迄	一
小供と犬	一
閻魔は怒る	一
晴れたる空	二

三、尙ほ此の機會に於て十月十一日午前九時より廣島縣教育會館に於て近縣工場監督事務協議會を開催せり、參集するもの鳥取島根山口岡山愛媛廣島六縣にして社會局勞動部長並に監督課長の臨席を得廣島縣警察部長司會の下に各般の事務打合せを行ひ正午閉會せり。

**出品目録並説明**

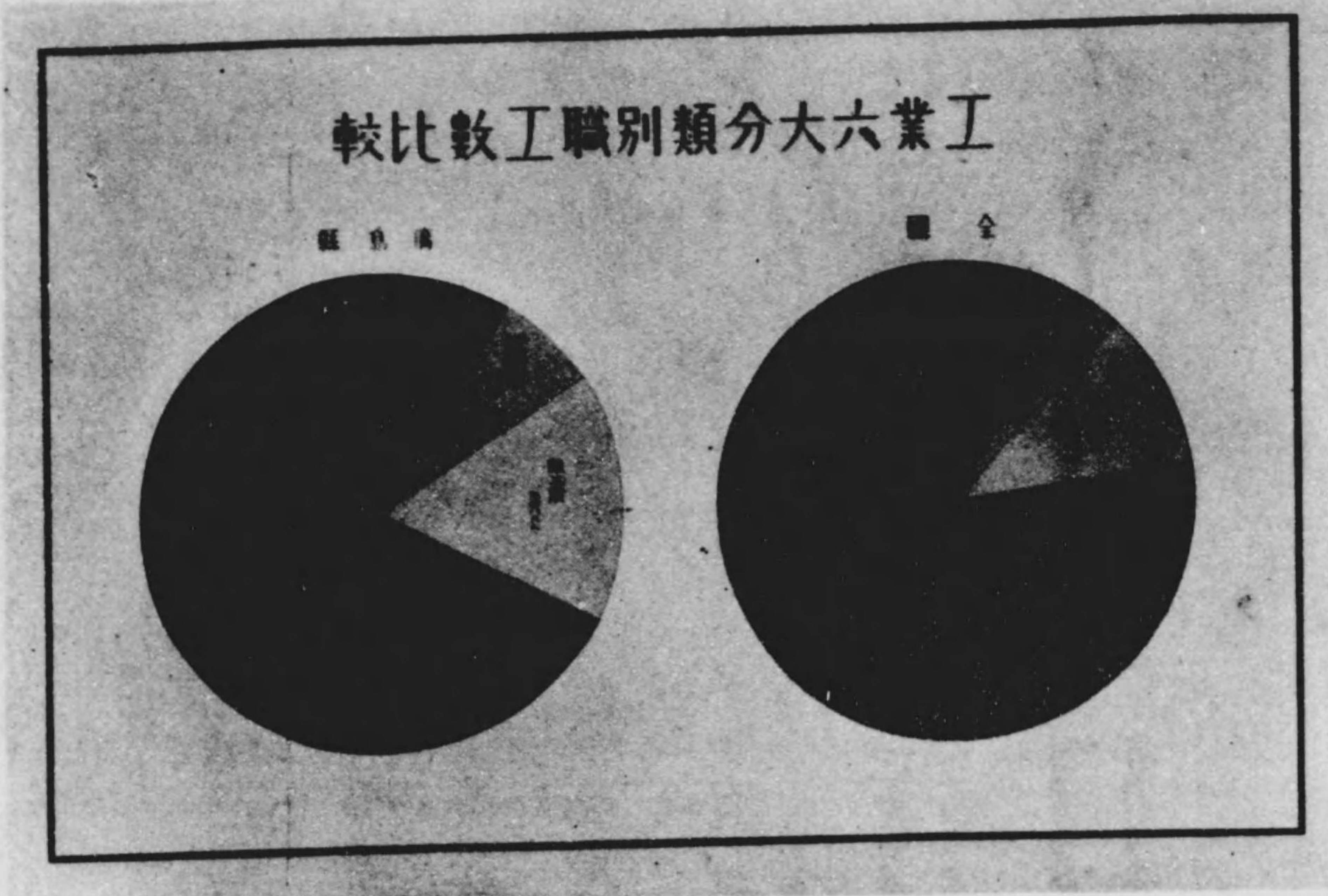
◇廣島縣工場課

- 一、工場法適用工場數道府縣別比較圖表
- 二、工場法適用工場に於ける職工數道府縣別比較圖表
- 三、廣島縣重要物産々出額圖表
- 四、廣島縣下市町村職工密度圖表
- 五、工業六大分類別職工數比較表
- 六、工場災害數累年比較表
- 七、工業種類別災害比較表
- 八、廣島縣下工場法適用工場に於ける火災調
- 九、負傷部位別災害件數表
- 十、月別災害件數表

- 十一、時刻別災害件數表
- 十二、作業開始後時間別災害件數表
- 十三、年齢別災害件數表
- 十四、勤続年數別災害件數表
- 十五、屋外勞働者災害件數表
- 十六、屋外勞働者原因別災害件數表
- 十七、昭和八年全國産業災害(死亡及不具廢疾)統計

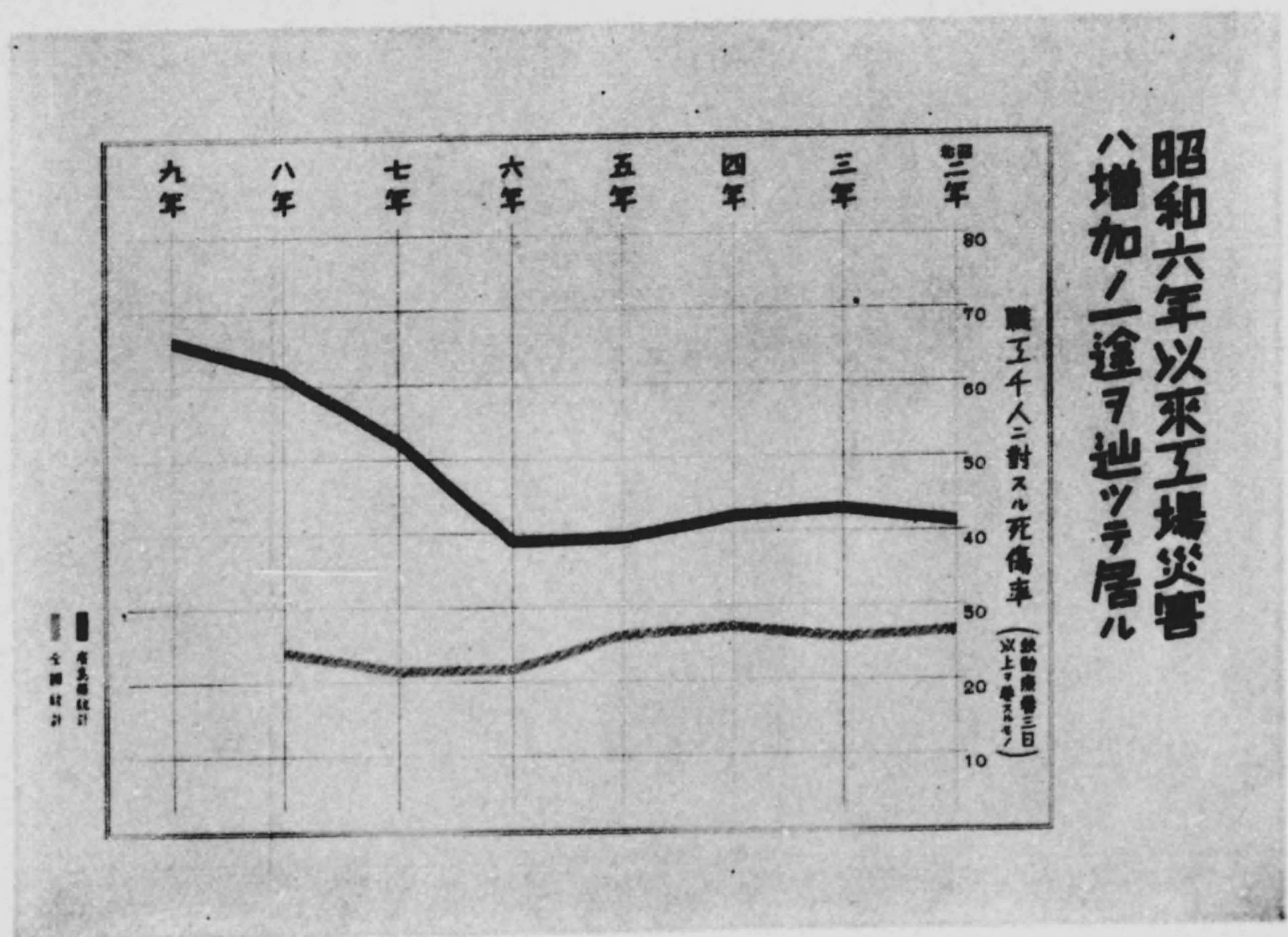






合計	民間事業											死亡 不具 廢疾	
	官營事業		民間事業										
	土木建築工事	工場	貨物積卸事業	交通及運輸事業	其他工事	工業	建築	土木	鑛山	工場			
二二九二	二四四	四九	七九	四六	二八九	一八三	一四	八四	七五	六二	八二五	三四二	二二九二
七七九八	三四八	四七七	一九〇	六〇	二五四	一五三	二六	一三二	一〇一	三七	四〇八四	一九三六	七七九八

一ヶ年間(昭和八年)ニ産業災害ノ為慘死  
又ハ不具トナツタ人ハ一萬人ヲ超エテ居ル







部一の内場會

◇埼玉縣工場課

- 一、埼玉縣工場榮養食共同炊事場分布圖
- 二、榮養食配給工場の食堂(寫真二葉)
- 三、工場榮養食共同炊事場の一例(寫真一葉)
- 四、共同炊事場調理場(寫真一葉)
- 五、埼玉縣下工場榮養食共同炊事場諸調査一覽表

◇大阪府産業安全協會

一、大阪に於ける安全運動の全貌

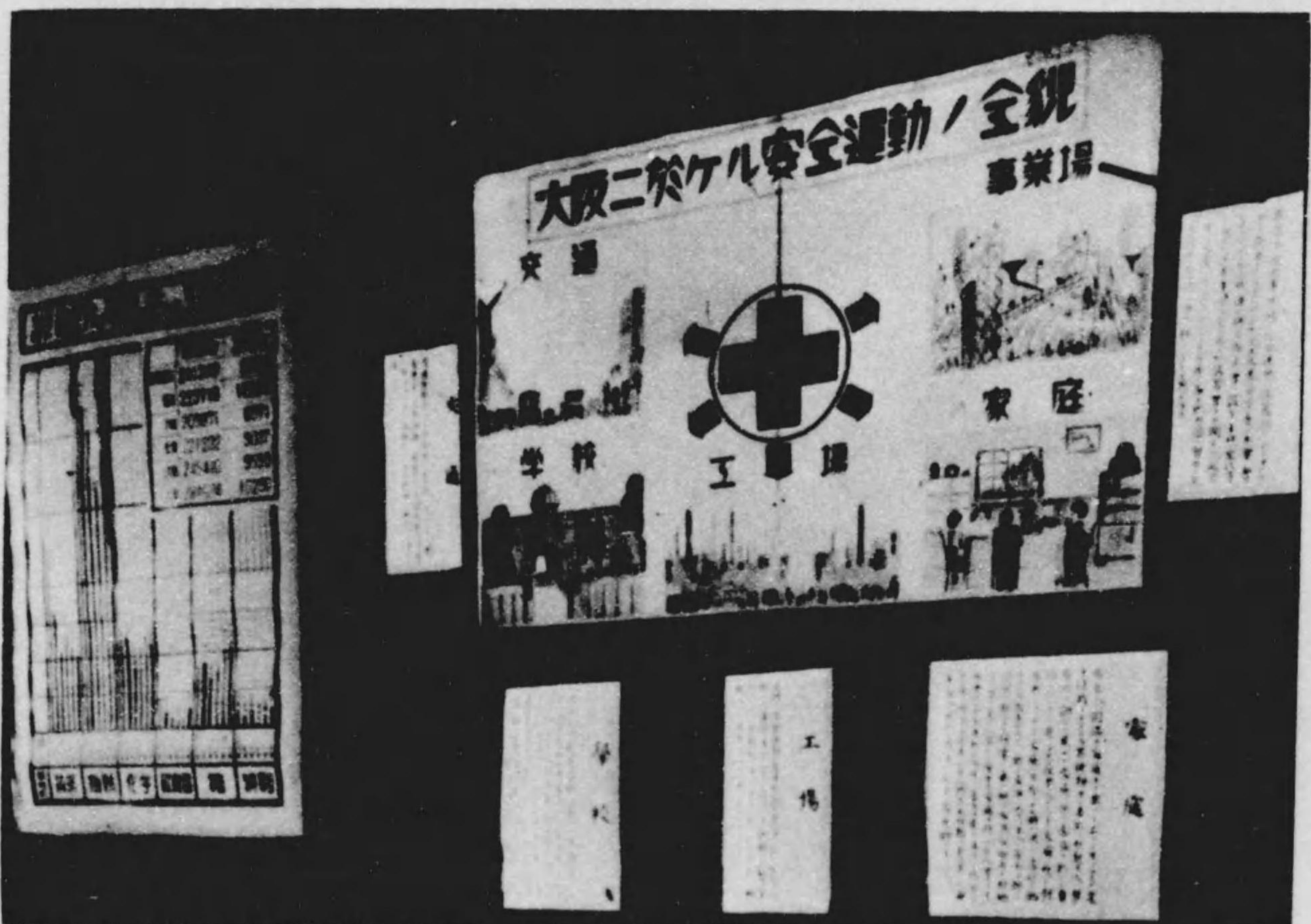
**工場** 工場の安全運動は逐年順調な發達を遂げて居りますが殊に此の運動は事業主及従業員の理解ある協力と熱心によつて外觀的の華々しさから進んで實質的に組織立つた活動を續けて居ります。

**事業場** 勞災法適用事業場の安全運動は搖籃期でありまして未だ特筆すべきものはありませんが土木建築業者の本會々員となるに及び特種の研究委員會を設けトロ、足代等に關する注意事項を定め其の上講習會をも開いて一般業者を指導しつゝあるのであります。今後は益々此の方面に努力し災害防止の實績を擧げる様になりたいと思ひます。

**交通** 交通運輸業者の参加は未だ日が浅いのでありますが特に従業員の安全訓練に留意して交通運輸従業者に安全マークを佩用せしめ安全精神の喚起に努めて居ります。

**學校** 安全設備の改善と同時に必要なのは安全教育であります。本會は昭和五年以來府下實業學校に安全講座を課し將來産業界の第一線に活躍する人達の安全思想の涵養に努めて居ります。又昨年の安全週間には小學校に於ても安全思想普及の目的で児童から安全標語を募集し尠ならずその効果を擧げたのであります。

**家庭** 安全人は圓滿な家庭より出すと云つて居りますが度々怪我をみるとか其の他種々の事故を引起す人は其の原因を調べて見ると家庭に何か圓滿を缺いた事柄が必ずあると存じます。産業人に取つては家庭は唯一の慰安所でありまして家庭に不安のある時は決して落付いて働くことが出来ません。それ故に家族の人々は主人の安全を祈つて災害の起らない様に常に氣を配り家族一同相戒め相助けて實に美しい楽しい安全な家庭を作ることが必要であります。本會では安全運動の家庭への普及を達する爲こゝに掲示してある様な安全日曜表、ふきん、杓子、土瓶敷を考案して毎年安全週間を機會に従業員の家庭へ贈つて居ります。



部一の品出會協全安業産府阪大



二、大阪府下最近六ヶ年間に於ける工場災害数

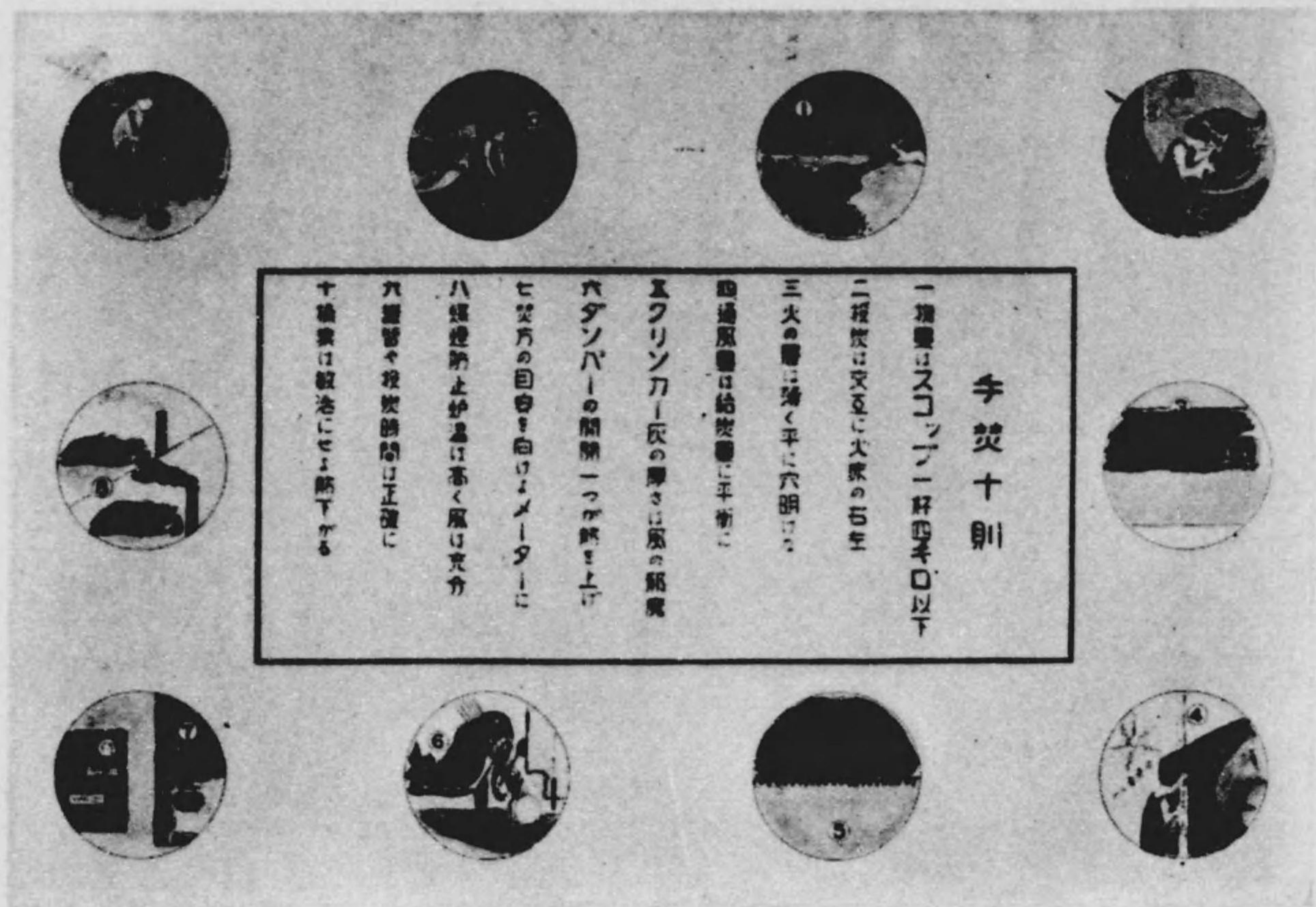
年次	死者	傷者	罹災者	損失額
昭和九年	241310	9630		
昭和十年	223718	10263		
昭和十一年	209871	8971		
昭和十二年	221232	9037		
昭和十三年	245410	9539		
昭和十四年	284624	10236		

年次	火災	地震	暴風	洪水	その他
昭和九年	1234	56	78	90	12
昭和十年	1123	67	89	101	13
昭和十一年	1012	78	90	112	14
昭和十二年	1123	89	101	123	15
昭和十三年	1234	90	112	134	16
昭和十四年	1345	101	123	145	17

三、昭和九年九月近畿地方風水害実況写真二十八葉

自然の魔手大阪を襲ふ 昭和九年九月廿一日朝突如として大阪を襲うた颶風は風速實に六〇メートルを越ゆる世界的記録を示し建物の損壊、人畜の死傷は云はずもがな運轉中の汽車、電車さへも轉覆せしめ剩さへ高潮の奔流は低地に割據する主要工業地帯に渦巻く等其の被る所の損害將に關東震災を髣髴せしむるものがあつた。茲に一二の實況を掲げて慘禍を記念すると共に聊か將來に備ふる資料に供する。



手焚十訓

- 一、火災はスコップ一軒をキロ以下
- 二、被災は交差に大衆の注意
- 三、火の警は薄く平に六明
- 四、通風口は結露を平衛
- 五、クリンカー灰の厚さは風の距離
- 六、ダンパーの開閉一つを誤り上げ
- 七、空気の回りを白りメーターに
- 八、煙道防止は必ず風向きを
- 九、煙管や煙道は必ず正しく
- 十、煙管は必ず正しく

- 四、工場災害及び安全装置写真三十葉
- 五、本會の事業概要
- 六、災害惹起物の保存の重大役割
- 七、従業員家庭への安全贈物 一組

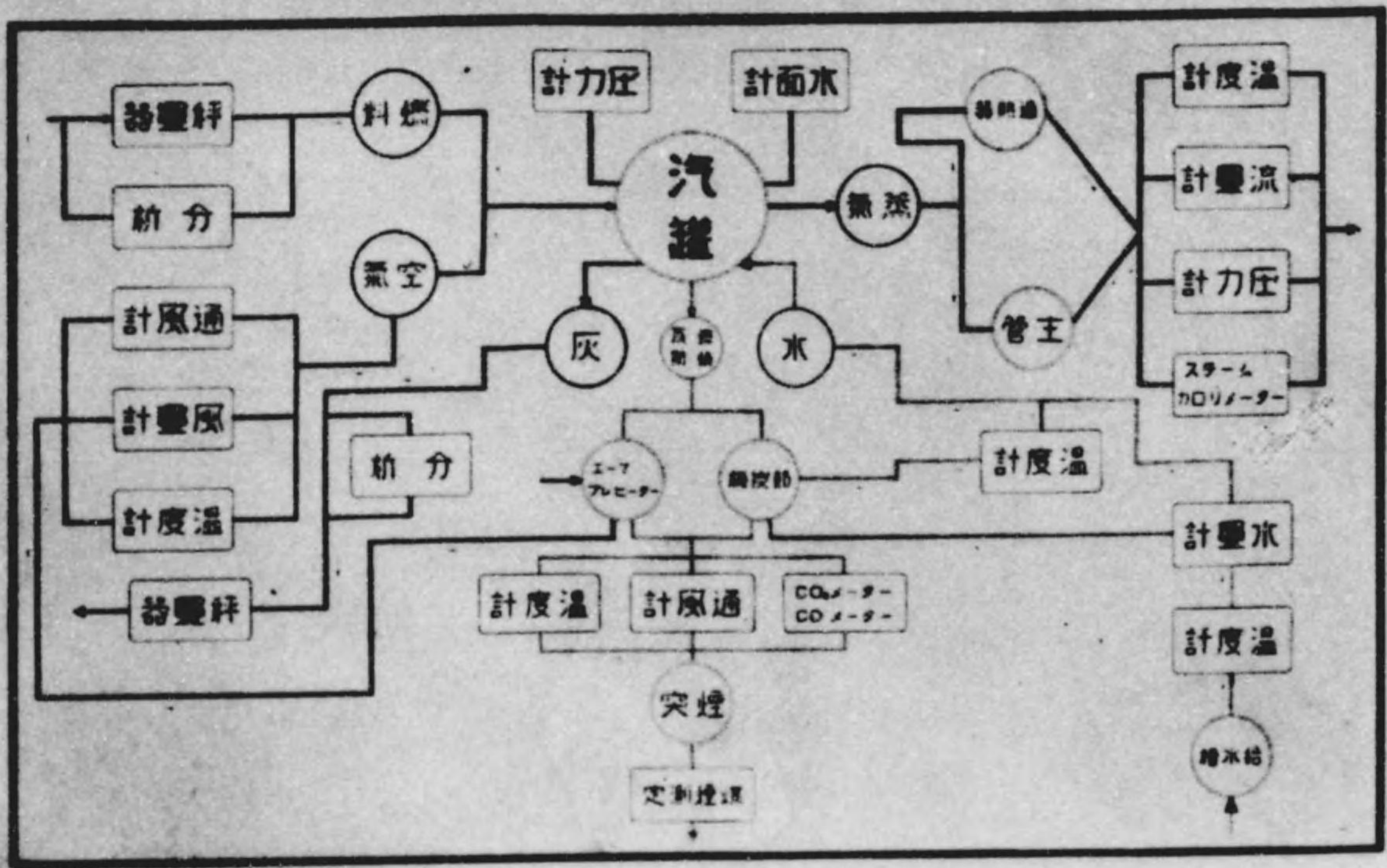
警視廳工場課

- 一、工場衛生に關する写真 二〇枚
- 二、工場災害実況写真 七枚
- 三、工場福利施設写真 八枚

大阪府立産業能率研究所

- 一、大阪市降煤量累年比較表
- 二、煤煙の濃度は如何にして測定するか
- 三、手焚十訓
- 四、汽罐爐格上の火層の作り方
- 五、汽罐に煤の附着せる場合熱傳達に及ぼす影響
- 六、附着せる煤の厚さと水の温度上昇の關係
- 七、汽罐室に必要な計器と其の設置場所

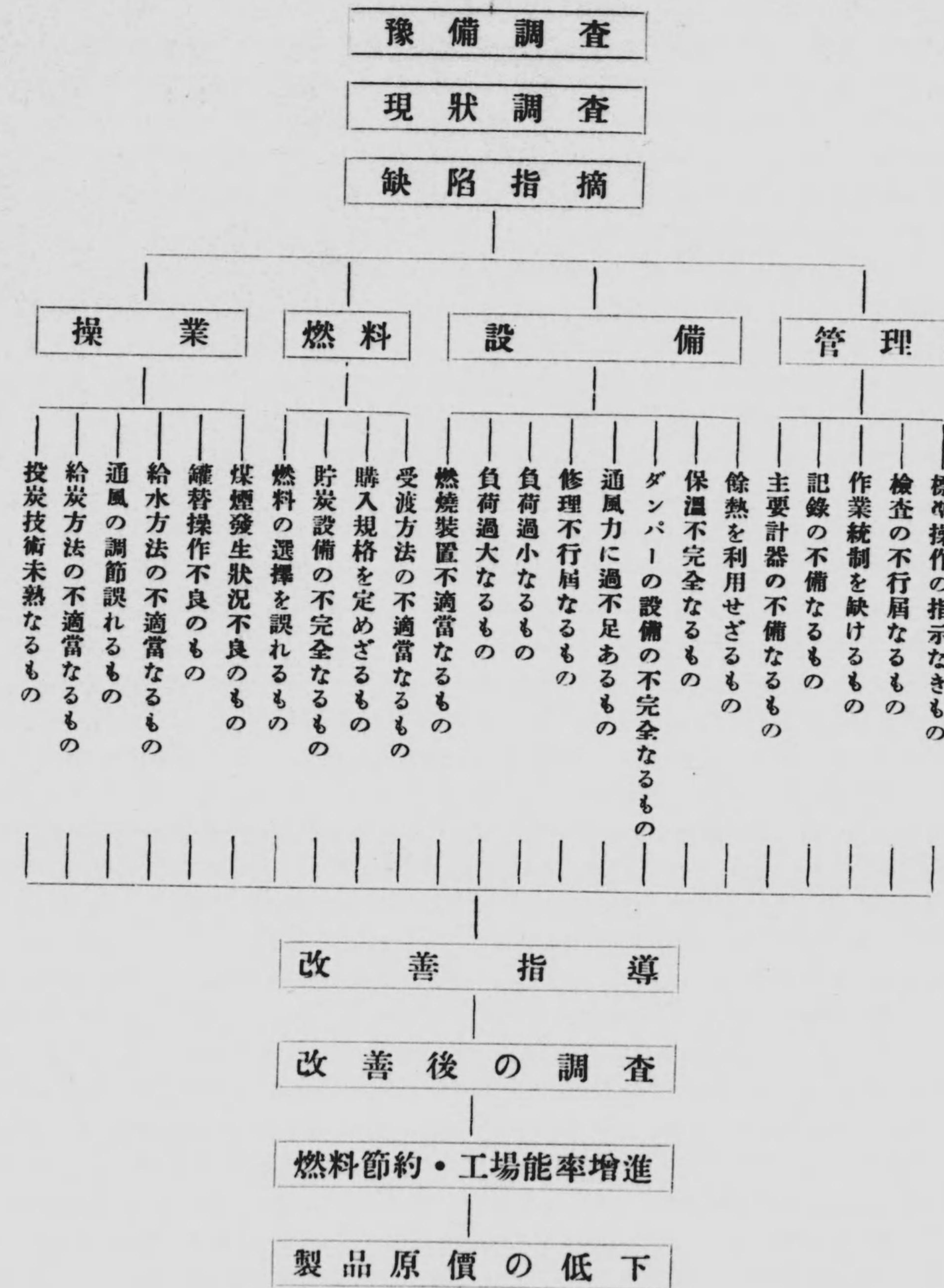
汽罐室に必要なる計器とその設置場所





八、大阪府立産業能率研究所燃料節約指導順序

大阪府立産業能率研究所燃料節約指導順序



九、指導工場に於ける主要缺陷

指導工場に於ける主要缺陷

(調査工場数114)





### ◇遞信博物館

- 一、最近十年間の感電事故 (圖表)
- 二、感電事故の原因 (同)
- 三、働き盛りは特に御注意 (同)
- 四、感電事故はいつが多いか (同)
- 五、深夜よりも晝間が危険 (同)

### ◇財團法人啓成社

#### 一、財團法人啓成社の概要

**本社の目的** 本社は職業能力回復事業を行ふを以て目的とす。設立の當初に於ては關東大震災に依り不具となりたる者及び不具者にして罹災したる者を收容し之が職業能力を啓發向上せしむる爲創設せられたるが現今に於ては其の目的を擴張し戦公傷者、工場、鑛山、鐵道等産業及び交通業の負傷者其の他の原因に依る不具者に之を及ぼし専ら職

業的實技の修得に力め獨立自營の道を授けると共に一面義肢の研究製作を爲し即ち職業再教育並に義肢研究製作の兩方面より不具者の職業能力を回復せしむるを目的とせり。尙昭和七年五月より職業能力に關係ある不具者若くは不具者となるべき虞ある一般患者の整形外科的健康相談及び診療を開始し以て醫學的にも職業能力の保存を圖ることとせり。

**當社の設備** 大正十四年九月現在位置東京市豊島區巢鴨町六丁目(省線大塚驛市電大塚終點より東北約一町)にライト式鐵筋コンクリート八百五十五坪の建築を了し同十五年十月別館木造百四十坪の増築を行ひ今日に及べり。事務室、講堂、講習場、作業場、寄宿舎(百五十名を收容する設備あり)整能研究室、義肢製作工場、醫療室、レントゲン室、食堂、浴場、炊事場、圖書室、休養室に區劃し水道、瓦斯、電力、蒸氣煖房の設備あり。

#### 事業の主なるもの

其の一、職業の講習

○講習科目修業年限

洋服科 三箇年

二、本社内施設の講習科目に要する教育材料は本社之を供給す

三、要するに本社内施設の講習科目を選ぶものは本社に對し講習費の負擔なし

#### ○寄宿及食費

一、講習生は本社寄宿舎に入舎するを原則とす

二、寄宿生は本人又は代辨者より本社に修業期間中の食費及び雜費(十三圓五十錢の割)を納付するものとす

三、食費負擔に堪へざるものは其實情を確めたる上之を貸付し又は減免することあるべし

#### 其の二、義肢の研究製作

「健肢の程度迄」を「モットー」として義肢の研究並に製作に努めつゝあり

#### 其の三、整形外科的健康相談及び診療

不具者若くは不具者となるべき患者を醫學の方面より極力回復又は豫防し以て職業能力を失はざらしめんとするものなり

密針裁縫科	甲一年三ヶ月	乙一年
婦人小供服科	一年三ヶ月	
家具科	甲一年	乙一年
藤工科	甲一年	乙六ヶ月
履物科	甲一年六ヶ月	乙一年

其他社外委託科目數種

#### ○入社資格

- 一、戦公傷者
- 二、産業及び交通業等の負傷不具者
- 三、其他の原因に依る不具者

#### ○入社條件

- 一、體質強健にして講習に堪へ得る者たること
- 二、性質着實穩健なる者たること
- 三、年齢滿十八歳以上の者たること

#### ○講習費

- 一、本社内施設の講習科目に要する授業料は之を徴收せず



二、本社施設及び實況寫眞八枚

- 1、本社全景
- 2、洋服科講習實況
- 3、家具科 同
- 4、籐工科 同
- 5、履物科 同
- 6、義肢製作工場の一部
- 7、同上
- 8、整形外科診療の實況



整形外科診療の實況



義肢製作場の一部

◇社団法人照明學會

一、電球の太さと適合反射笠の表

電球の太さ(ワット)	反射笠の直徑(寸)	
	淺型笠	深型笠
二〇乃至六〇	二三乃至二五	一六乃至一八
八〇乃至一〇〇	二八乃至三〇	二〇乃至二一
一五〇乃至二〇〇	三三乃至三五	二二乃至二四
二五〇	三八乃至四〇	二五乃至二六
三〇〇乃至五〇〇	四三乃至四六	三〇乃至三一

二、照明と作業能率

第一設備	第二設備	晝間	照度(米燭ルックス)	生産高の百分率	生産額の百分率
二一、四	四九、八	四三〇—三六	五、〇〇碼	一〇〇%	七九錢 一〇〇%
二、六五碼	三、八六碼	五、〇〇碼	一〇〇%	七九錢 一〇〇%	一〇〇%
五三%	七七%	一〇〇%	七九錢	一〇〇%	一〇〇%
三八錢	六一錢	七九錢	一〇〇%	一〇〇%	一〇〇%
四八%	七七%	一〇〇%	一〇〇%	一〇〇%	一〇〇%

三、天井及壁の色合が照明に及ぼす影響

色合(反射率)	天井		色暗(10%)	色中(30%)	色明(50%)	最明色(70%)
	壁	天井				
金屬製反射笠を使用せる時	0	0	0	(10%)	(30%)	(50%)
硝子製反射笠を使用せる時	0	0	0	(10%)	(30%)	(50%)
外球(笠なし)を使用せる時	11%	9%	4%	(10%)	(30%)	(50%)
	11%	9%	0%	(10%)	(30%)	(50%)
	21%	18%	6%	(10%)	(30%)	(50%)
	36%	32%	12%	(10%)	(30%)	(50%)
	18%	15%	0%	(10%)	(30%)	(50%)
	36%	30%	8%	(10%)	(30%)	(50%)
	50%	44%	14%	(10%)	(30%)	(50%)

四、明視論に依る推奨照度

仕事の種類	作業面の照度
精密組立作業及検査等非常に細かい作業をかなり長時間やる場合	一〇〇〇ルクス以上
製図精密機械旋盤作業細い組立検査等相當細い作業をかなり長時間やる場合	五〇〇—一〇〇〇ルクス
事務所紡績工場仕上工場等稀細い作業	二〇〇—五〇〇ルクス
あまり續けてやらない普通の作業、あまり細い識別を必要としない場合	五〇—一〇〇ルクス
粗い作業、作業にはやつと明視し得る程度	五〇ルクス
通路	二〇ルクス



五、反射笠の種類と配光曲線（圖表）  
六、建物と採光窓の關係（圖表）

◇帝國人造絹糸株式會社岩國工場

一、安全競争要綱

- 1、各係安全委員は安全競争に關し當該係を擔當區域として係内の災害防止に努め安全運動の徹底を圖ること、但し安全委員會災害報告等に關しては安全委員會規定に依る
- 2、競争係別を左の如く分ち各係對抗安全競争を行ふ
- 3、審査委員並審査方法
  - イ、安全委員長を審査委員長、各安全特別委員を審査委員、安全補助委員を審査係員とす
  - ロ、安全競争期間を六ヶ月（自一月至六月、自七月至十二月）とし該期間に於て成績優秀なる係に對し安全優勝旗を授與す
- 4、安全競争審査項目は災害狀況及缺勤狀況の二項とす  
安全競争審査規定

- 1、こゝに所謂災害率とは強度率にして次の公式により之を求む  

$$\text{災害強度率} = \frac{\text{公傷休業日數}}{\text{出勤延人員}} \times 1000$$
  - 2、死亡永久労働不能災害は災害率より除外し別に審査委員會の審議に依り考慮し永久一部機能喪失の場合は單に休業日數に依る
  - 3、就業治療程度の災害は〇・五日休業として取扱ふ
  - 4、故意過失又は安全規約を無視せる災害惹起の場合は審査委員會の審議により考慮す
  - 5、凡て期末に於て次期に跨る休業日數は其の期間のみを取り他は次期に繰越す
  - 6、其他省略
- 2、缺勤狀況審査方法  
 缺勤狀況の採點は對抗各係競争期間缺勤率の標準缺勤率に對する増減率に依り採點す  
 1、各係標準缺勤率（昭和八、九年二ヶ年間の缺勤率）

係別	標準缺勤率	係別	標準缺勤率
原液係	二九三九	發電係	二二八六
酸浴係	二〇三四	溫調係	二四三五

1、災害狀況審査方法

災害狀況の採點は各係競争期間災害率の標準災害率に對する増減率に依り採點す

イ、各係災害率（昭和六、七、八、九年四ヶ年間の災害強度率）

係別	標準災害率	係別	標準災害率
原液係	二九三四	發電係	一六一九
酸浴係	四一五八	溫調係	二六一二
漂白係	〇四四二	電氣修理係	一四九三
紡糸係	〇九四三	紡糸ポンプ係	〇二六六
繰返係	〇〇四七五	營繕係	二〇一三
檢定係	〇〇七六七	倉庫係	四〇六三
試験係	〇六三七	研究課	〇〇三九
修繕係	四九八〇		

ロ、採點方法は各係標準災害率を八〇點とし競争期間災害率の標準災害率に對する増減率一%に付〇・二點の割合を以て標準點八〇點より減じ若くは加ふ  
 備考

漂白係	電氣修理係	二五八〇
紡糸係	紡糸ポンプ係	二二二一
繰返係	營繕係	一七五〇
檢定係	倉庫課	二一八〇
試験係	研究課	四二八四
修繕係		三〇二九

ロ、採點方法は各係標準缺勤率を八〇點とし競争期間缺勤率の標準缺勤率に對する増減率一%に付〇・二點の割合を以て標準點八〇點より減じ若くは加ふ  
 備考

- 1、缺勤率は次の公式より之を求む  

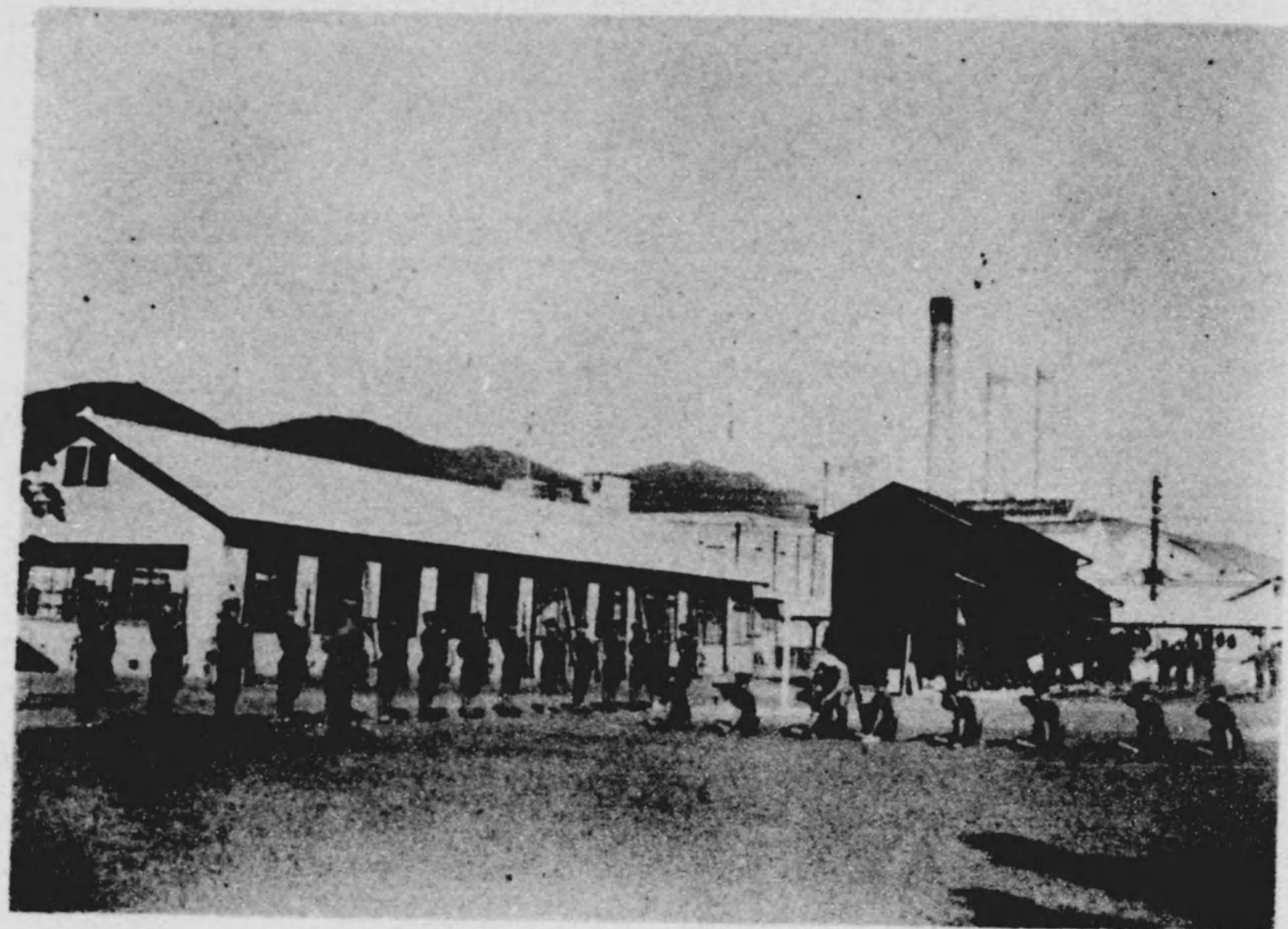
$$\text{缺勤率} = \frac{\text{事故缺勤延人員}}{\text{在籍延人員}} \times 100$$
- 2、其他省略
- 3、災害狀況と缺勤狀況との綜合  
 以上災害狀況缺勤狀況に付採點の上前者得點の二倍に後者得點を加へたるものを三にて除し之を各係の得點として優勝を決す

二、安全競争優勝旗  
 三、災害統計表

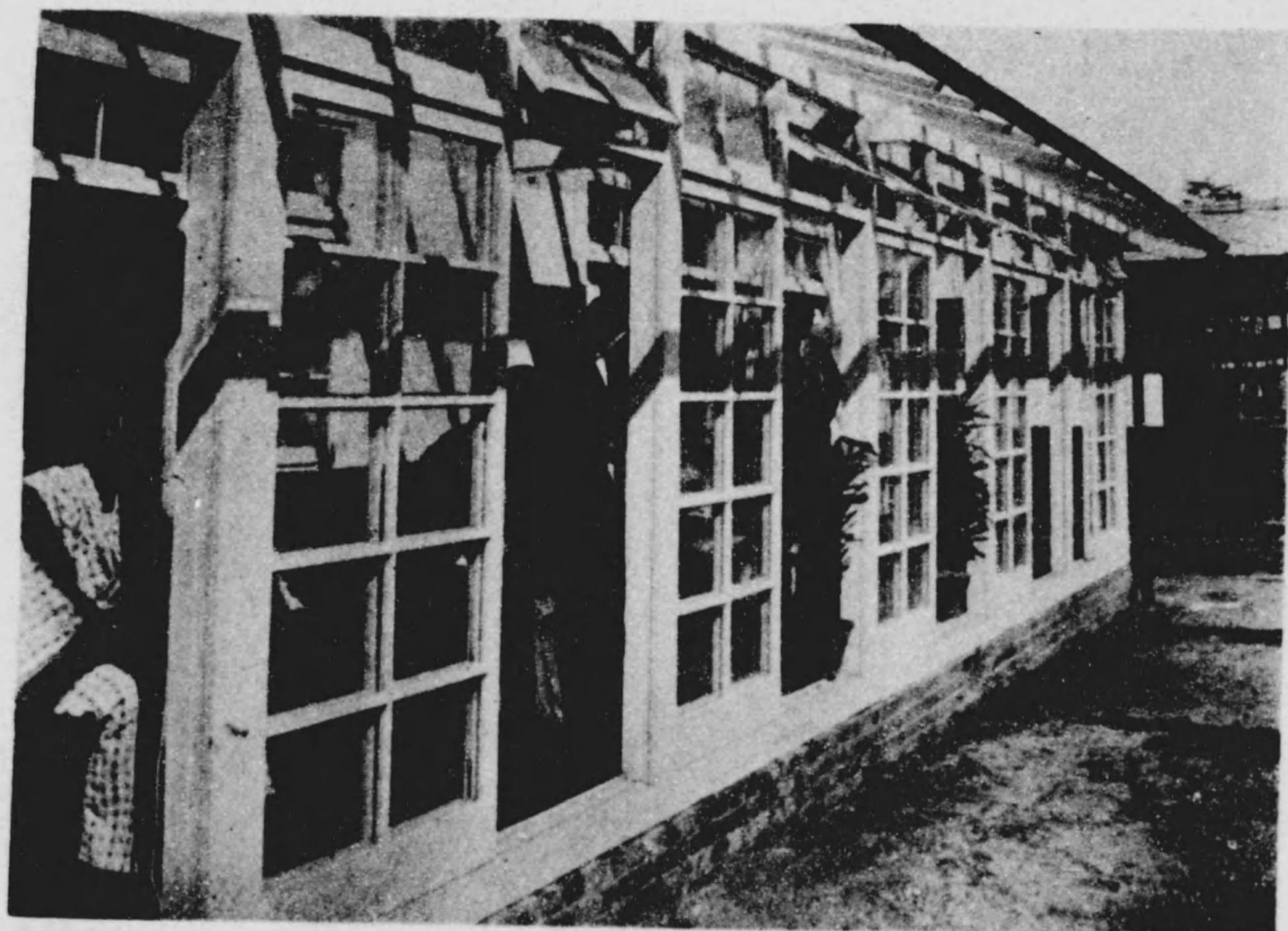








練教個各校學年青

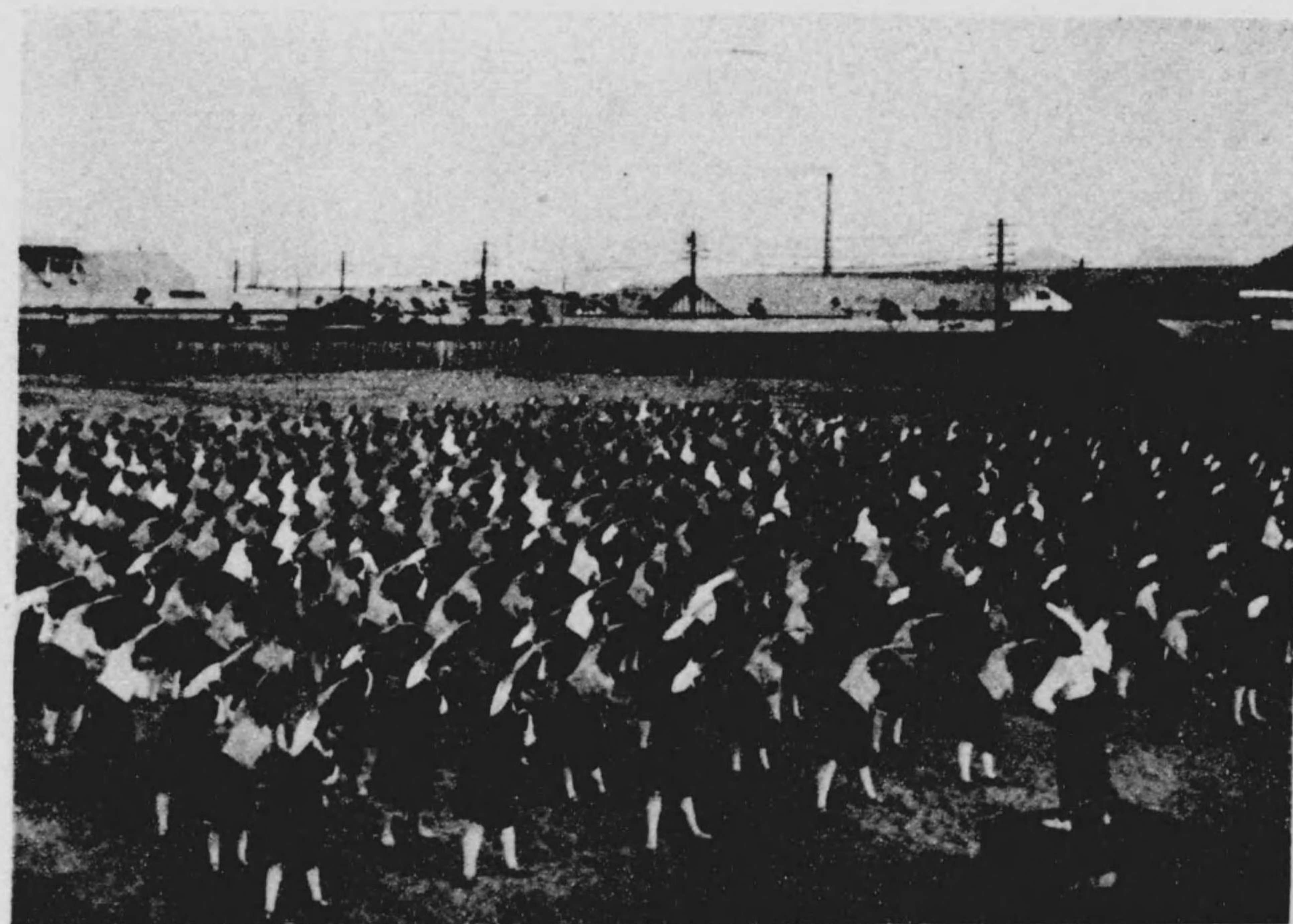


室浴光日寮子男



機信受知報災火

讀書室、舍監室、洗面所、洗濯場、寢具検査、卓球）  
 ト、附屬病院に關するもの（内科診察室、外科診察室、眼  
 科診察室、耳鼻咽喉科診察室、外科處置室、レントゲン  
 室、太陽燈室、病院廊下、病室、病院外景）  
 チ、食堂炊事場に關するもの（食堂全景、炊事場全景、食  
 堂内部、檢收場、洗濯機、豆腐製造機、食事配給所）  
 リ、其他福利施設に關するもの（日用品配給所外景、同上  
 内部、喫茶場外景、喫茶場内部、哺乳室、理髮場、自轉  
 車置場、男子更衣室、女子更衣室）



操體子女

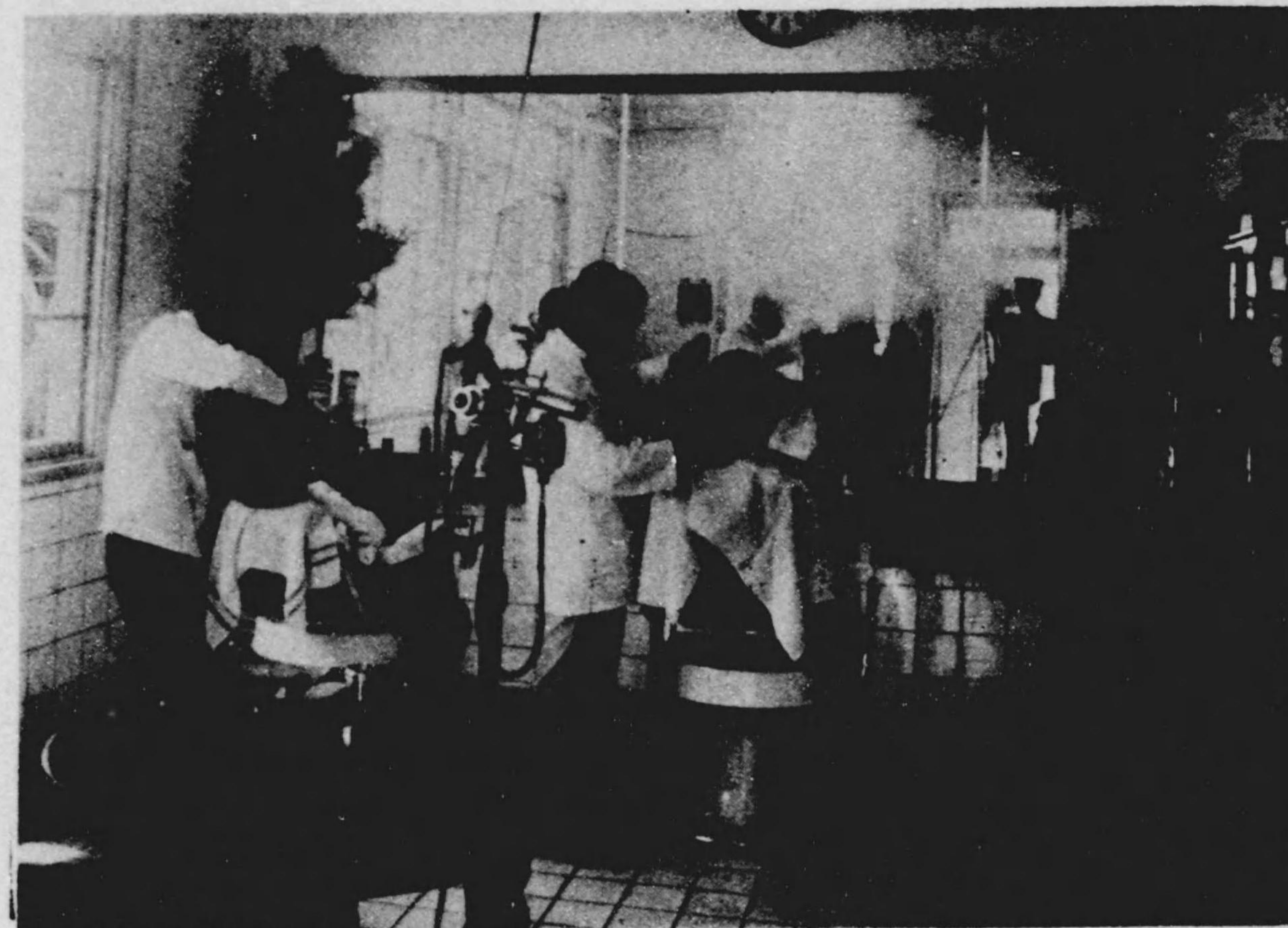


◇東洋紡績株式會社

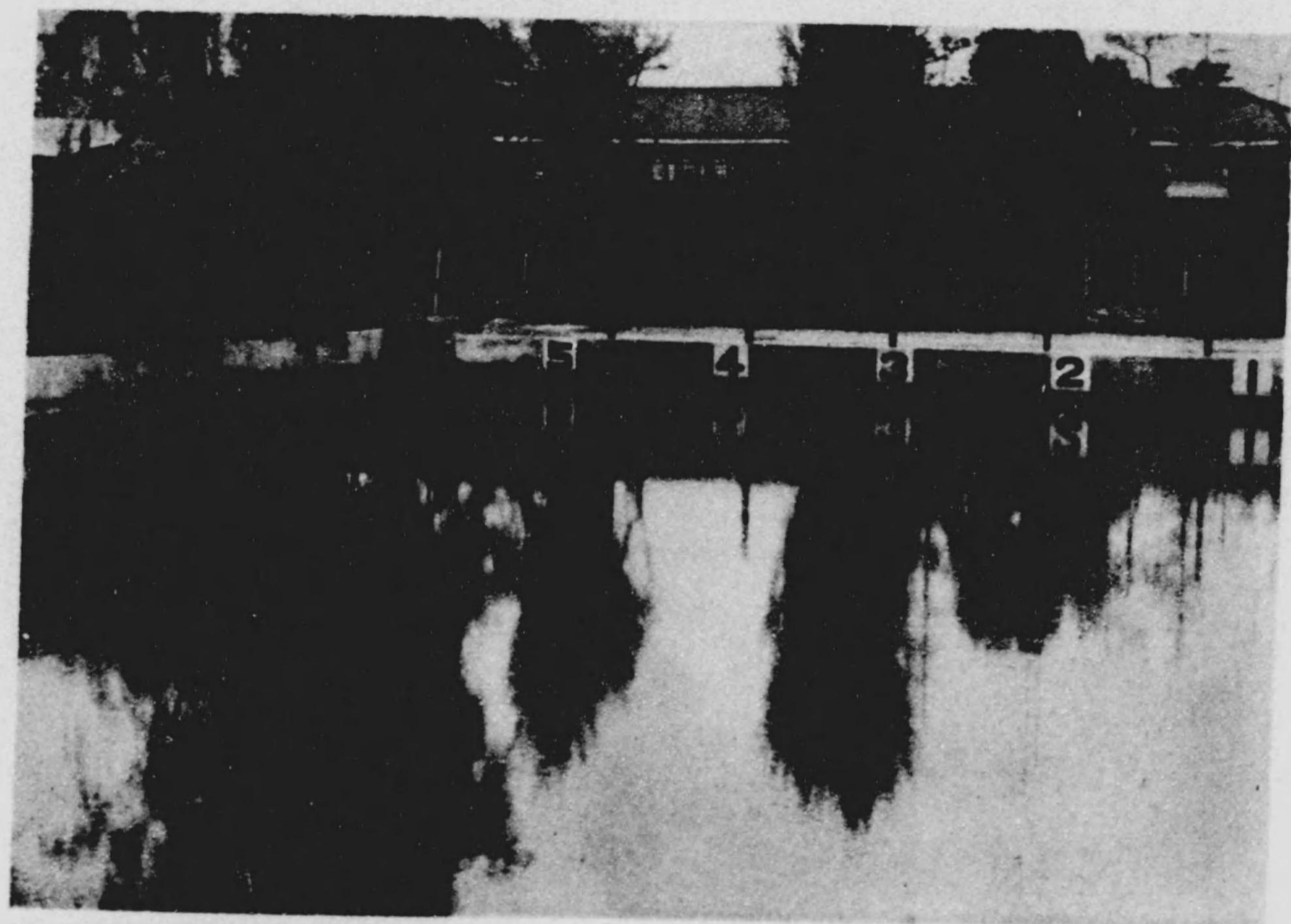
福利施設寫眞

二十葉

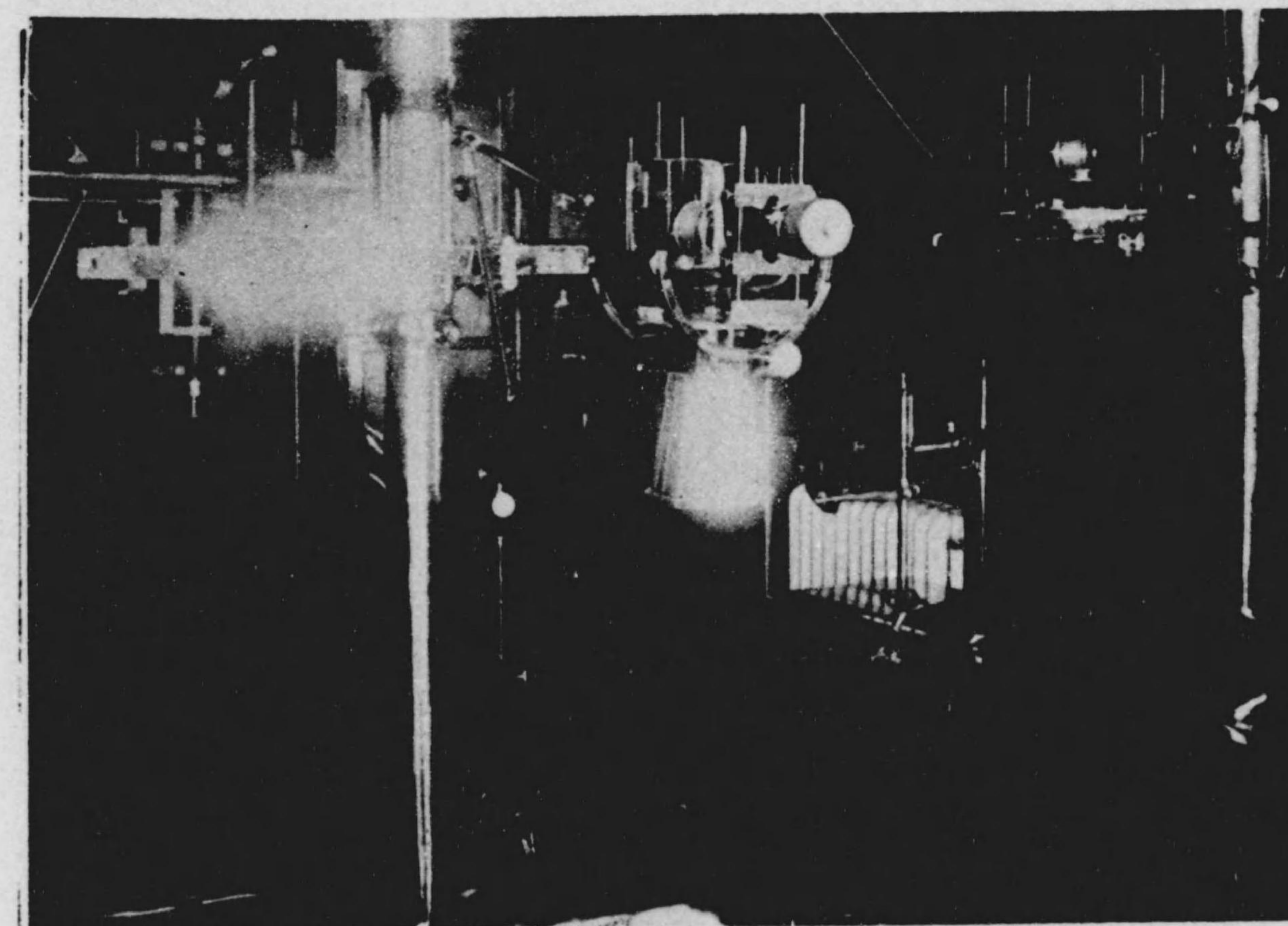
同	同	廣	守	一	同	堅	同	三	同	同	同	富	神	同	山	同	同	同	赤
		島	口	宮	田	田	軒	家				田	崎	田	田				穂
		工	工	工	工	工	工	工				工	工	工	工				工
		場	場	場	場	場	場	場				場	場	場	場				場
プ	寄	女	男	病	劍	柔	裁	食	作	野	日	青	庭	レ	病	女	休	浴	女
ー	宿	子	子	院	道	道	縫	法	法	球	用	年	球	ン	子	憩	槽	子	
ル	舍	青	寄				教	教	場	品	學	場	ゲ	寄	所	舍		舍	
	非	年	宿				堂	授	所	配	校	室	ン	宿	下	室		室	
	常	學	舍							所			室	廊				內	
	階	校	內																
	段																		



場 髮 理



ル ー プ 場 工 島 廣

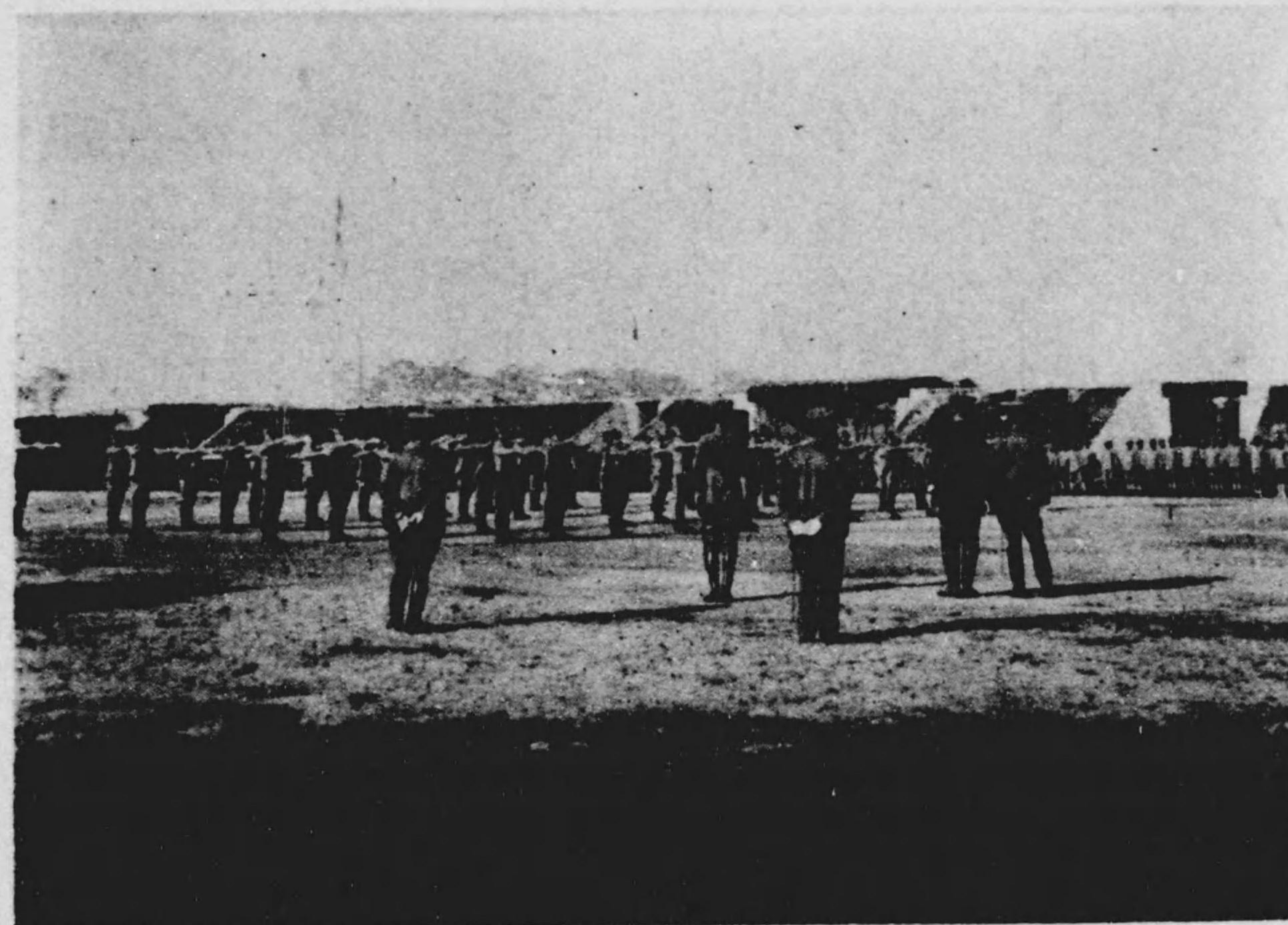


室 ン ゲ ト ン レ





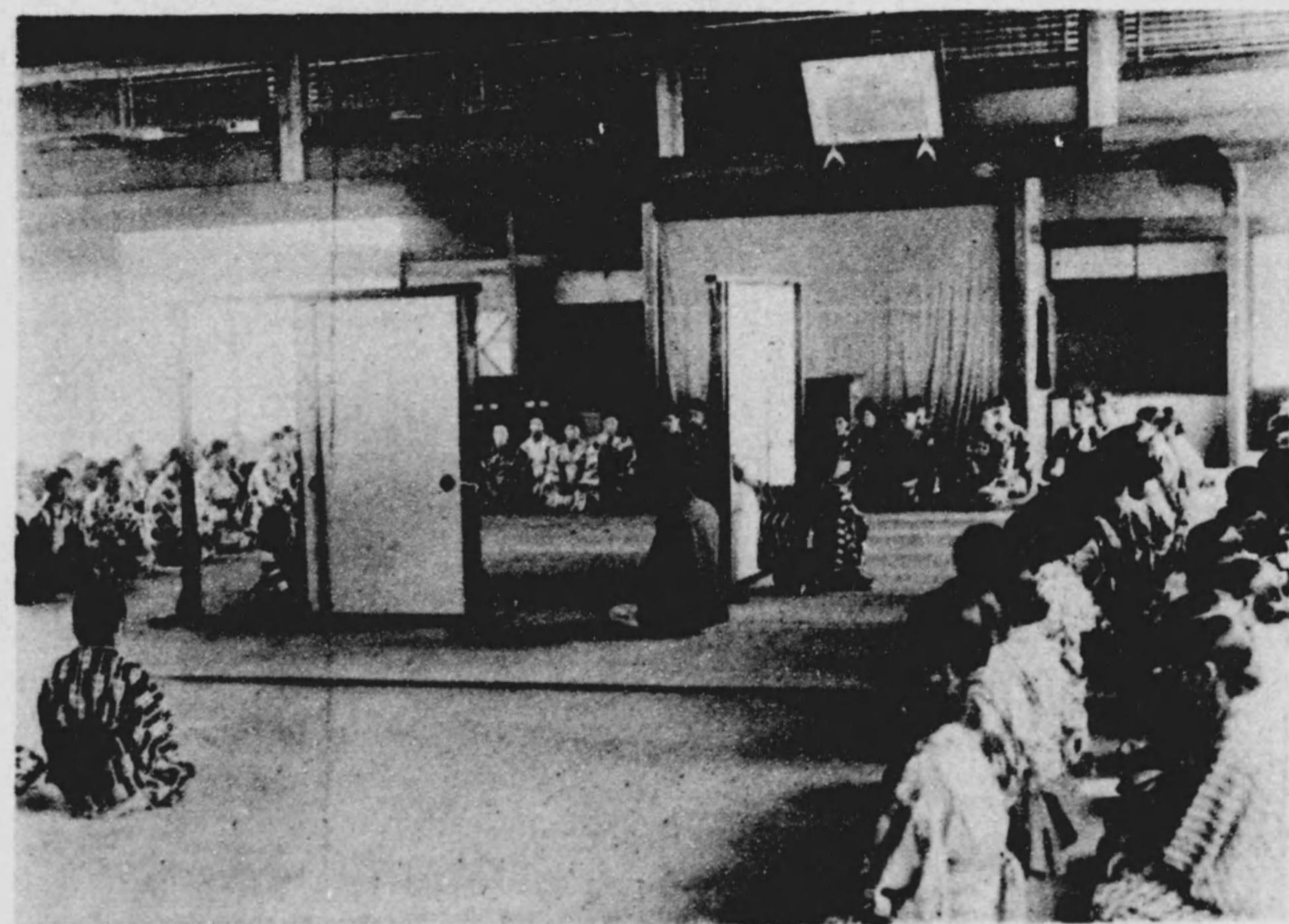
赤穂工場地子女寄宿舎内



富田工場青青年學校



三軒家工場食堂



富田工場製作法教授



### ◇小野田セメント株式会社

一、各年度安全週間成績表

一

二、職工トラコーマ患者経過表

一

三、安全作業法を示したる掛圖

三

- (1) モートル起動合図及びモートルスキツチ無斷起動防止

- (2) 研磨機に對する保護眼鏡代用硝子掩ひの圖

- (3) 安全選帶装置の圖

四、安全ポスター

五

五、職工住宅寫眞

四

六、怪我なし競争の要領

一

怪我なし競争(安全競争)の要領

当社に於て負傷の減少を計るため昭和三年五月より工場内各課係間に怪我なし競争を實施し爾來負傷者數も著しく減少せり

右に依り毎月各課係共緊張注意し自課係内より負傷者を出

さるる事に努むると共に各支社工場間に於ても此種の競争を行ひ延いては本支社工場間の競争となるに至れり、之が審査に當りては毎月負傷少なき課係を一等とし以下之に準じて等級を定め印刷して各小掛に配付し一層の注意を喚起

せしめ尙本支社工場間も本件に關する書類の交換をなし以て相互的に負傷防止の原因並に工場施設を批判し對策を考究する等怪我なしの達成に努力しつゝあり今其の一例を示せば次の如し

課係名	番号	小係名	負傷者氏名年齢	負傷の月日時	負傷場所	負傷原因及誘因	負傷部位	休業日數	責任別
製造係	1	燒塊置場	何某	午前	燒塊庫	燒塊エレベーター運轉ベルトが外れ之を掛くるに當り運轉を停止せざりし間に以て誤つてベルトと革車との間に挟まる	左手首骨折傷	三〇	斯る場合には運轉を停止して行ふべく平常より教へられ居るにも拘らず之を守らざる爲なり將來斯る事なき様注意を要す
包装積出係	2	積出掛	何某	午後	南堤	紙袋入セメントを「トロッコ」にて運搬中其の袋に附着せるセメント粉末が風の爲に飛散し左眼に飛入す	左眼結膜損傷	〇	止むを得ざるものと認めらる
倉庫係	3	日下組	何某	午後	石炭棧橋	石炭を「トロッコ」にて轉送中棧橋上に於て棧橋の支柱腐朽し居り之が突然折れたる爲「トロッコ」と共に棧橋より落つ	腰部打撲傷	二〇	自己の作業場なるが故に注意の必要あり尙當該課係としては直ちに必要あり手入をなすはもとより他に類似の箇所なきや一般的調査の必要あり



小野田セメント株式會社出品の一部

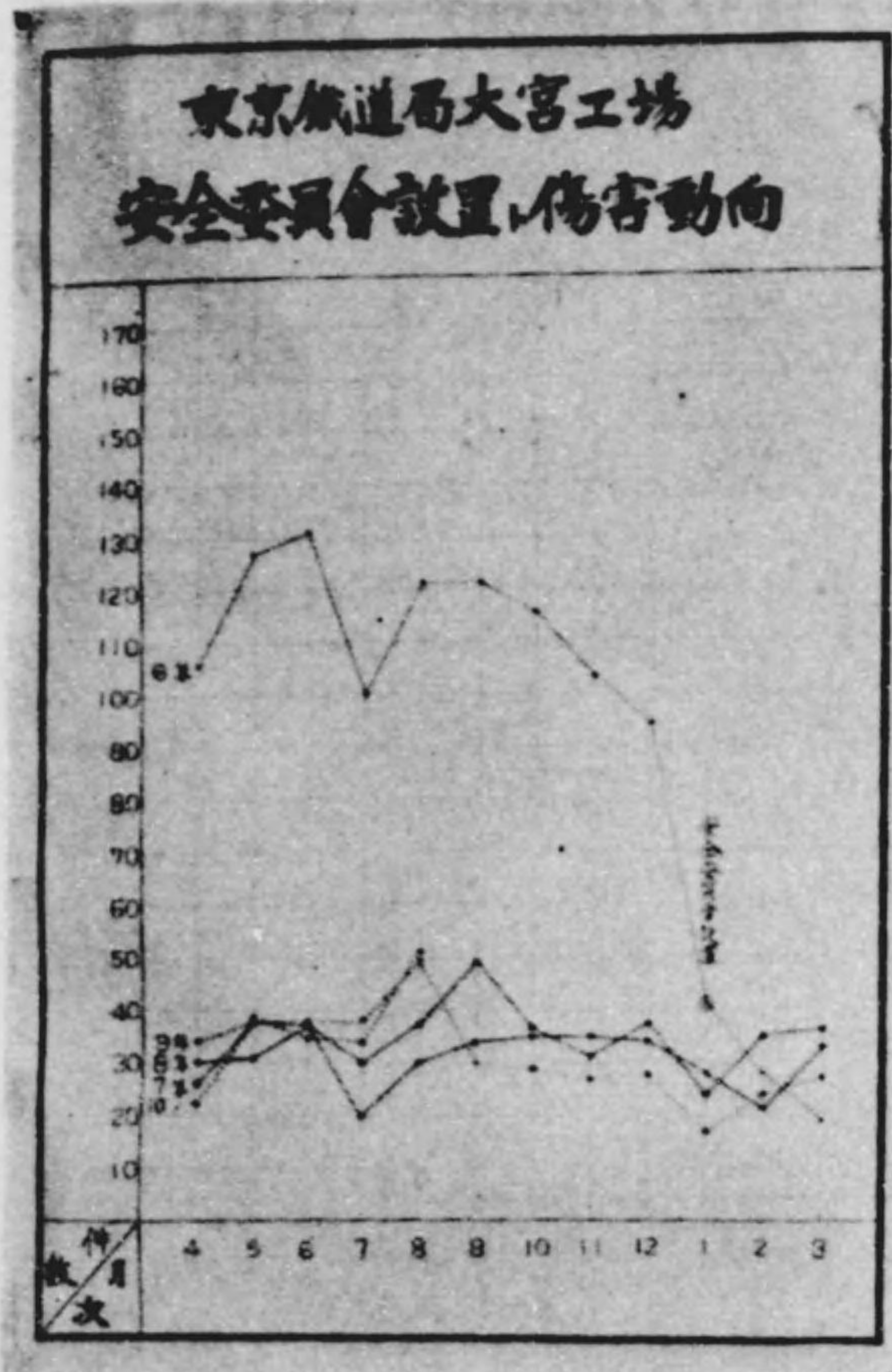


### ◇株式会社日本製鋼所廣島工場

- 一、最近三ヶ年間に於ける眼の負傷原因別件数表
- 二、最近三ヶ年間に於ける身體部位別重傷分類圖表
- 三、最近三ヶ年間に於ける週日別負傷率圖表
- 四、最近三ヶ年間に於ける四季別負傷時間圖表
- 五、最近一ヶ年間に於ける年齢別災害率圖表
- 六、兩眼異物火傷竄入例(災害惹起物並に説明)
- 七、研磨砥石破裂例(災害惹起物並に説明)

### ◇東京鐵道局大宮工場

#### 一、安全委員會設置と傷害動向



### 二、大宮工場安全委員會組織一覽表

#### 三、大宮工場安全競争方法

- 第一條 大宮工場安全競争ハ本内規ノ定ムル所ニ依リ之ヲ施行ス
- 第二條 安全競争ハ現場作業ニ従事スル技工手(技工手傳及ビ技工見習ヲ含ム)ノ傷害率ヲ月別職場別ニ査定比較スルモノトス
- 第三條 安全競争參加職場別(派出所及ビ運送科ヲ含ム)ハ次ノ通りトシ職員ハ競争ヨリ除外シテ參考ニ留ムルモノトス E、C、G、D、M、V、S、B、T、P、F、W、L、K、R、H、◎職員

第四條 安全競争成績査定方式ハ次ノ通りトシ傷害率ノ優劣ニ依リ第五條ノ賞罰ヲ與フルモノトス

$$x = 1000 \times \frac{A}{B}$$

x = 傷害率

A = 總傷害件数

B = 總人工数

#### 第五條 賞罰ノ種別ハ次ノ通りトス

- イ、傷害率他職場ニ比シ最小ナル場合 賞牌 (傷害低率賞)
- ロ、傷害率他職場ニ比シ最大ナル場合 罰牌 (緊張喚起標)
- ハ、傷害率零ナル場合 賞牌 (傷害皆無賞)
- ニ、傷害皆無賞ヲ引續キ三回受ケタル場合 表彰 (大宮工場安全表彰規定参照)
- ホ、傷害皆無賞ヲ引續キ六回受ケタル場合 表彰 (大宮工場安全表彰規定参照)
- ヘ、傷害皆無賞ヲ引續キ十二回受ケタル場合 表彰 (大宮工場安全表彰規定参照)
- 第六條 傷害トハ傷痍ノ爲醫師ノ治療ヲ受ケタルモノヲ謂ヒ總傷害件数トハ一ヶ月中ニ發生シタルコレガ總件数トス、傷痍再發シタル場合ハ新ニ一件トシテ算入スルモノトス
- 第七條 總人工数トハ公休公傷等總テヲ含ム人工数ニシテキーパーニ依ルモノトス
- 第八條 職場專屬ノ工手ハ該職場ニ算入スルモノトス

第九條 他職場ニ於テ他職場ノ作業ヲ爲スコトアルトキ該技工手ニ依リ生ジタル傷害ハ作業職場ニ算入スルモノトス

第十條 成績算出ノ場合ニ於ケル數字ハ小数點以下二位マデトシ三位ニ於テ四捨五入ス但シ傷害率ニ於テハ差異ヲ決定シ得ルマデ算出スルコト、シ絶對同數値ノ場合ハ同位トス

第十一條 安全競争成績ノ査定ハ安全委員會長之ヲ行フモノトス

第十二條 成績ノ査定ハ毎月一回之ヲ行ヒソノ結果ハ揭示並ニ工場報ニ依リ之ヲ公示スルモノトス

第十三條 表彰狀ハ表彰式ヲ行ヒ之ヲ授與スルモノトス

第十四條 表彰セラレタル職場ハ賞牌又ハ表彰ヲ見易キ箇所ニ揭示スルモノトス

第十五條 賞牌又ハ表彰ヲ授與シタルトキハ表彰原簿ニ其職場名其他必要事項ヲ登録シ置クモノトス

以上 (昭和九年四月一日改正)



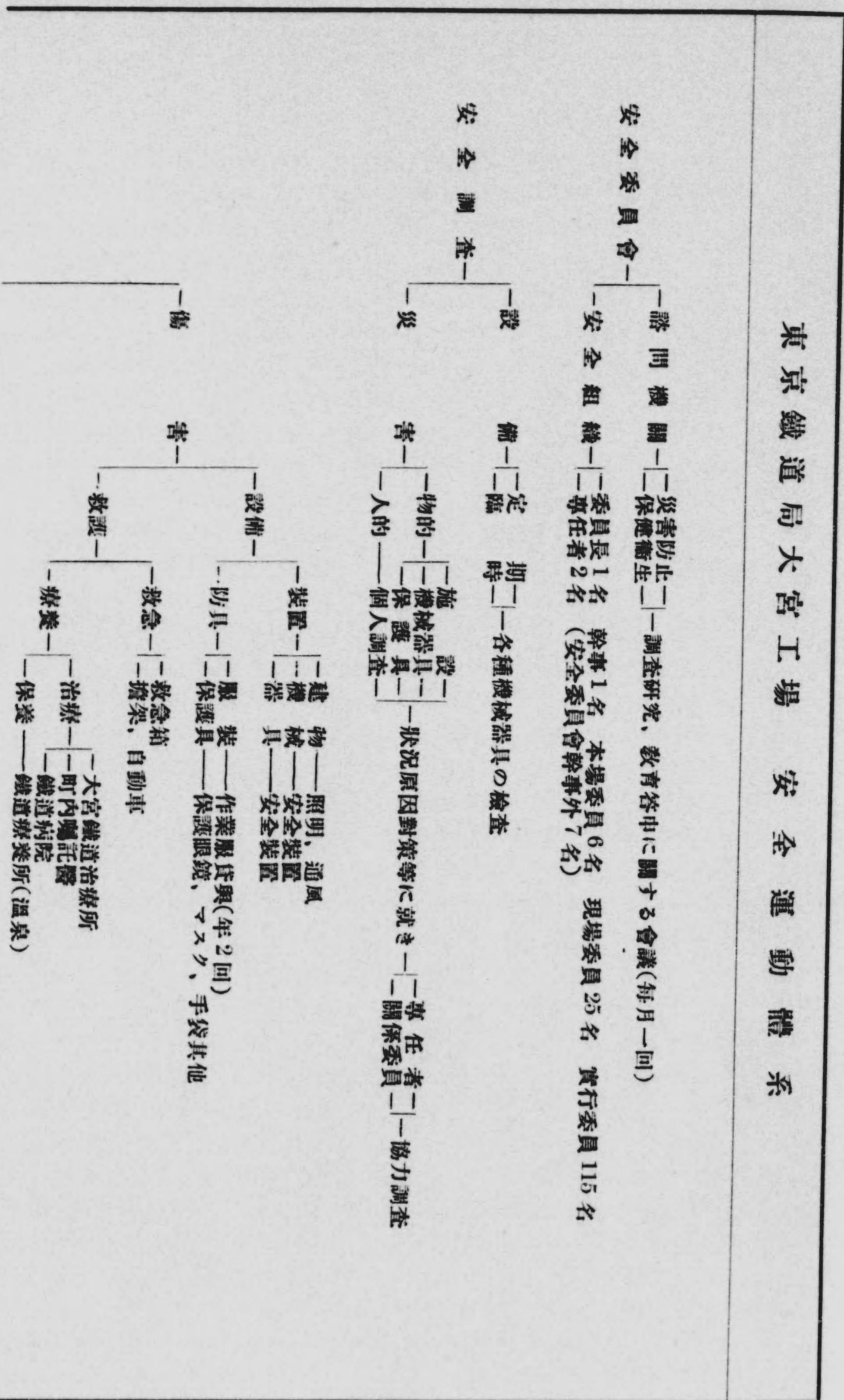
四、安全競争成績算出方法

昭和 10 年 7 月分 大宮工場

参照番號	所屬	傷害件數	總人工數	傷害率	成績順位	賞罰
			技工、工手 口	$\frac{1}{口} \times 1000$ ハ		
1	組立	7	705290	99	9	
2	客車	3	388365	77	6	
3	貨車	2	227940	88	7	
4	電機	1	250085	40	2	
5	施盤	5	461985	108	10	
6	仕上	0	205955			傷害皆無賞
7	鍛冶	2	224022	89	8	
8	製罐	1	578850	17	1	傷害低率賞
9	鐵工	4	188935	212	12	緊張喚起標
10	塗工	1	227820	44	4	
11	鑄物	2	282871	71	5	
12	木機	0	128840			傷害皆無賞
13	工具	2	145550	138	11	
14	工機	0	194015			同
15	副生品	0	168300			同
16	運送科	1	232155	43	3	
17	派出所	0	123855			
18	計	31	4733833	65		同
19	職員	2	1442300	14		
20	合計	33	6176133	53		

五、大宮工場安全運動體系

東京鐵道局大宮工場 安全運動體系





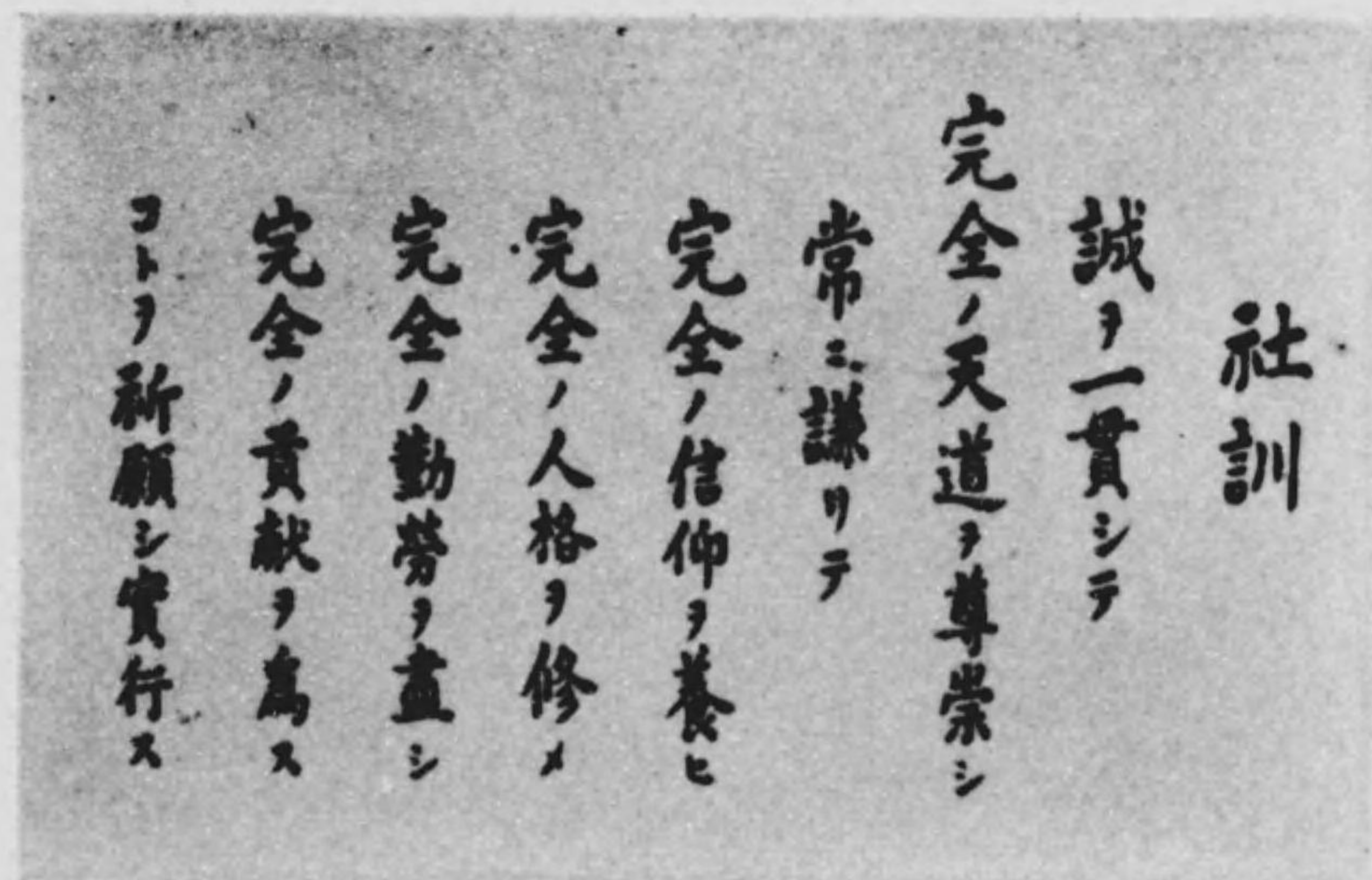




- 六、安全懸賞募集と其の答案
- 七、災害惹起物並に説明 十六種
- 八、其他安全運動に関する寫眞 七葉

◇郡是製絲株式會社

- 一、社訓 額面一個
- 二、福利施設寫眞 三一葉
- 三、姿勢の良不良を對照したる繪圖 一〇葉
- 四、作業服並に制服 二四點



郡是製絲株式會社

(一) 様式一揃 (工手用)

項目	地質	色合	價格	備考
ドレウス	半セル	黒	四、六〇	本綿、白山袖及秩父或は絹綿交織など試用研究せし結果、現在に於ては作業及經濟の點より綿毛交織程度のものを可とす
ブラウス	金巾	白	〇、三〇	ポプリンで作るのもよい
シミーズ	金巾又ハコ	白	〇、四五内外	前で合せる様になつてゐるので着付上便利である且つ和装にも筒型より容姿の點に於て優れてゐる
ブルマース	金巾又ハ綾等	白又は黒	〇、三五内外	裁縫も簡單で暖かである

ホームズロース	メリヤス	白又は黒	冬夏	〇、二七	白黒何れも夏物、冬物とあり、はき心地よく使用上に於ても他の物品にくらべて優秀なものである
コンビネーション	メリヤス	白	中大	〇、七五	当社特製品 (本メリヤス) 防寒用として獎勵、和装用にも着心地よく且着付も美
乳バンド	絹ポプリン	白	〇、一五内外	〇、一五	同 着心地がよくて氣受げがよい
健康バンド	インサイベルト又は廣幅ゴムテープ	白	〇、一五	〇、一五	同 右 疲労を減退し腰部にしまりが出来て暖かい、姿勢もよく
腹巻	金巾眞綿入	白	〇、二五	〇、二五	眞綿製を獎勵 婦女は常に腰部を暖かにすることは保健上大切である
チヨツキ	ク	白又は黒		〇、二五	濕氣の多いところでは眞綿は毛糸より衛生的である
ライニング	ク	黒		〇、二五	冬期のみライニング式として簡單に裏をとり付けて眞綿をはきみ夏は
ストッキング	メリヤス	白又は黒	カパー	〇、二五内外	とりのける(からすれば年中着用出来る)
上靴	ズツク	黒	〇、六〇内外		和室生活には指つきが恰好もよく便利である
					乙女靴、輕くて比較的堅牢である

(二) 参考

- 一、教婦用作業服
- 二、事務員用制服
- 三、教育係用制服
- 四、ブラウス
- 五、オーパー
- 六、ハーフコート
- 七、作業前掛
- 八、靴下釣り
- 九、月華バンド

型地色價 質格

- 各寫眞の通ル
- 七
- 黒
- 十一圓五十錢
- 何れも白ポプリン
- 黒メルトン
- 教師用黒絹地(夏季用)
- 一 着 九圓十錢
- 一 着 九圓内外
- 一 着 二圓三圓
- 其の一タスキ キヤラコ
- 一枚 五圓十五錢
- 其の二袖付 キヤラコ
- 一枚 四圓十五錢
- (健康バンド兼用のもの研究中)
- 当社特製品
- 三十錢

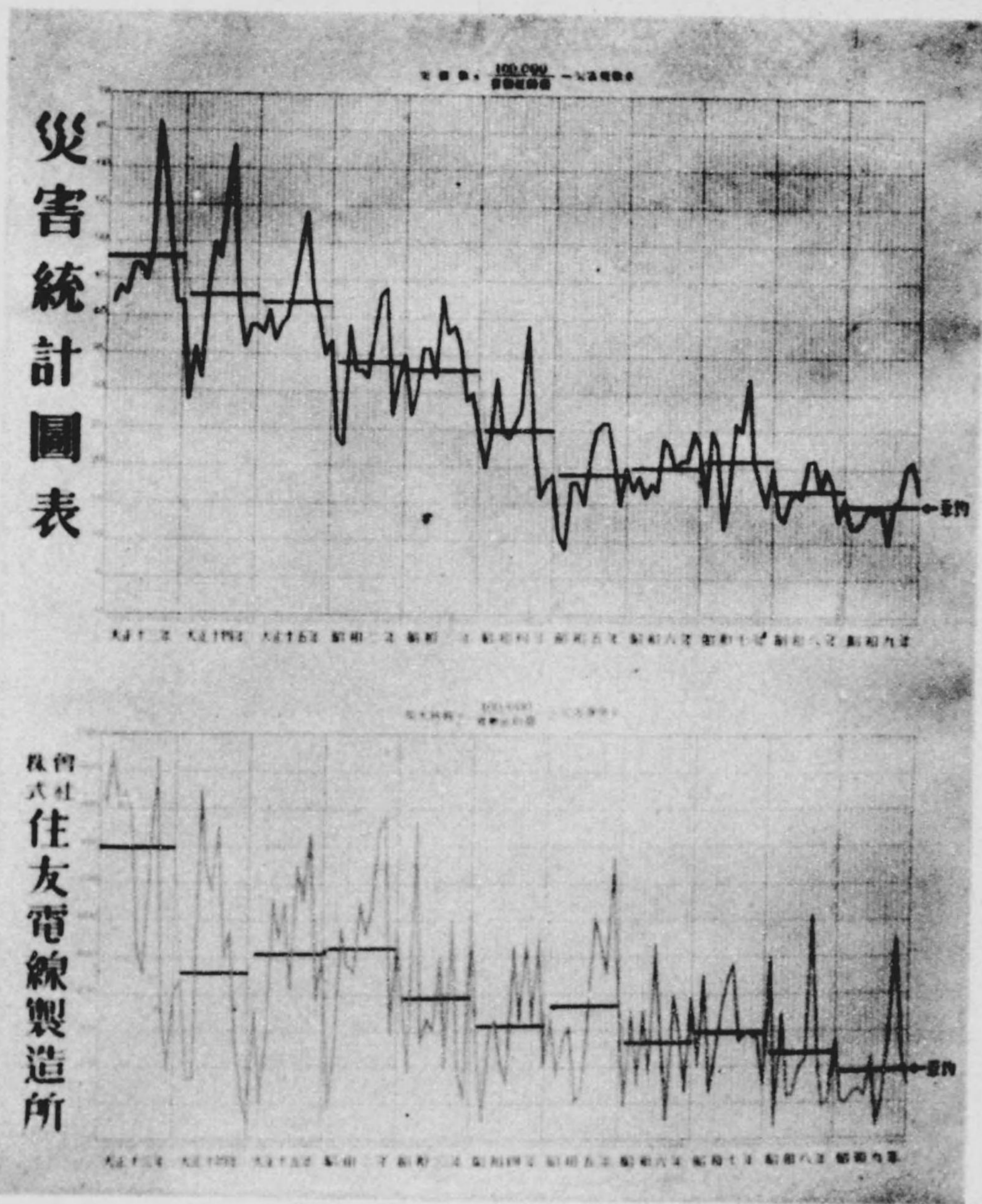




工場内通路



工場洗手場



災害統計圖表

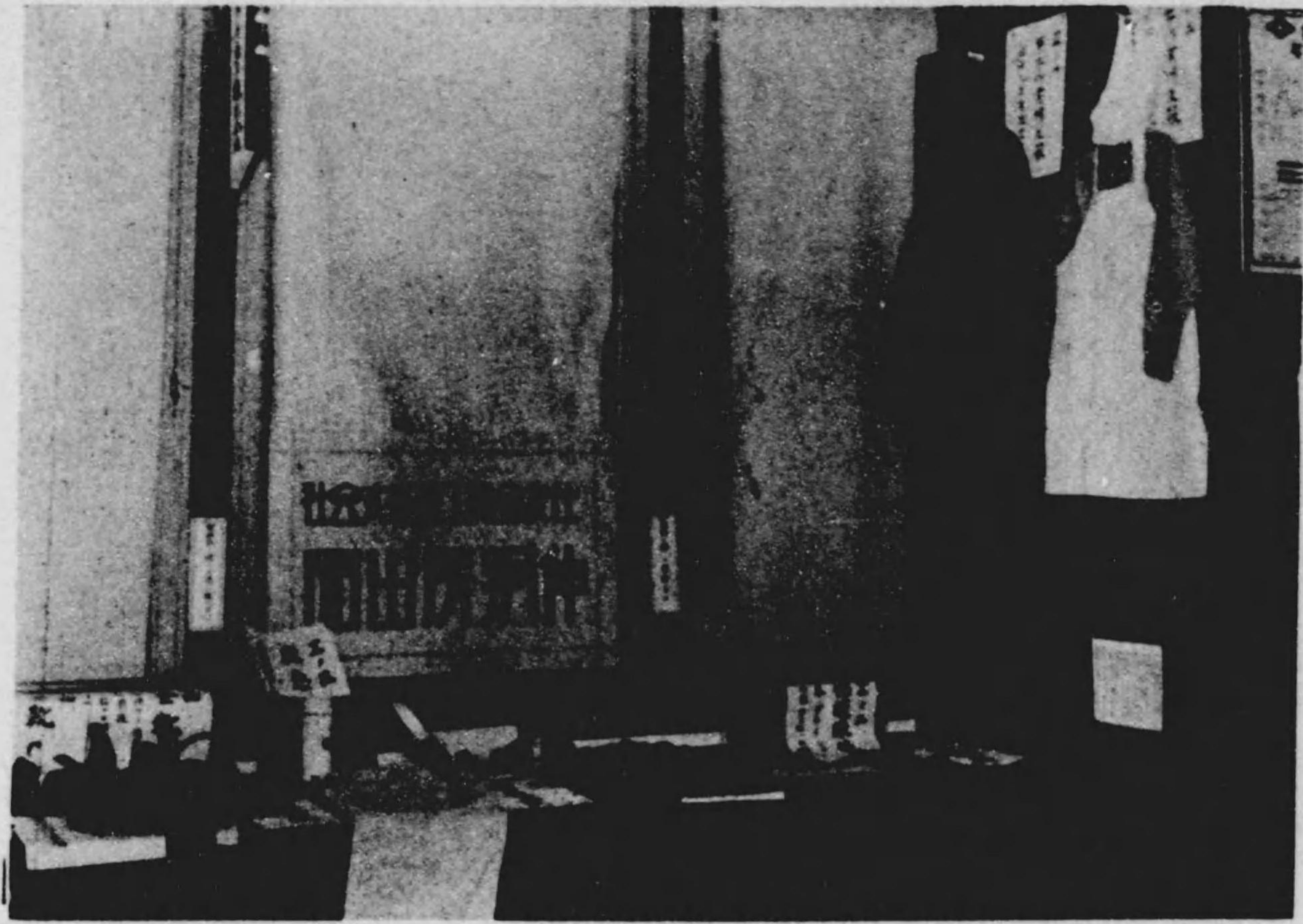


郡是製絲株式會社出品の一部

◇株式會社住友電線製造所

- 一、安全装置、衛生並に福利施設の寫眞額面 十二
- イ、護謨混合ロール動力急停止装置
- ロ、工場内通路
- ハ、炭素粉排出装置
- ニ、工場内手洗場
- ホ、ハウステン
- ヘ、食堂冷風並に暖房装置
- ト、浴場
- チ、更衣室及び更衣箱
- リ、圖書庫
- ヌ、圖書閱覽室
- ル、武術道場（柔道）
- ヲ、同（劍道）
- 二、工場歌（額面）
- 三、災害統計圖表（掛軸）
- 四、福利施設一覽表（掛軸）
- 五、災害惹起狀況圖解（ポスター）
- 六、従業員の應募せる安全ポスター（掛軸）





住友伸銅所出品の部一

- 一、安全並衛生施設寫眞
- 二、災害惹起物

二葉  
一八點

住友金屬工業株式會社鋼管製造所

- 四、安全裝置寫眞
- 五、災害惹起物寫眞
- 六、災害惹起物
- 七、作業服
- 八、保護眼鏡
- 九、電氣熔接用手袋
- 一〇、玉掛用作業帽
- 一一、洗滌工用前掛
- 一二、研磨工用胸掛
- 一三、高所作業用安全バンド
- 一四、安全靴
- 一五、救急器具

四葉  
八葉  
二點  
二層  
六種  
一四種

- 一、災害統計圖表
- 二、安全週間實況寫眞
- 三、消防施設寫眞

九葉  
一〇葉  
一四葉

住友金屬工業株式會社伸銅所



住友電線製造所災害惹起狀況圖解



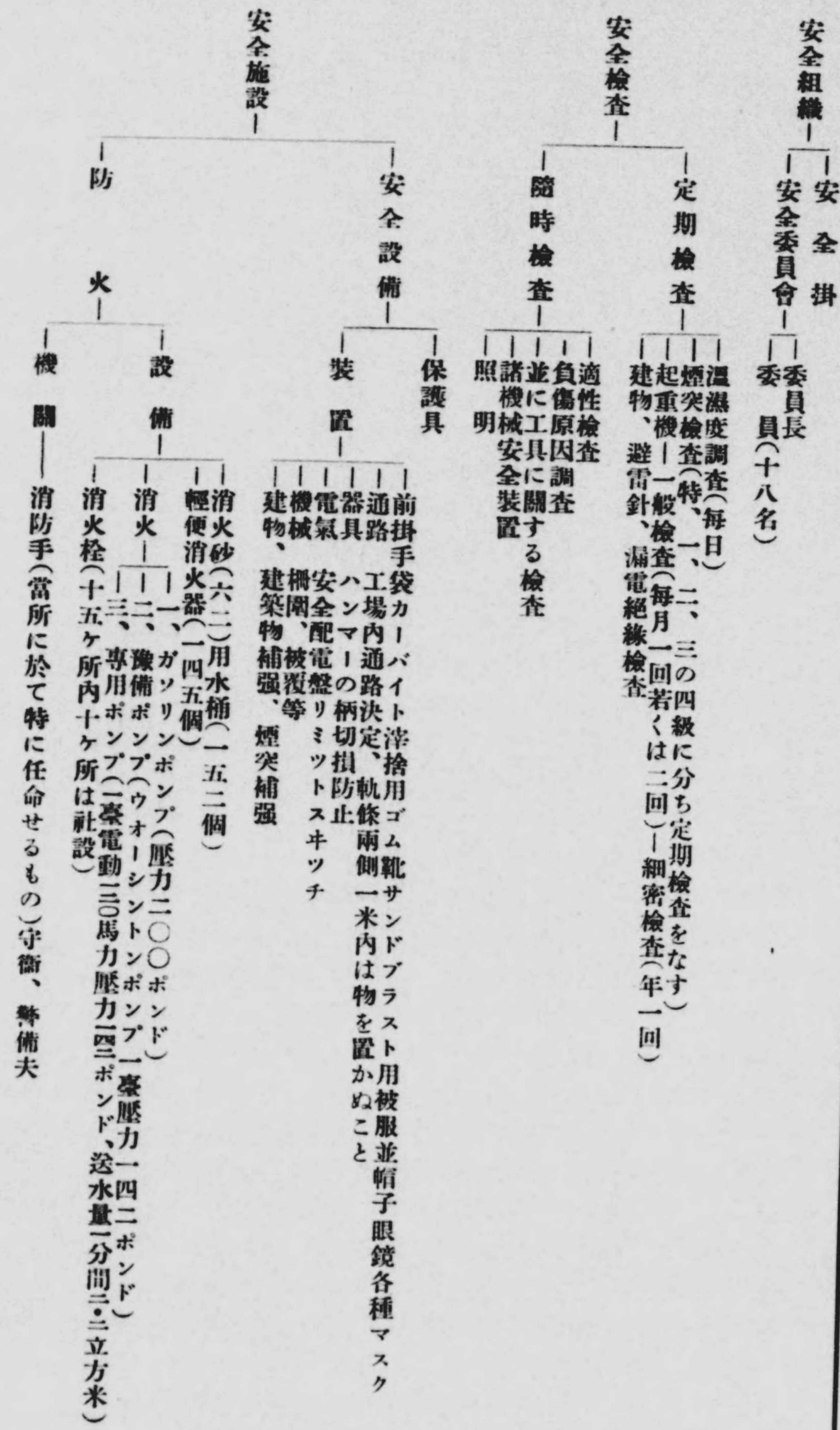
住友伸銅所出品の部一

住友伸銅所災害統計の部



一、製鋼所安全運動體系

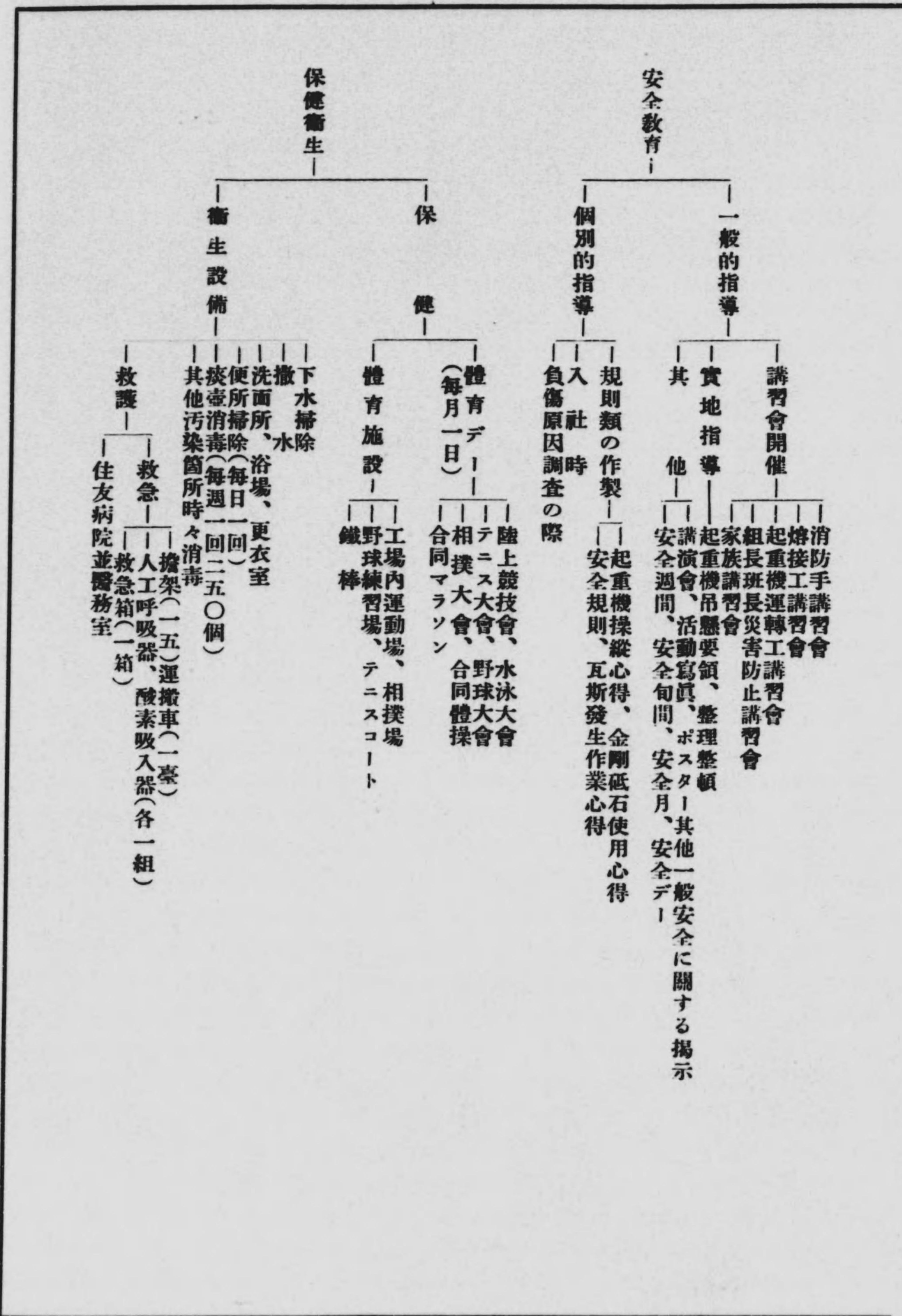
◇住友金屬工業株式會社製鋼所



住友金屬工業株式會社製鋼所製造品の一部



安全運動體系



- 二、災害惹起物(額面に取付たるもの)
- 三、年齢と握力及背筋力との關係
- 四、作業別に依る握力並に背筋力平均

◇株式会社川崎造船所製鋸工場



- 一、自昭和四年至昭和十年安全運動經過表(額面)
- 二、安全装置(額面に取付たるもの)
- 三、安全週報綴

◇吳海軍工廠

- 一、安全求スタ
- 二、災害惹起狀況圖解
- 三、危害豫防裝置寫眞
- 四、落下物に依る災害惹起寫眞
- 五、同上災害を免れたる帽子



◇福島紡績株式會社福山支店

- 一、危害豫防並に福利施設寫眞



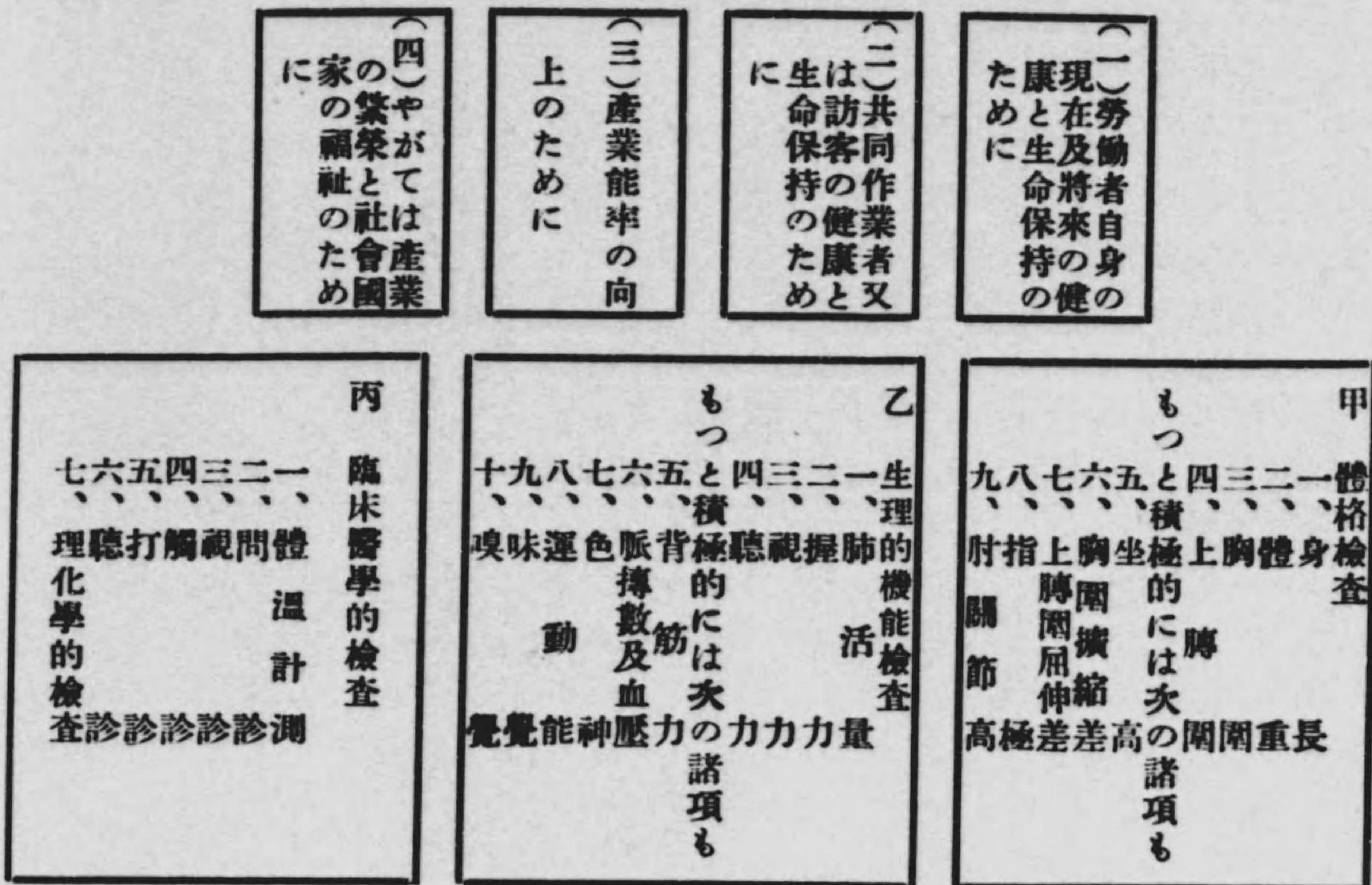




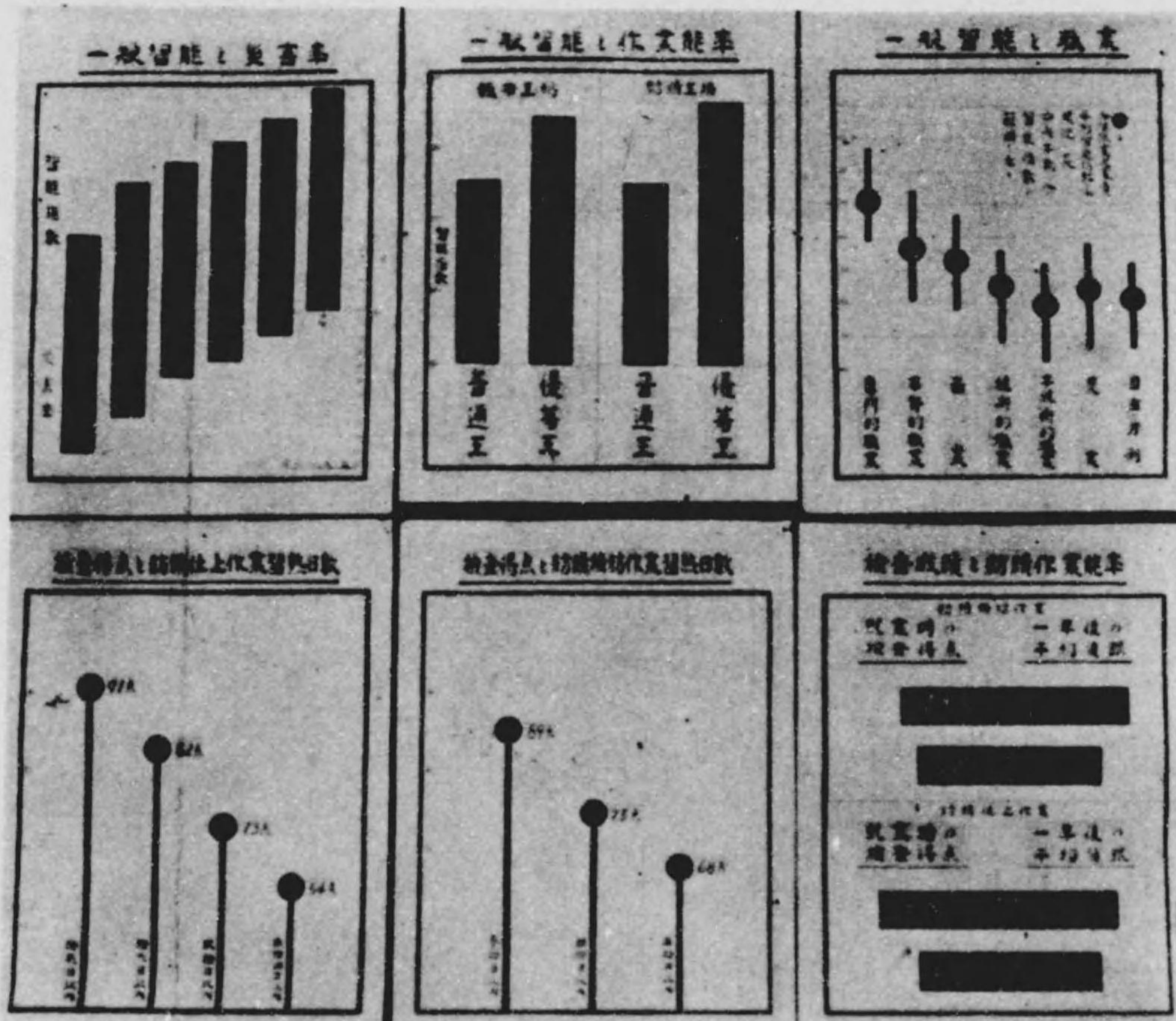
二、身體検査

身體検査

健康に充分な労働力に優れたものを選べ



三、一般智能検査  
四、特種性能検査



五、工場氣候

人間の暑さ寒さの感じは  
一、空氣の温度  
二、空氣の湿度  
三、風の有無  
これ等の條件の如何が身心に影響し作業能率を左右する

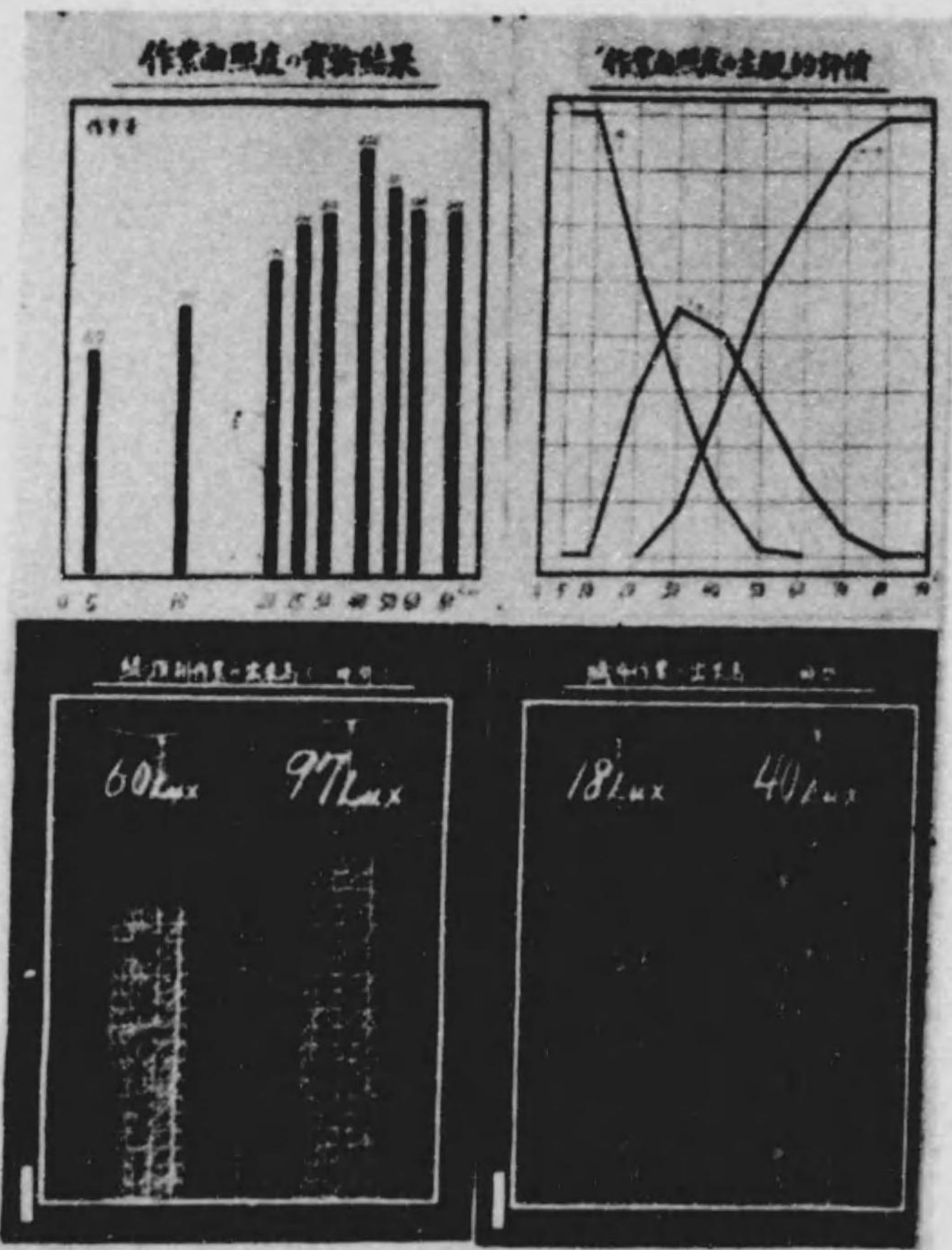
或る紡績の粗紡部の生産能率は冬に比して夏は凡そ二割以上の低下を示す之は作業人員や綿糸布價の影響ではない  
この能率曲線を作業室の濕球温度と對照すれば能率の低下が温度の高いためであることがよくわかる、従つて夏の室内温度を低くすれば冬と同様の能率をあげる事が出来る筈である



六、照明と能率

照明をよくすると生産高は増加する  
丁度よい明るさは織布作業に於て...

○丁度よい明るさは三  
○四〇ルクスである  
○作業能率の一番高い  
ところでは四〇ルクスである





七、職業別塵埃の種類並に塵埃性疾患一覽表

職業の種類 (中分類)	職業の種類 (小分類)	有害塵埃	職業性疾患	備	考
採掘冶金	金 屬 鑛 業	鑛粉	鑛肺、中毒、結膜炎、氣道カタル	CO 其他瓦斯中毒注意	
土石採取	石炭鑛業	石炭矽石	鑛肺、結膜炎		
	土石採取業	石粉	鑛肺、呼吸器疾患	結核は重要な準職業性疾患	
	セメント製造	矽石	皮膚疾患、塵肺		
窯業	煉瓦製造	鑛土	鑛肺、呼吸器疾患		
	陶磁器製造	矽石、鉛、砒素、クロム	鑛肺、中毒、呼吸器疾患	ロイマチス胃腸病等注意	
	七宝製造	矽石、金屬粉	鑛肺、中毒		
	硝子品製造	矽石、色素	矽石肺氣腫、中毒	中毒は鉛、クロム、砒素等、硝子研磨ではボテ中毒	
	釘鉋針製造	鐵	鑛肺、氣道カタル、眼炎	結核皮膚疾患等注意	
金屬工業	鑄物業	矽石金屬粉並に蒸氣	鑛肺、粘膜炎カタル、熱發	CO 中毒亞鉛蒸氣中等等も注意	
	銅器製造	鉛、砒素	中毒、粘膜炎カタル、皮膚疾患	中毒、粘膜炎カタル、皮膚疾患、鑛金工場では濕疹、ハンダ附場では錫、鉛、COガス	
	器具製造	鉛、砒素、アンチモニー	慢性濕疹、肺膿瘍、中毒		
	精鍊業	鉛、砒素、アンチモニー	鑛肺	ラヂウム中毒、視力障害	
	時計製造	金屬粉	鑛肺		
機械器具製造	電動機、電氣器具製造	鉛、密陀僧、黃色酸化鉛、鉛丹水銀	鉛中毒、呼吸器疾患		
	鐵砲製造	鉛、砒素、アンチモニー	中毒	砒素とアンチモンは硬化に使用	
	水雷製造	鉛、砒素	中毒	雜體CO 其他の瓦斯中毒注意	

職業の種類 (中分類)	職業の種類 (小分類)	有害塵埃	職業性疾患	備	考
化學工業	工業藥品製造	藥品粉塵	中毒、皮膚粘膜炎		
	染料製造	鉛、アニリン、アンチモニー、砒素、クロム	中毒、糖、皮膚疾患、粘膜炎	鹽素、アンチモニア、ロンダ化合物注意	
	石鹼製造	石灰、脂肪蒸氣香料	氣道カタル		
	化粧品製造	土石粉香料	氣道カタル、粘膜炎カタル、皮膚疾患		
	火藥爆發物製造	水銀	中毒		
	防護セルロイド、防水品製造	滑石粉、溶劑蒸氣	中毒	アセトン、エーテル、ベンゾール、其他溶劑注意	
	肥料製造	石灰窒素	皮膚疾患		
纖維工業	綿製業	綿	呼吸器疾患		
	綿糸紡績業	綿	呼吸器疾患		
	毛織物業	獸毛炭疽病原菌アクチノミコーゼ	呼吸器疾患	瓦斯系紡績ではCO中毒	
	莫大小製造	綿	呼吸器病		
	綱、繩製造	植物性纖維	塵肺、粘膜炎		
紙工業	紙製造	アルカリ	皮膚發疹		
	板紙、壁紙製造	アルカリ色素粉	色素中毒		
	皮革製造	炭疽菌アクチノミコーゼ、硝酸、砒素等	炭疽病、喘息	家内工業に危險性特に大水銀中毒も注意	
	骨、角、牙類細工	有機性粉塵	呼吸器疾患		
羽毛品製造業	刷毛類其他	炭疽菌アクチノミコーゼ	炭疽病呼吸器疾患		

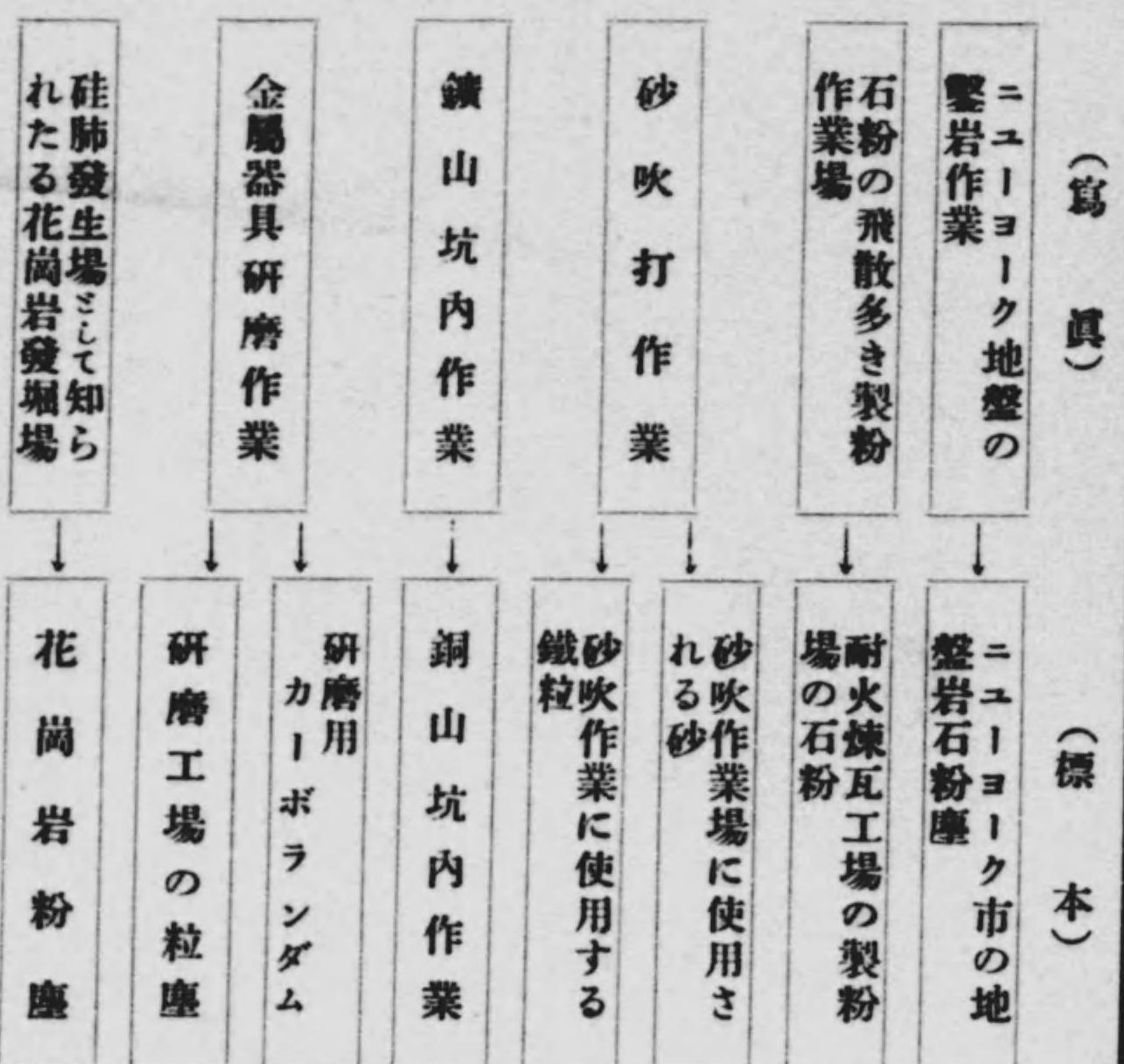


製木竹に關する業	製材業	木粉	喘息呼吸器疾患
嗜好品製造業	精緻製粉業	澱粉	呼吸器疾患喘息
嗜好品製造業	菓子麵飽製造業	澱粉砂糖	呼吸器疾患
製被服、身廻造品	煙草製造	煙草粉末土粉	タバコ肺、頭痛、胃障害
製被服、身廻造品	帽子製造	獸毛	中毒、呼吸器疾患
製被服、身廻造品	シャツ、手袋、足袋類製造	綿粉	呼吸器疾患
土木建築業	左官、泥工、セメント工、煉瓦職	鑛粉	呼吸器疾患
土木建築業	石工	石粉	鑛肺、呼吸器疾患
製製本印刷業	ペンキ其他塗職	鉛粉	中鉛症
製製本印刷業	製版印刷業	鉛	中鉛症、呼吸器疾患
製製本印刷業	活字製造	鉛	中鉛症、呼吸器疾患
製製本印刷業	活版印刷業	眞鍮粉、紙屑等雜塵	呼吸器疾患、中毒
製製本印刷業	製本職	獸毛炭疽病菌	炭疽病、呼吸器疾患
學藝娛樂業	筆墨製造	金屬粉、木粉	呼吸器疾患
學藝娛樂業	ペン、鉛筆、インキ類の製造	染料粉砒素	中毒呼吸器疾患
學藝娛樂業	博物標本模型	染料粉砒素	中毒呼吸器疾患
學藝娛樂業	海動用具類製造	染料粉砒素	中毒呼吸器疾患
學藝娛樂業	造花挿繪等	石粉、金屬粉	呼吸器疾患
學藝娛樂業	裝飾品製造		
學藝娛樂業	貴金屬細工		
學藝娛樂業	飾石		

### 八、硅肺を起す粉塵と其の作業場

(作業場寫眞並に粉塵標本六種)

粉塵によつて種々の疾患が起るがその中で最も恐るべきは硅肺である。發塵性作業者の短命なるは此の病氣であることが多い



### 九、現場でよく使はれる塵の定量法 (食物用品)

- 1、沈降法 單位時間中に沈降する塵埃量を測定する最簡便法なるも正確法ではない。
- 2、濾過法 一定容積空氣中の塵埃量を知る方法である

が濾過用物質は適當に選ばないと測定上の誤差を生じ易い。

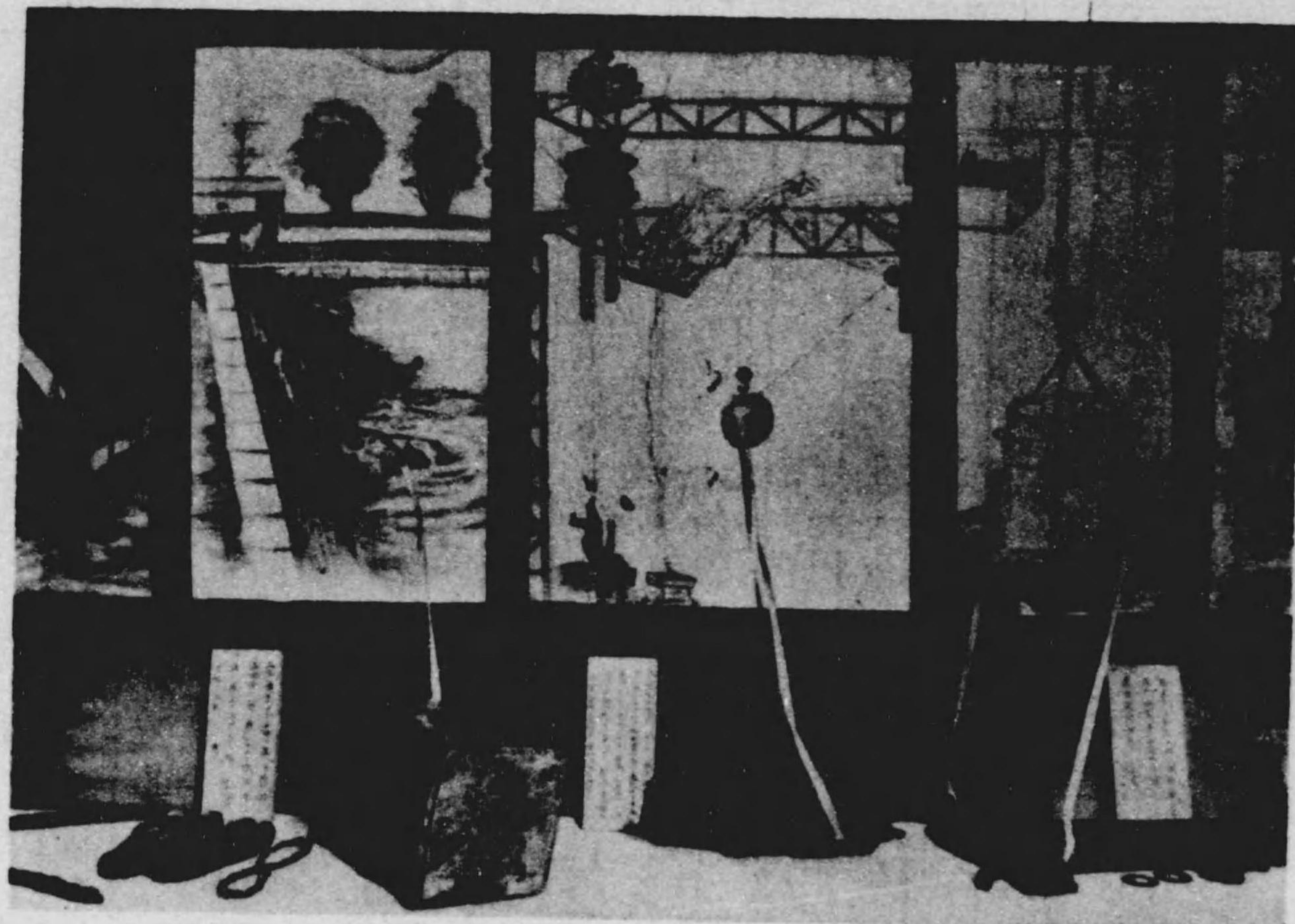
- 3、インピンチャー法、一定容積空氣中の塵埃を重量的に測定する場合に適す装置を誤ると不正確になる。
- 4、吸着法 一定容積空氣中の塵埃量を測定する場合に適す器械と測定方法とを選ばないと不正確になる。

一〇、硅肺を起す粉塵と其の作業場 (作業場寫眞並に粉塵標本六種)

#### ◇日本製鐵株式會社八幡製鐵所

- 一、福利施設一覽 (カビネ型寫眞十二葉) 二〇枚
- 二、一枚の厚紙に貼りたるもの) 一枚
- 三、八幡製鐵所醫務系統圖解 一〇枚
- 四、右附屬寫眞 七枚
- 五、負傷者手當順序圖解 一枚
- 六、眼球に飛込みたる鐵片摘出圖 一枚
- 七、同摘出したる標本 一箱
- 八、大腿部に飛込みたる鐵片摘出圖 一枚
- 九、同摘出したる標本 一種
- 一〇、瓦斯中毒患者表 一枚
- 一一、送風マスク(全身用、人頭用) 二個





部一の物起惹害災



部一の品出所鐵製幡八

履物區別	單價	摩擦係數 (床面上ニテ)	順位
ゴム裏靴	四、二〇	四五	一
タイヤ裏草履	三五	四三	二
ゴム裏草履	三五	四三	二
革底草履	四〇	四二	三
糸裏草履	三五	四一	四
ゴム靴	一、二〇	四一	四
ゴム長靴	三、〇〇	四〇	五
ゴム裏ズツク靴	四三	三九	六
地下足袋	七〇	三九	六
革靴	九、四〇	三七	七
ハッ折	三五	三五	八
麻裏草履	三〇	三三	九
焼杉下駄	二〇	三三	九

三二、従業員履物調査表

一枚

- 一一、同使用状況写真 三枚
- 一二、酸素吸入器 一個
- 一三、同使用状況写真 一個
- 一四、作業用白粉 一個
- 一五、同使用状況写真 一個
- 一六、防塵マスク 二個
- 一七、防塵眼鏡 二個
- 一八、防毒マスク 二個
- 一九、遮光防楯 一個
- 二〇、救急箱 一個
- 二一、保護具着用人形 一個
- 二二、安全教育ポスター及び模型 八種
- 二三、安全漫画 二枚
- 二四、米國々民安全協會發行安全カレンダー 一種
- 二五、安全時報 五冊
- 二六、災害速報 一冊
- 二七、工場衛生教本 二冊
- 二八、災害惹起物並に惹起状況圖解 四五點
- 二九、安全週間實況、安全裝置、保護具使用状況等の写真 三九枚
- 三〇、安全參考品 三〇點
- 梯子類、硝子類、ハンマ、ハンマの柄、チェイプ、雷管、ゲージ類、履物類、帽子類、手袋類、脚當、救命帶等 一個
- 三一、安全御覽 一個



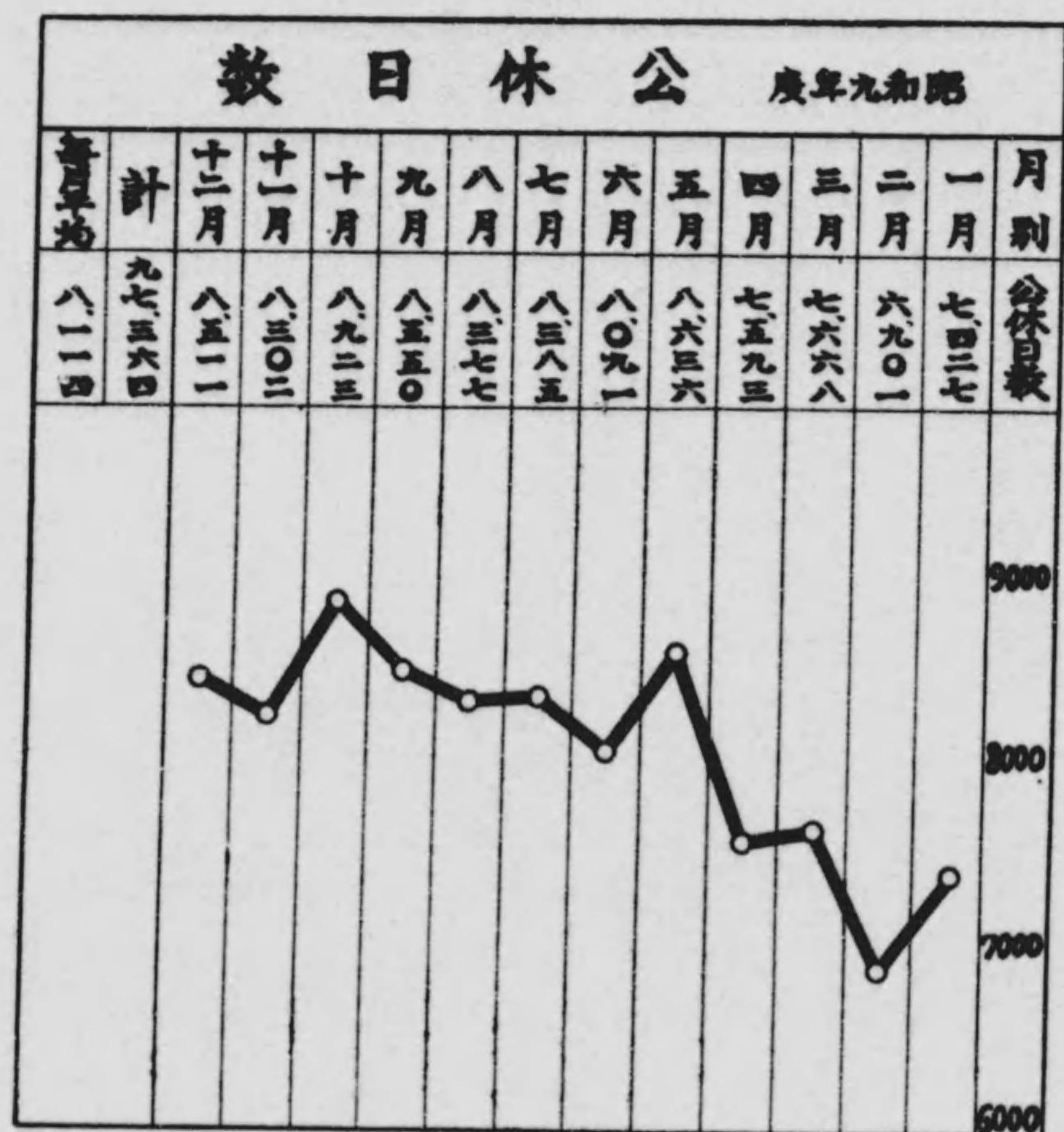
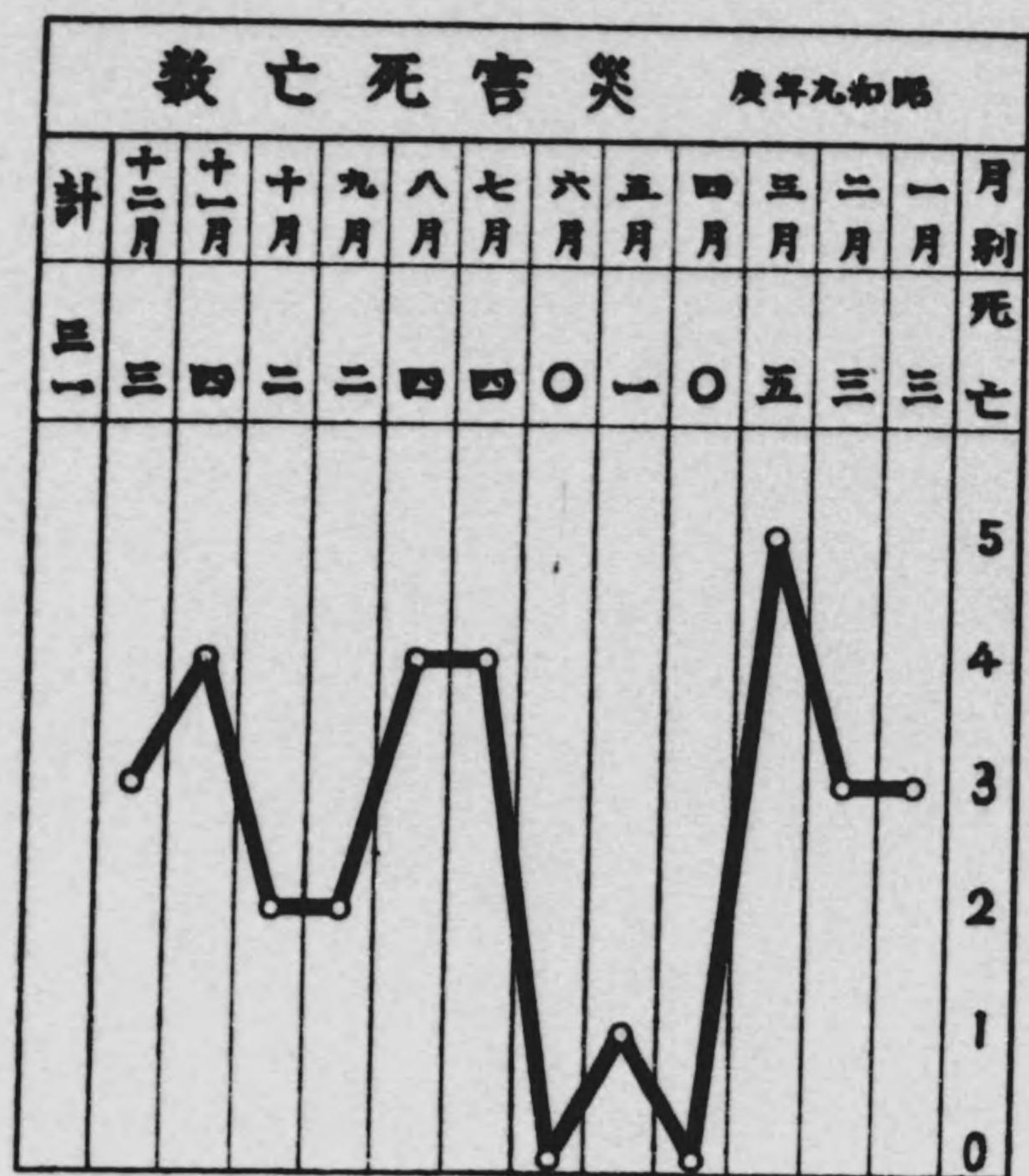
三三、従業員各職名別に最も適當なる履物表 一枚

職名	履物の名稱	職名	履物の名稱
印刷職	タイヤ裏草履	洋灰職	ゴム裏ズツク靴又は地下足袋
検査職	同	焙燒職	タイヤ裏草履
汽罐職	タイヤ裏草履又はゴム裏ズツク靴	製鉄職	同
左官職	タイヤ裏草履又は地下足袋	切斷職	同
洗炭職	ゴム裏ズツク靴又はタイヤ裏草履	倉庫職	タイヤ裏草履又はハツ折
發炭職	上廻ハツ折下廻地下足袋	仕上職	ゴム裏ズツク靴又はタイヤ裏草履
蒸餾職	ゴム裏ズツク靴	旋盤職	タイヤ裏草履又はゴム裏ズツク靴
碓安職	同	鍛冶職	ゴム裏ズツク靴又はハツ折
碓酸職	同	火夫職	タイヤ裏草履
製瓦職	ゴム裏ズツク靴又は地下足袋	製鋼職	同
碎石職	地下足袋	瓦斯職	同
造塊職	タイヤ裏草履	煉瓦職	タイヤ裏草履
歴延職	タイヤ裏草履又はハツ折、ゴム裏草履は絕對に使用せざること	原料職	タイヤ裏草履又はゴム裏ズツク靴
酸洗職	ゴム長靴若はタイヤ裏草履	試料職	タイヤ裏草履

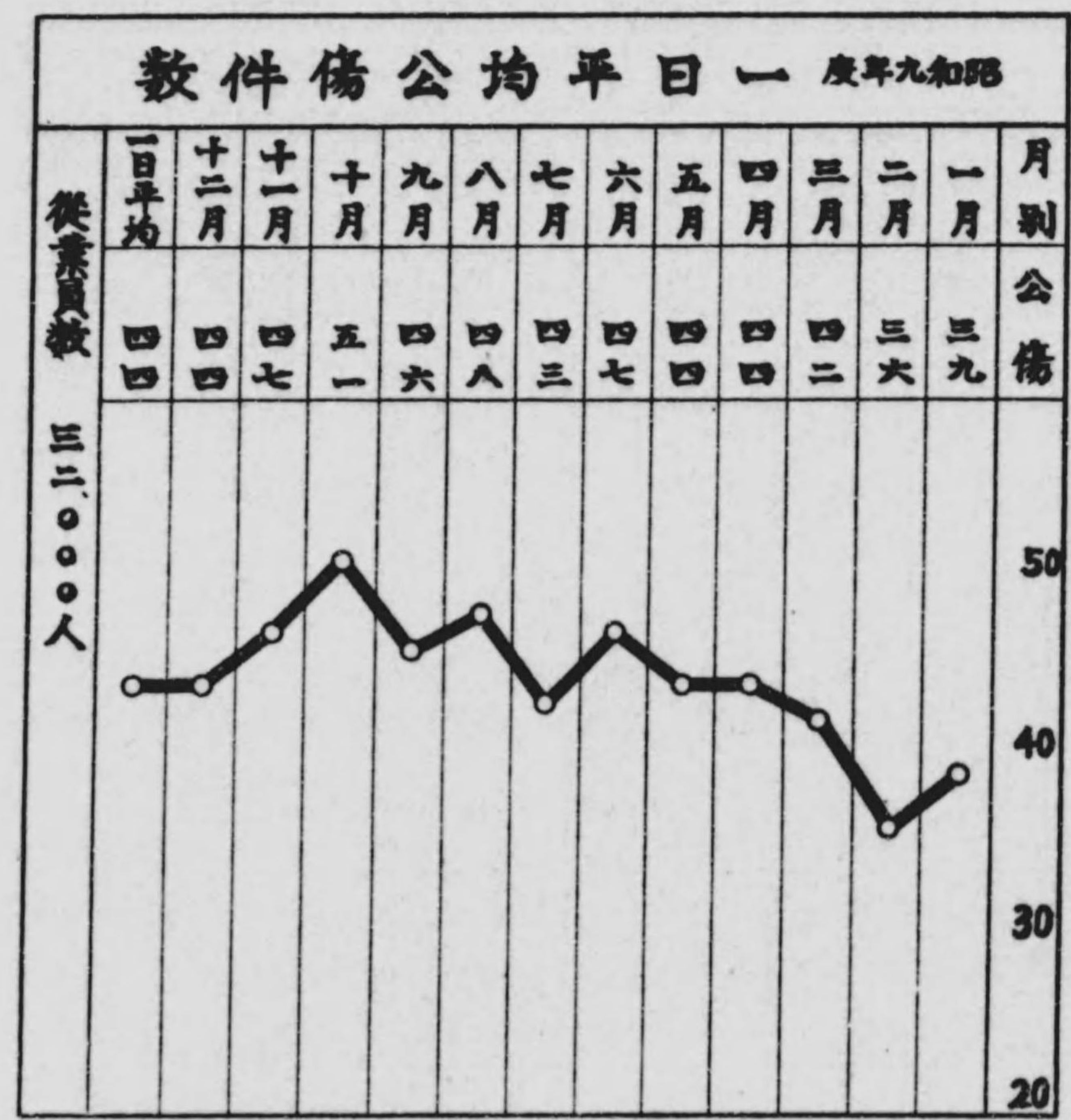
鍍金職	タイヤ裏草履	分析職	タイヤ裏草履又はハツ折
整理職	タイヤ裏草履又はゴム裏ズツク靴	製圖職	同
機關車	同	検査職	タイヤ裏草履
電機	同	實驗職	同
運轉機	タイヤ裏草履	加熱職	同
機	同	採車職	ゴム裏ズツク靴又は地下足袋
精整職	同	信號職	タイヤ裏草履
自動車	ゴム裏ズツク靴	轉轍職	地下足袋
運轉手	同	給油職	地下足袋(ポイント注)
塗工職	タイヤ裏草履	運搬職	鐵洋に關する運搬職はハツ折其他は地下足袋
給水職	ゴム裏ズツク靴	採船職	タイヤ裏草履
潜水職	潜水靴	筆算工	ハツ折
熔鑄職	燒杉下駄及地下足袋	工事職	タイヤ裏草履若は地下足袋
製罐職	ゴム裏ズツク靴又はタイヤ裏草履	雜事職	ゴム裏草履
熔接職	ゴム裏ズツク靴	交換手	同
鑄物職	タイヤ裏草履又はゴム裏ズツク靴	船小蒸汽	タイヤ裏草履
鑄工職	同	船大型	靴又はゴム裏ズツク
電氣職	同	石工職	地下足袋
木工職	タイヤ裏草履		

三四、昭和九年度災害統計表

五枚







◇廣島陸軍被服支廠

- 一、機械安全装置写真 一三枚
- 二、ガソリン取扱に関する説明圖 六枚

◇廣島瓦斯電軌株式會社瓦斯部

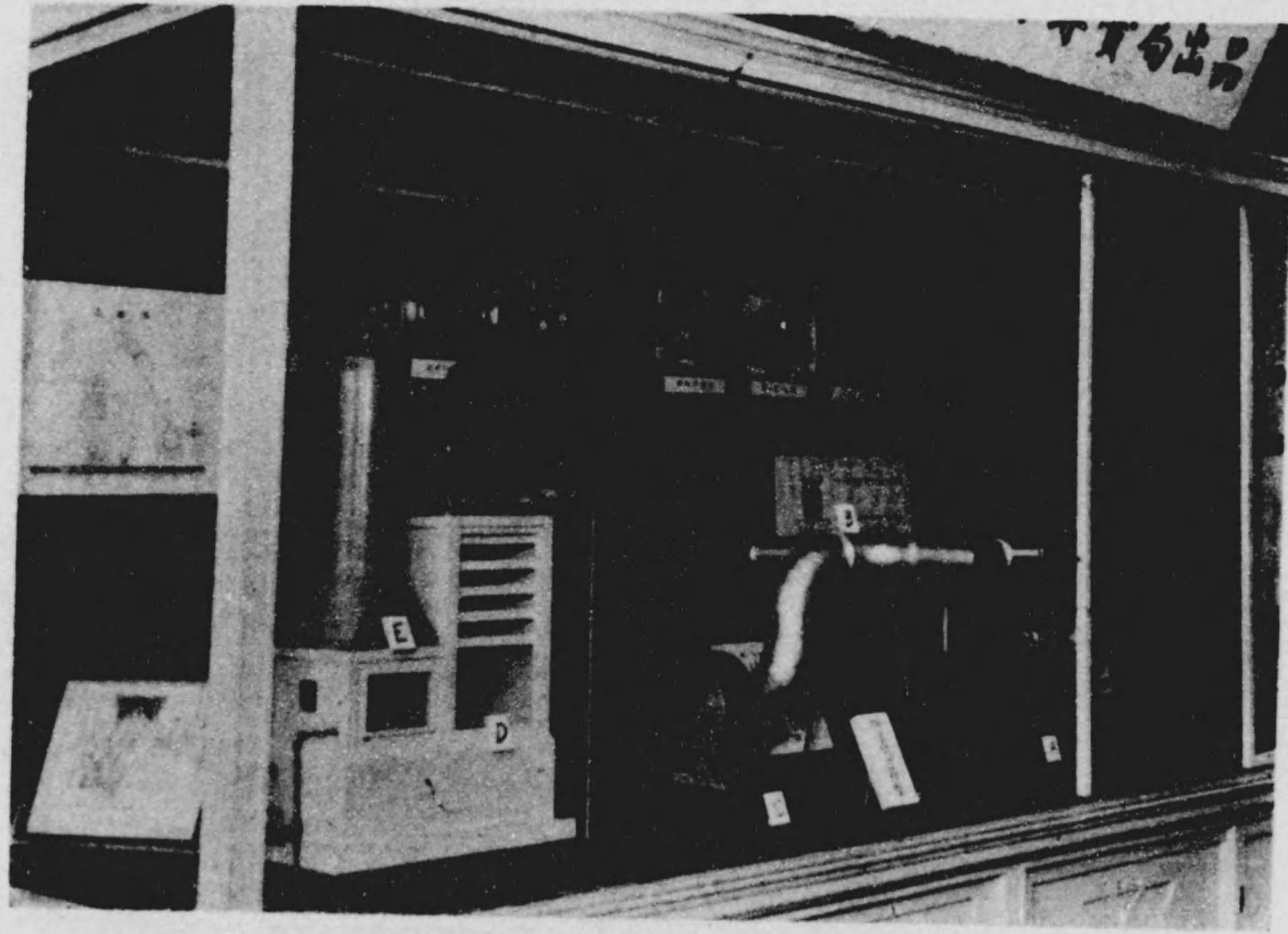
- 一、オートボイラー 一個
- 二、瞬間湯沸器 一個
- 三、アルマイト製瓦斯湯沸器 一個
- 四、食器消毒器 一個

◇廣島地方專賣局

- 一、除塵装置模型 一個
- 二、工場福利施設写真 一四枚

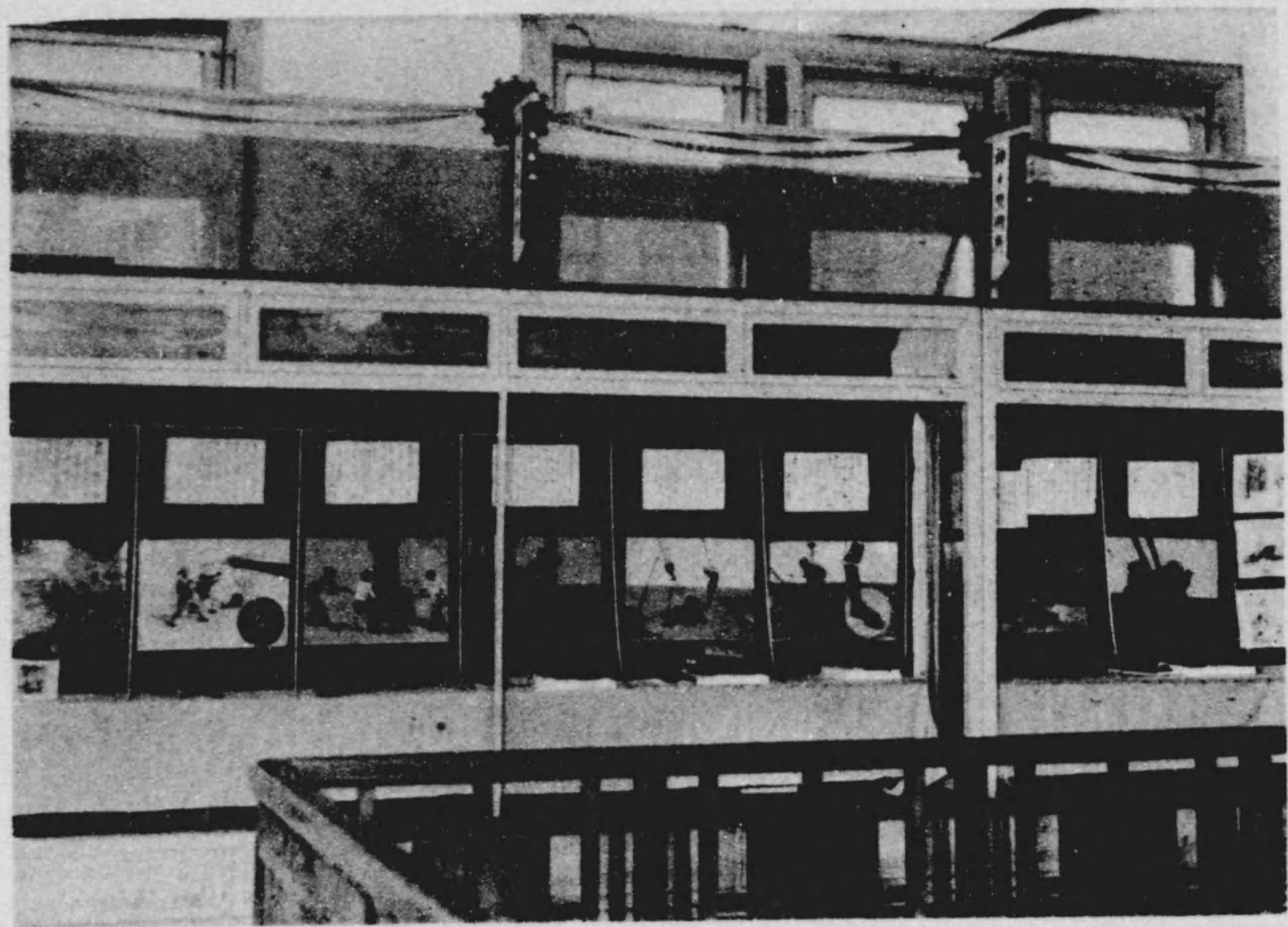
◇株式會社神戸製鋼所

- 一、負傷現場見取圖(油繪)並に災害惹起物 八組
- 二、負傷現場見取圖(謄寫版半紙大) 三枚
- 三、川柳漫畫本スタンプ 五枚
- 四、安全委員會組織圖 一枚
- 五、安全競争優勝旗 一個



品出局賣專方地島廣





神戸製鋼所負傷現場取圖陳列



神戸製鋼所出品川柳漫畫一の部

### ◇神奈川県工場協会

- 一、鑄接見本
- 二、汽罐用材の龜裂、蝕耗、膨出標本
- 三、災害惹起物

數種 數種 數種

### ◇神戸高等工業學校

一、神戸高等工業學校に於ける安全教育の現状  
 第二回全國安全大會の決議を経て文部大臣に建議せられたる「工業技術者養成ノ學校ニ於テ必ズ災害豫防ニ關スル講座ヲ設クルコト」に於ける事項は正に學校に於ける安全教育の必須なる所以を反映したものである。  
 本校は夙に安全教育の重要性を認め創立當初より工場に於ける安全資料を蒐集し安全に關する授業の参考にしてを

現在安全教育の施設としては

- (1) 安全博物館の設置及公開（昭和六年開校十周年事業の一つとして創立）



神戸高等工業學校出品物





- (2) 安全講座の開講（第一第二学期毎週一時限宛機械及び電気科に工場法及工場安全に関する講義を行なふ）
- (3) 安全研究会の開催（學生の發意により博物館中心に研究会開催す）
- (4) 安全講演會の開催（工場安全に関する權威者を聘し随時講演會を開催）
- (5) 安全幻燈安全フィルム作製（本校に於て安全幻燈安全フィルムを作製し希望者には出張映寫す）

## 二 神戸高等工業學校安全博物館紹介

災害に関する貴重なる参考品を死蔵又は逸散するは惜みても餘りある事である履職の戒となりて災害征服の参考として安全事業啓發の爲災害参考品は絶対の資料である。之れが全き管理と全き利用に應ずべく昭和六年開校十周年記念事業の一つとして工業科學博物館内の一部に安全博物館を創設して公開して居る。近き將來に於て別館を設立し獨立したる安全博物館を創設し一層内容を充實し工場の安全施設及安全福利に一段の貢獻をなさんと努力して居る。

主なる陳列品左の如し。

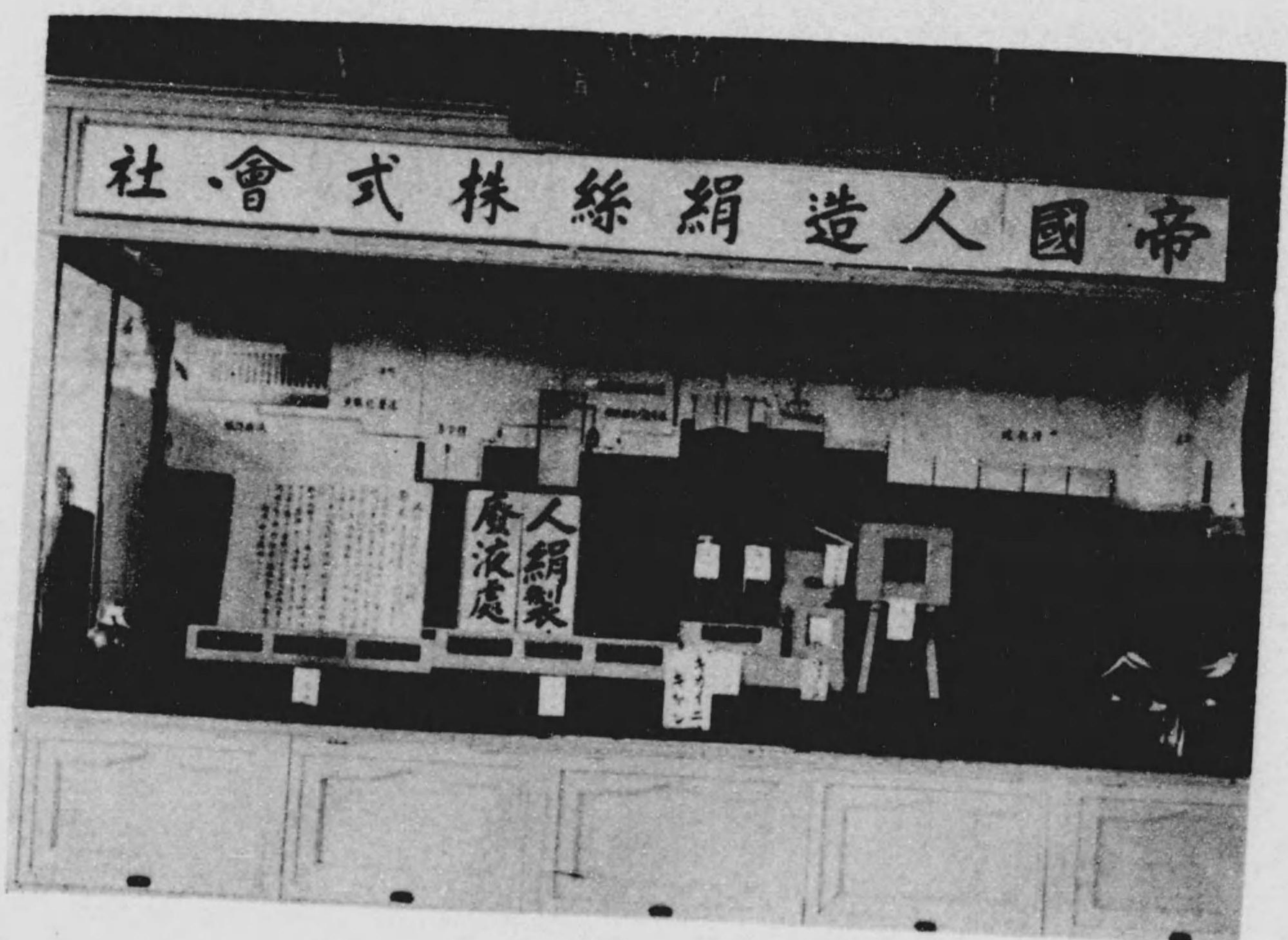
- 1、災害惹起物 百數十點
- 2、各種安全裝置 數十點
- 3、災害統計ポスター 百數十點
- 4、災害並に安全裝置に関する寫眞 百數十枚
- 5、安全に関する圖書 百數十部
- 6、保健模型 百數十個

七四

- 三、災害惹起狀況繪圖 十八枚
- 四、廻轉揭示板 一個

### ◇帝國人造絹糸株式會社

- 一、ヴィスコース式人造絹糸製造工程模型 一
- 二、人絹製造廢液處理裝置模型 一



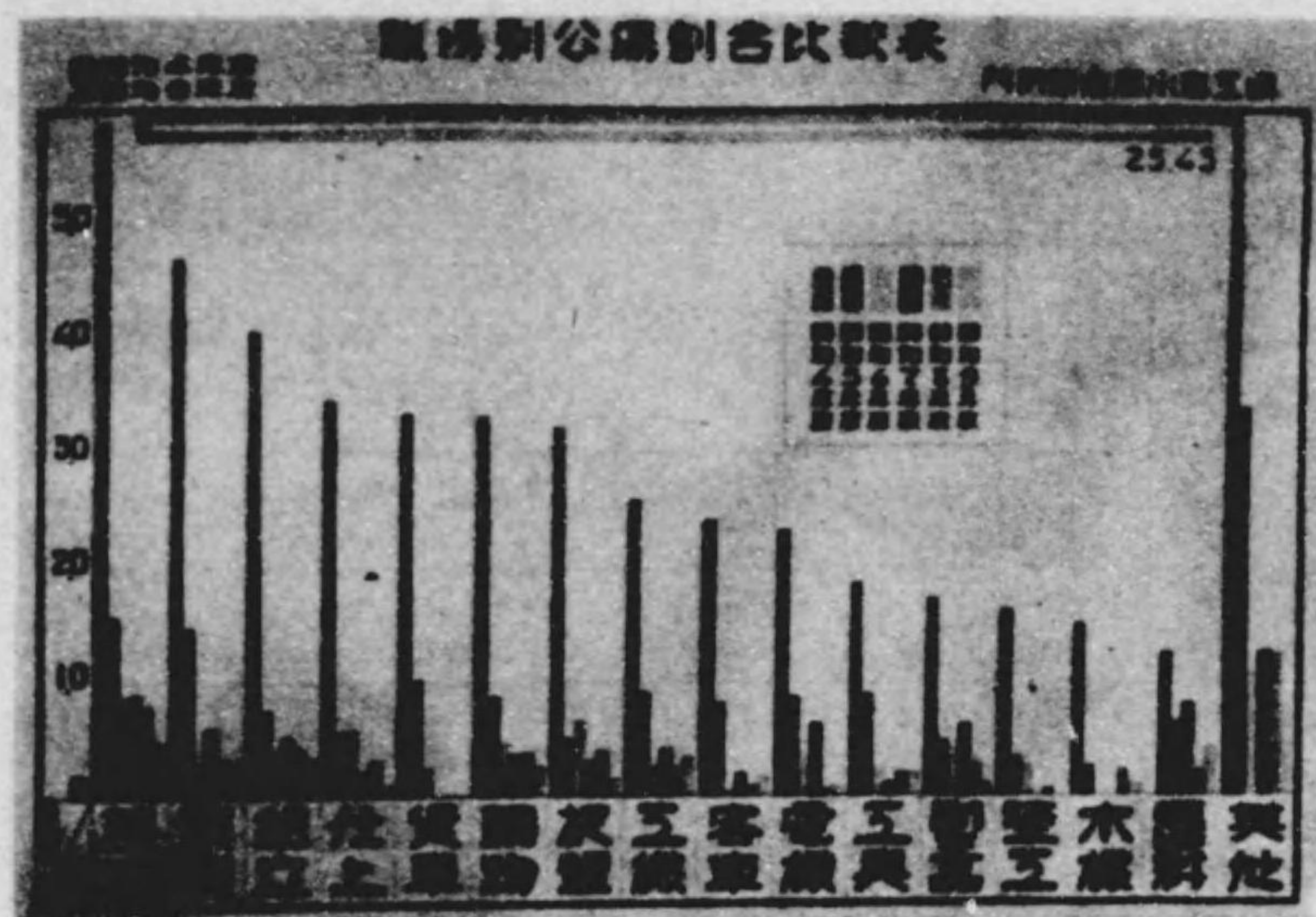
七五



◇門司鐵道局小倉工場

- 一、災害統計圖表
- 二、安全裝置、福利施設等額入寫眞
- 三、公傷者骨折レントゲン額入寫眞
- 四、災害惹起狀況圖解
- 五、災害惹起物

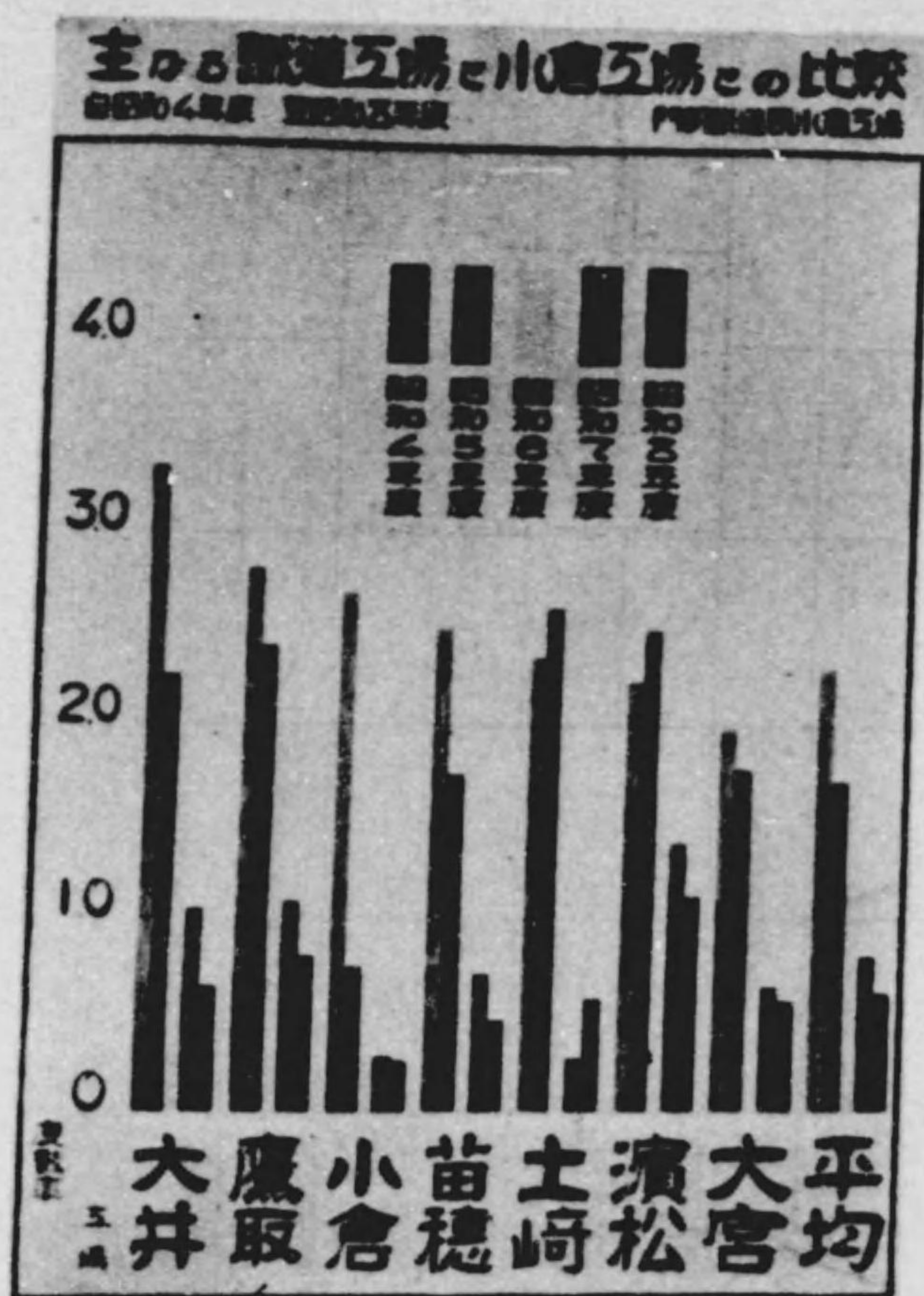
- 二六枚
- 二三面
- 二二面
- 一〇七枚



小倉工場災害統計表の一部



門司鐵道局小倉工場物品出場



小倉工場災害統計表の一部

◇京都府工業聯合會

- 一、アムモニアレシーバー破裂狀況寫眞
- 二、同上破裂片
- 三、汽罐焰筒損傷の一例

◇廣島電氣株式會社

- 一、眞色燈
- 二、照度計
- 三、高壓電氣用護手袋

- 三枚
- 一個
- 一個
- 一個

- 四、スリーライトラムプ
- 五、角照型反射笠其他反射笠
- 六、工場照明と生産の合理化
- 七、各種スキツチ
- 八、明視照度檢定器
- 九、福田式動力急停止裝置

- 一個
- 一種
- 一種
- 一個

◇社會局保險部

- 一、各種飲食物分析標本
- 二、眼疾患模型
- 三、法定傳染病模型
- 四、一般傳染病及流行病模型
- 五、結核ニ關スル模型
- 六、理髮ニ關スル模型
- 七、口腔及齒科ニ關スル模型
- 八、寄生蟲及其ノ生態模型
- 九、職業病模型
- 一〇、掛圖及統計圖表
- 一一、營養食模型

- 二四
- 二二
- 一一
- 一五
- 六六
- 八六
- 一四



### ◇株式会社日立製作所

#### 一、電気收塵装置類入圖面

二面

- 一、記憶力検査器 (機械的の記憶を検査す)
- 二、選擇力検査器 (形態の觀察と比較辨別をする能力を検査す)
- 三、注意力検査器 (注意の深さと廣さがどの程度にあるかを検査す)
- 四、構成力検査器 (觀察と想像と工夫との綜合した能力を検査す)
- 五、聽力検査器 (聽覺の鋭鈍を検査す)
- 六、視觸覺辨別検査器 (目で視つゝ觸覺によりて辨別する能力を検査す)
- 七、空間辨別検査器 (精密目測の確否を検査す)
- 八、光度辨別検査器 (視覺に感ずる光度の辨別力を検査す)
- 九、反應検査器 (刺激に對し意志的運動の反應速度を検査す)
- 一〇、作業速度検査器 (運動の敏緩、注意持續の良否等の綜合的能力を検査す)
- 一一、運動速度検査器 (手腕の筋肉運動の速度と持久力を検査す)

### ◇山越 工作所

#### 一二、精神技能検査器

(精神と技巧の綜合的能力を檢査し併せて記憶的的習慣に添はなない運動を實驗的に學習せしめて其の能力を檢査す)

#### 一三、握力 計 (握力を検査す)

### ◇寺西 鐵工所

#### 一、寺西式圓鋸製材危害防止機 (五號中型) 一臺

### ◇重松 製作所

- 一、T S式防光眼鏡
- 二、T S式防塵眼鏡
- 三、T S式防毒瓦斯用眼鏡
- 四、T S式送風マスク
- 五、T S式防熱マスク
- 六、T S式サンドブラストマスク
- 七、T S式覆面マスク
- 八、T S式石綿手袋
- 九、T S式耐酸手袋
- 一〇、T S式護謨エプロン

#### 一一、T S式袖口カバー

以上各種合計五十四點

### ◇渡邊 貞吉

#### 一、渡邊式圓鋸安全裝置

### ◇株式会社安川電機製作所

- 一、液體起動器 (捲線型三相誘導電動機用)  
従来の液體抵抗器の缺點を除去せるものにして爆發性瓦斯の存在する鑛山工場用に適す
- 二、電磁起動閉閉器 (低壓三相誘導電動機用)  
押卸式にして接觸部には銀を使用し接觸片の自整作用サーマルリレーを附す
- 三、手働式起動閉閉器 (低壓三相誘導電動機用)  
遮断容量の大なる熱働型過負荷トリップ附
- 四、起動閉閉器 (低壓、油入、手働操作)  
完全なる防滴防塵型にして鑛山工場等の使用に適す

七八

#### 五、起動閉閉器 (押卸式手働操作)

電動機の温度上昇に關聯して動作する過負荷保護裝置なり

### ◇中國塗料株式會社

- 一、空氣清淨加里罐
- 二、オキシリット (酸素發生劑)
- 三、エストール (石炭瓦斯中の脱硫劑)
- 四、アセチレン清淨劑 (燐化水素除去用)
- 五、酸素吸入器

### ◇東洋合成化學工業株式會社

#### 一、プリズライト製品 (壊れない硝子)

プリズライトの特徴

- 一、無色透明にして光線の屈折率普通硝子と同等なり
- 一、紫外線の透過率は普通硝子より遙に大なり
- 一、耐破力極めて強く其の破片は皮膚を傷け難し
- 一、セルロイドに比して透明度遙に高く絶對變色せず又

七九



焔に觸るゝも不燃性なり

一、熱及電氣の不導體なり

一、可塑性あるため種々の型物製品に適す

一、着色自在にして研磨すれば美麗なる光澤あるため工

藝美術の裝飾品に應用することを

一、切斷穿孔等自由なれば建築細工物に使用することを

得

一、普通硝子との比較左の如し

	普通硝子	プリスライト
比重	二、六	一、四五
硬度	四、五―六、五	三、五―三、八
耐破強力	三九	九〇〇

### ◇内外化學製品株式會社

#### 一、三ツ目印汽罐防錆劑

### ◇日本化工株式會社

#### 一、有毒瓦斯吸收罐

十二罐

八〇

A型(イ)號吸收罐 (鹽素、弗素、ブロム、ホスゲン、沃度を吸収す)

A型(ロ)號吸收罐 (亞硫酸、鹽素、硝氣、炭酸瓦斯、ハ

ロゲン化水素酸、硫酸を吸収す)

A型(ハ)號吸收罐 (有機瓦斯を吸収す)

A型(ホ)號吸收罐 (亞鉛華、アンチモン、クロム化合物、

硅砂、水銀化合物、石灰窒素、鉛化合物、二酸化マンガ

ン、砒素化合物、油煙其の他粉塵を吸収す)

A型(ヘ)號吸收罐 (一酸化炭素を吸収す)

A型(ト)號吸收罐 (一酸化炭素並煙を吸収す)

A型(チ)號吸收罐 (亞鉛、アンチモン、水銀、鐵、鉛、

砒素、磷を吸収す)

A型(リ)號吸收罐 (アンモニアを吸収す)

A型(ヌ)號吸收罐 (亞硫酸及硫黄を吸収す)

A型(ル)號吸收罐 (青酸、青酸製劑、サイローム、チク

ロンBを吸収す)

A型(ヲ)號吸收罐 (硫化水素を完全に吸収す)

A型(ワ)號吸收罐 (アセチレン、砒化水素、磷化水素を

吸収す)

### ◇合資會社ユニオン調帯綴 金具製造所

一、スタンダード、ベルト、レシニング

二、安全ボツトン及オーバー

三、オツトセイ印ベルトレーシング

四、ライト式安全ベルト掛具

### ◇岩田敏郎商會

一、岩田式救急箱 各種

### ◇株式會社戸上電機製作所

一、油入マグネット、スイッチ

二、防塵式マグネット、スイッチ

三、フート、スイッチ

#### 四、電流制限器

#### 五、自働捲時報時計

### ◇株式會社ジヨイント商會

一、町野式ホース接手

二、町野式室内消火栓

三、町野式スタンドパイプ

四、町野式ゼットパイプ

### ◇花谷理化學研究所

一、ワンターメント輕便消火器

八一



出品者名簿

(イロハ順)

名古屋市中區老松町四丁目三九  
 京都市東山區劍神社前通リ  
 福岡縣八幡市  
 廣島市仁保町字延命一六八〇  
 東京市板橋區板橋町七丁目三〇一  
 埼玉縣北足立郡大宮町  
 大阪市北區堂島濱通二丁目八  
 廣島市吉島本町  
 佐賀市大財町三八五  
 廣島市吉島本町四一六  
 大阪市東區北濱二丁目九〇  
 大阪府警察部工場課内  
 大阪府東區豐後町  
 大阪市此花區櫻島南之町一七  
 山口縣厚狹郡小野田町  
 千葉市寒川長洲九九一

岩田敏郎商會  
 花谷昌明  
 日本製鐵株式會社八幡製鐵所  
 株式會社日本製鋼所廣島工場  
 日本化工株式會社  
 東京鐵道局大宮工場  
 東洋紡績株式會社  
 東洋合成化學工業株式會社  
 株式會社戶上電機製作所  
 中國塗料株式會社  
 株式會社デヨイント商會大阪支店  
 大阪府產業安全協會  
 大阪府立產業能率研究所  
 株式會社大阪鐵工所  
 小野田セメント製造株式會社  
 渡邊貞吉

神奈川縣警察部工場監督課内  
 神戸市須磨區水笠通一丁目  
 神戸市葺合區脇濱町一丁目  
 神戸市湊東區東川崎町二丁目一四  
 東京市芝區車町八三  
 岡山縣倉敷市  
 京都府綾部町  
 吳市  
 東京市下谷區御徒町三丁目一  
 福岡縣八幡市大字藤田  
 東京市麴町區外櫻田  
 東京市豐島區巢鴨町六丁目二〇ノ二  
 福山市櫻馬場町  
 東京市麴町富士見町五ノ二三  
 山口縣玖珂郡麻里布町  
 廣島縣御調郡三原町  
 姫路市延末町  
 内務省社會局監督課内

神奈川縣工場協會  
 神戸高等工業學校  
 株式會社神戸製鋼所  
 株式會社川崎造崎所  
 內外化學製品株式會社  
 倉敷勞働科學研究所  
 郡是製絲株式會社  
 吳海軍工廠  
 山越工場  
 株式會社安川電機製作所  
 警視廳保安部工場課  
 財團法人啓成社  
 福島紡績株式會社福山支店  
 遞信博物館  
 帝國人造絹糸株式會社岩國工場  
 帝國人造絹糸株式會社三原工場  
 寺西鐵工所  
 財團法人產業福利協會



- 埼玉縣浦和町
  - 京都府廳建築工場課內
  - 大阪市西區立賣堀北通四丁目
  - 東京市麹町區外櫻田內務省內
  - 東京市麹町區有樂町一丁目三
  - 東京市神田區旅籠町一ノ二一
  - 京都市中京區河原町二條南
  - 廣島市水主町
  - 廣島市皆實町
  - 廣島市皆實町
  - 廣島市小町三三
  - 廣島市大手町三丁目
  - 東京市麹町區丸ノ内貳丁目二〇ノ一
  - 福岡縣小倉市板橋町大字金田
  - 大阪市此花區恩貴島南之町六〇
  - 大阪市此花區島屋町五六
  - 同
  - 大阪市此花區島屋町二四九
- 
- 埼玉縣警察部工場課
  - 京都府工業聯合會
  - 合資會社ユニオン調帶綴金具製造所
  - 社會局保險部
  - 社團法人照明學會
  - 重松製作所
  - 株式會社島津製作所
  - 廣島縣警察部工場課
  - 廣島陸軍被服支廠
  - 廣島地方專賣局
  - 廣島瓦斯電氣株式會社
  - 株式會社日立製作所
  - 門司鐵道局小倉工場
  - 株式會社住友電線製造所
  - 住友金屬工業株式會社伸銅所
  - 同社鋼管製造所
  - 同社鋼製所

昭和十一年四月廿五日印刷  
 昭和十一年五月一日發行

(非賣品)

廣島縣工場懇話會編纂

廣島市段原大畑町二〇ノ二  
 發行者 北川萬里

廣島市大手町七丁目一番地  
 印刷者 增田計雄

廣島市大手町七丁目一番地  
 印刷所 株式會社增田兄弟活版所

發行所 廣島縣警察部工場課內  
 廣島縣工場懇話會

振替口座廣島九四一二番



